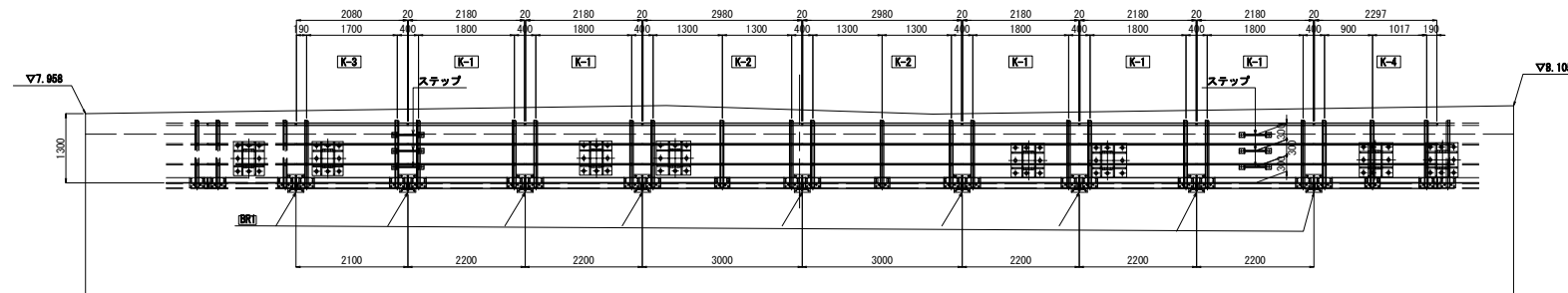


正面図

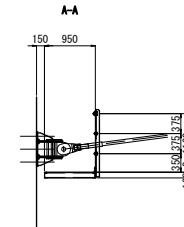


K-3正面 製作数: 1 (手摺り)  
 1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2080$  (STK400)  
 2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2080$  (STK400)  
 2-L  $65 \times 65 \times 1258$   
 1-PL  $90 \times 3.2 \times 2080$   
 2-PL  $190 \times 12 \times 285$  (SM400A)  
 8-BM  $\#16 \times 45$  (2-#)  
 8-BM  $\#10 \times 35$  (2-#)  
 2-U BOLT 呼び32c  
 4-U BOLT 呼び150

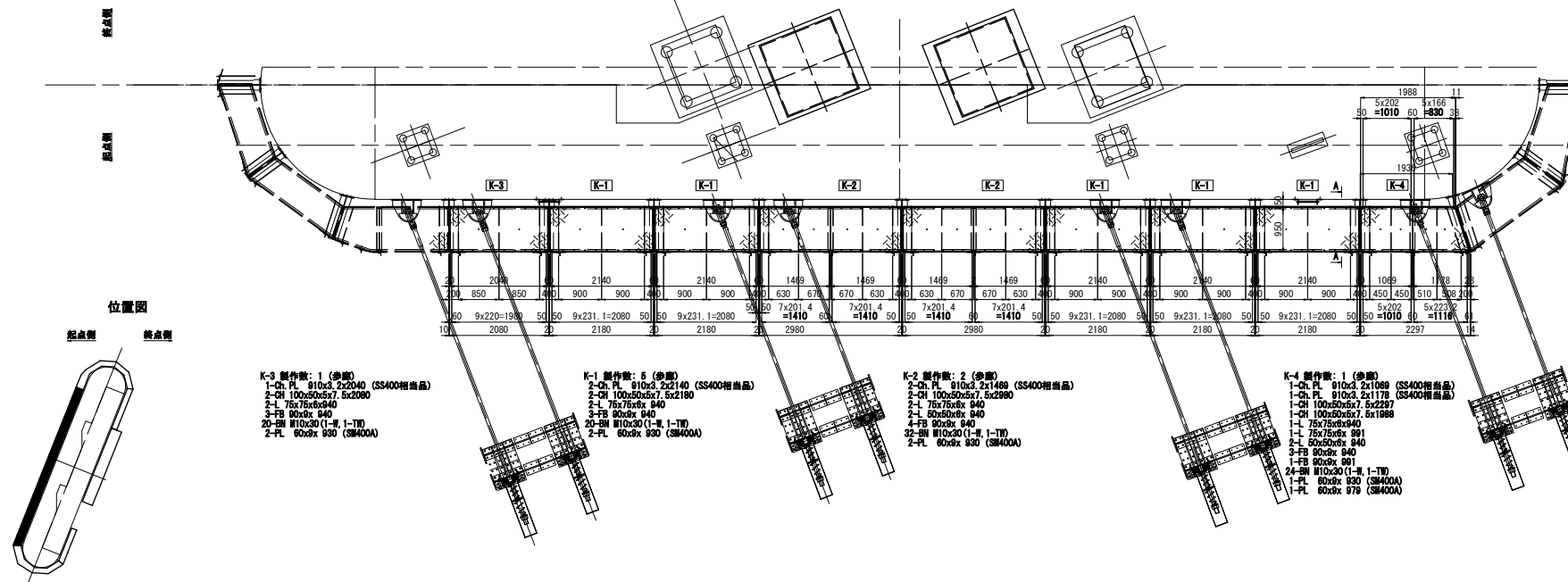
K-1正面 製作数: 5 (手摺り)  
 1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2180$  (STK400)  
 2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2180$  (STK400)  
 2-L  $85 \times 65 \times 6 \times 1258$   
 1-PL  $90 \times 3.2 \times 2180$   
 2-PL  $190 \times 12 \times 285$  (SM400A)  
 8-BN M16x45 (2-N)  
 8-BN M10x35 (2-N)  
 2-U BOLT 呼び 23c  
 4-U BOLT 呼び 15c

K-2正面 製作数: 2 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2980 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2980 (STK400)  
3-L 65x65x8x1258  
2-PL 90x3.2x1408  
3-PL 180x12x285 (SM400A)  
12-BN M16x45 (2-W)  
12-BN M10x35 (2-W)  
3-U BOLT 呼び32c  
6-U BOLT 呼び15c

K-4正面 製作数: 1 (手摺り)  
 1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2297$  (STK400)  
 2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2297$  (STK400)  
 3-L  $85 \times 65 \times 6 \times 1258$   
 1-PL  $90 \times 3.2 \times 1008$   
 1-PL  $90 \times 3.2 \times 1125$   
 3-PL  $190 \times 12 \times 285$  (SM400A)  
 12-BN  $\Phi 16 \times 45$  (2-W)  
 12-BN  $\Phi 10 \times 35$  (2-W)  
 3-U BOLT 呼び  $\Phi 32$   
 6-U BOLT 呼び  $\Phi 16$



平面图



- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
  2. Uボルト使用以外のナットは、全鋼製止めのナットを使用すること。
  3. ボルト、全て海腐防止のものをとする。
- 亜鉛の腐食は、JIS H8541 H2749-H2777とする。
- 厚さ3.2mm以上の鋼材及び堅固型鋼に両方ボルト等では厚77mm以上(0.02749)とする。
- ただし、3.2mm以上6mm未満の亜鉛めっき材には、めっき面が、コスト削減の観点から、必ずしも必要とする。
- 3.2mm未満の鋼材及び普通鋼等では、厚69mm以上(0.02749)とする。
4. ボルトにはメッキ付着量を考慮し、ボルト径+2mmを標準とする。
5. 鋼材に、電解処理のめっきが施された場合は、配ケーブルが手摺や支柱に干渉しないように、ケーブル位置を調整すること。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
図面の種類	下部工検査図日1横断面(その1) <2階側>		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支管理事務所		

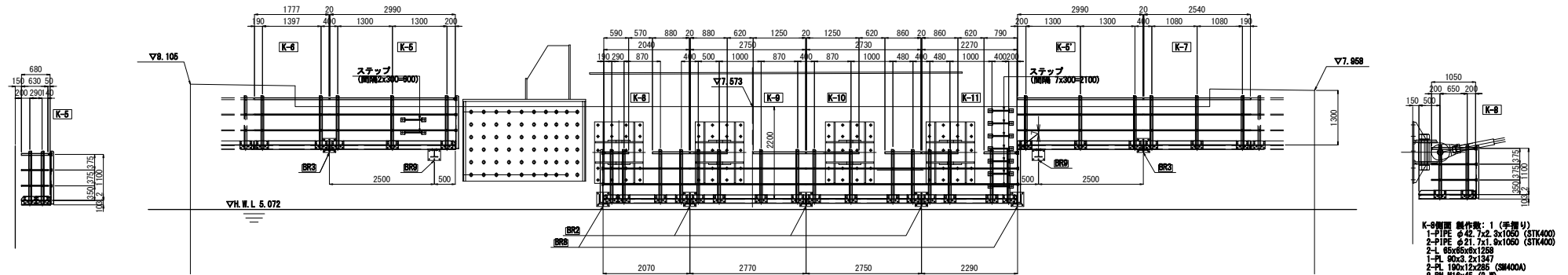
# 下部工検査路B1 構造図(その2)

<P2橋脚>

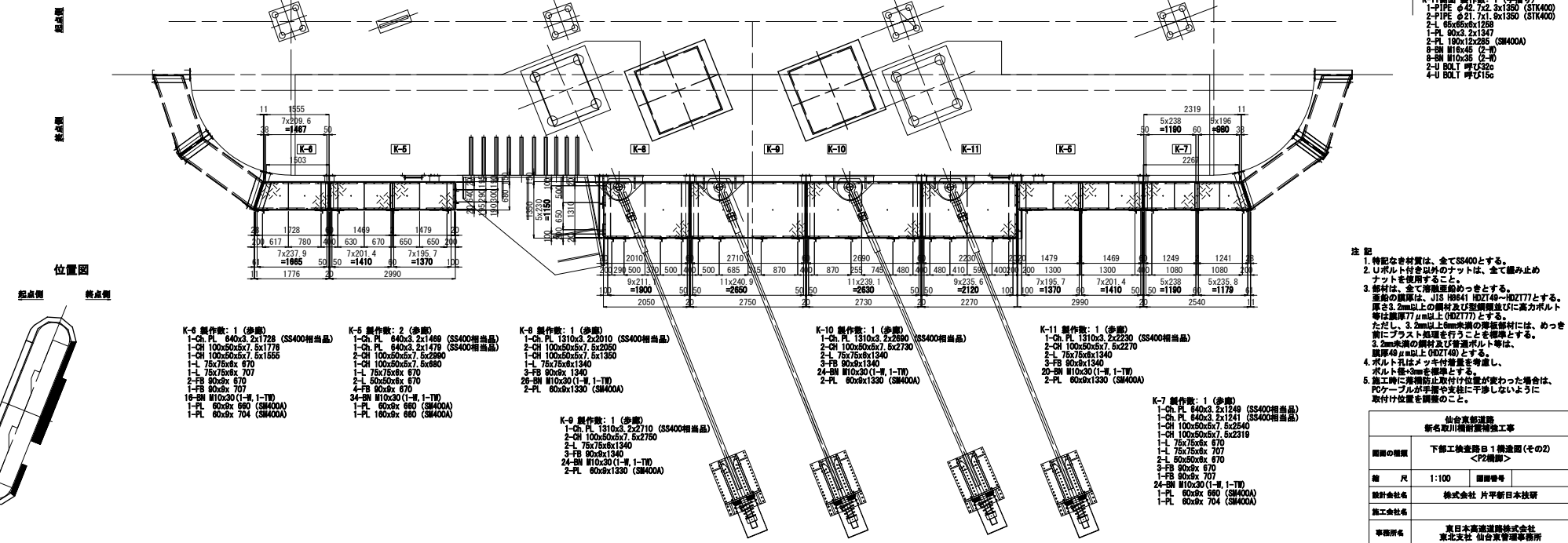
S=1:100

142 / 190

正面図



平面図



注 記  
 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。  
 3. 新材は、全て塗り重ねることとする。  
 4. 2mm以上の腐食及び塗膜剥離に力高ボルト等は腐食7mm以上(0.0277)とする。  
 5. 2mm未満の腐食及び普通ボルト等は、腐食4mm以上(0.0274)とする。  
 6. ボルトナットは、必ず付着部を腐食し、ボルト径+3mmを標準とする。  
 7. 施工時に腐食防止取付位置が変わった場合は、PCケーブルが干渉や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙台東部道路 新名東川橋脚補強工事			
図面の種類	下部工検査路B1 構造図(その2) <P2橋脚>		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		



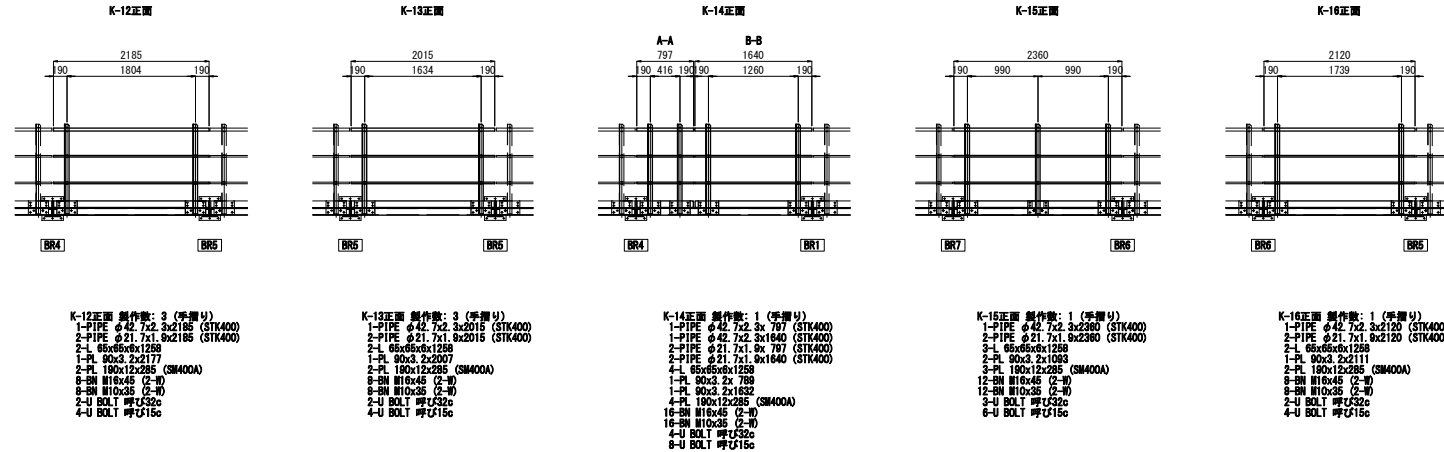
# 下部工検査路B 1 構造図(その3)

<P2橋脚>

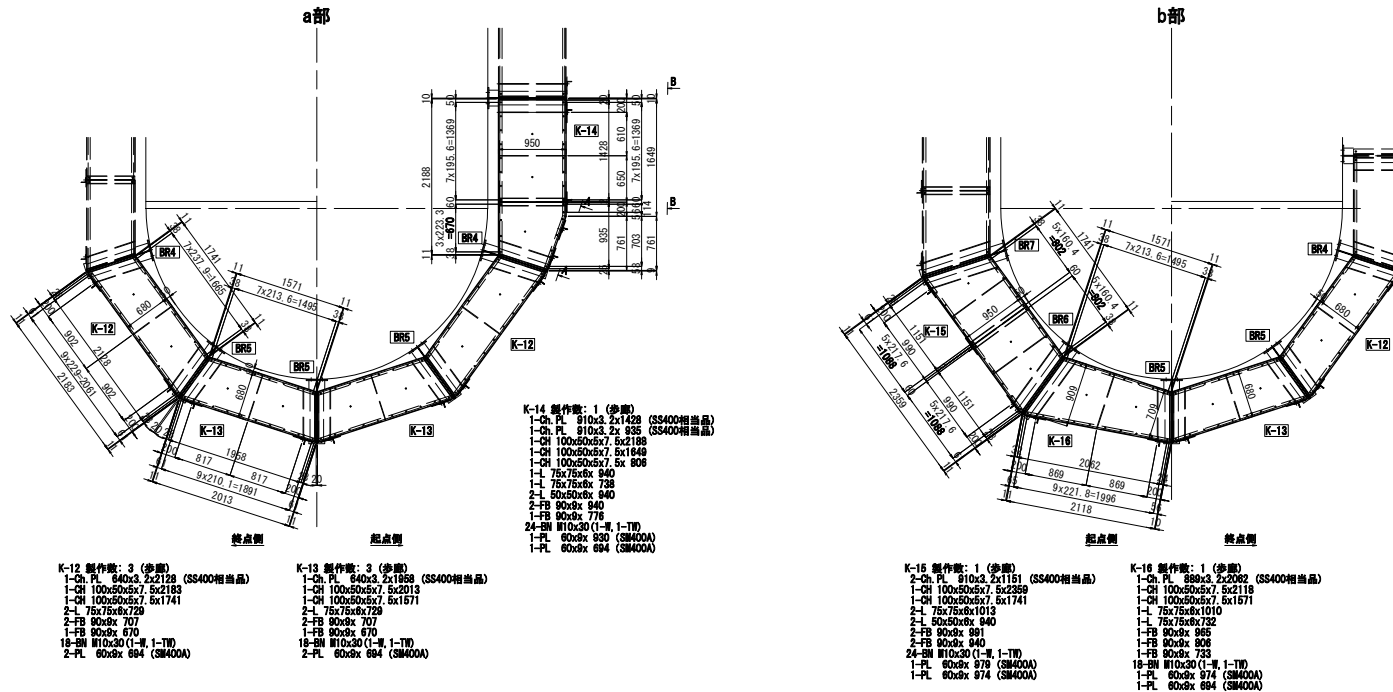
S=1:75

143 / 190

正面図



平面図

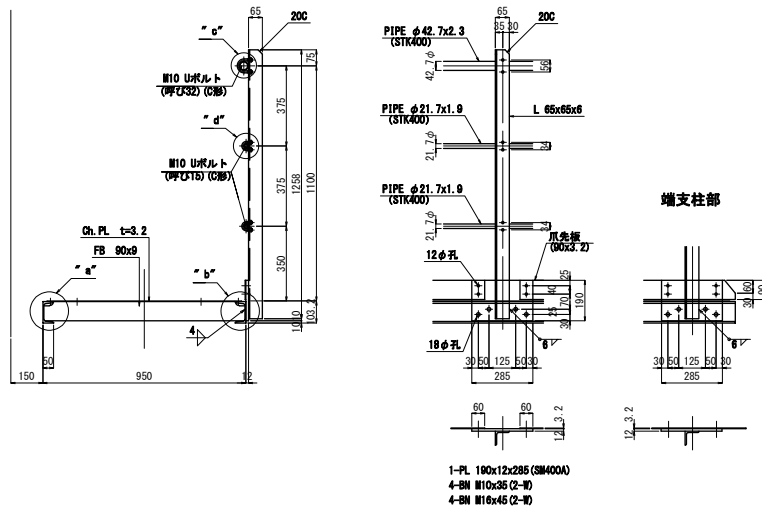


- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
  2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
  3. 部材は、全て溶接部をめぐり、かつ、溶接部の厚さは、JIS H8941 H0Z140～H0Z177とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及び溶接部並びに高力ボルト等は溶接77μm以上(H0Z177)とする。ただし、3.2mm未満の鋼材の溶接部には、めっき前にプラス処理を行うことを標準とする。
  4. 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、溶接40μm以上(H0Z140)とする。
  5. ボルトは、めっき付品を使用し、ボルト径+3mmを標準とする。
  6. 施工時に溶接防止取付け位置が変わった場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

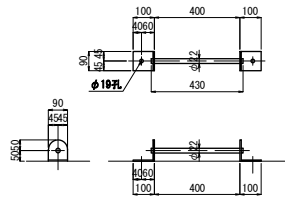
仙合東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 1 構造図(その3) <P2橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平研		
施工会社名	株式会社 東日本高速道路株式会社		
承認者名	東北支社 仙合東部道路事務所		

**<P2橋脚>**

歩廊断面及び構造詳細図

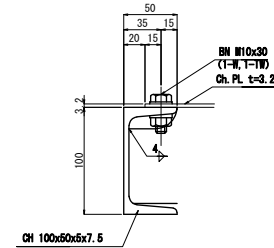
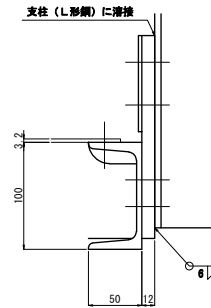


ステップ詳細図 S=1:25

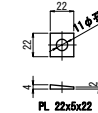


1箇所当り部材 (設置数:15)  
1-RB  $\phi 22 \times 430$   
2-FB  $90 \times 6 \times 200$   
2-ホールインアンカー M16 $\times$ 125

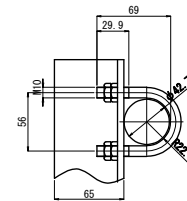
" a" 部詳細 S=1:5

**" b" 部詳細 S=1:5**

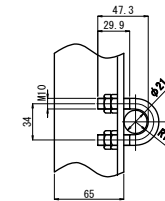
テーパー座金詳細 S=1:5



**"C" 部詳細 S=1:5**



" d" 部詳細 S=1:5

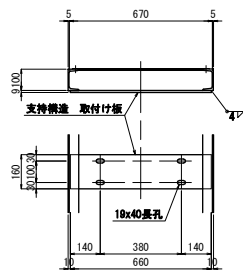
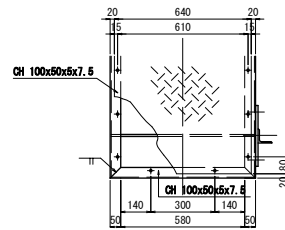


**注記**

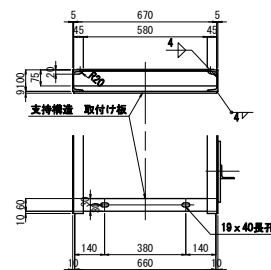
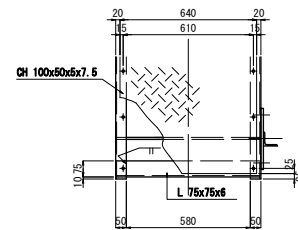
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶接部ぬきとする。  
溶接の厚さは、JIS H8041 HDZT48～HDZT77とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼溶接並びに高力ボルト等はHDZT77以上（HDZT77）とする。  
ただし、3.2mm以上6.6mmの薄板部材には、めっき前にはプラスト処理を行うことを標準とする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZ48以上（HDZT48）とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋新築補強工事			
図面の種類	下部工検査図表 1 横断面 (その他) <P2観測>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

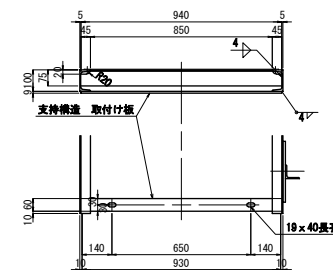
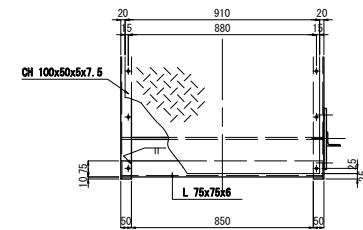
歩廊端部(幅員680)詳細図



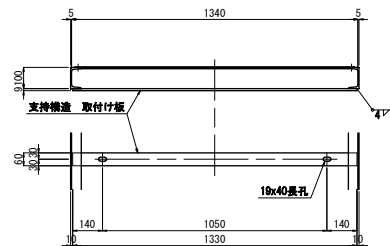
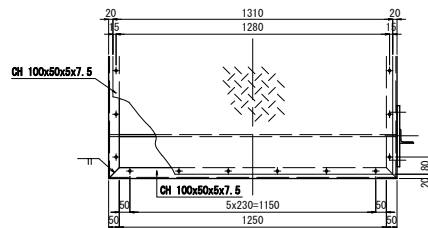
架け違い部(幅員680)詳細図



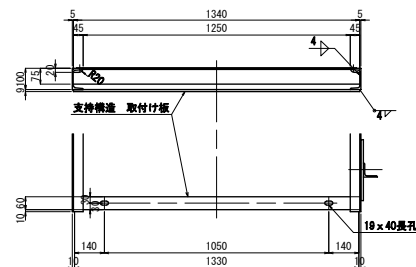
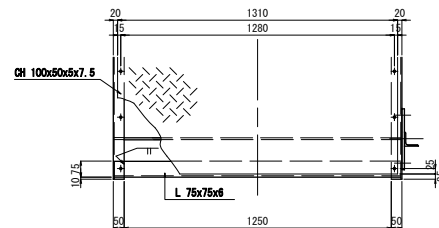
架け違い部(幅員950)詳細図



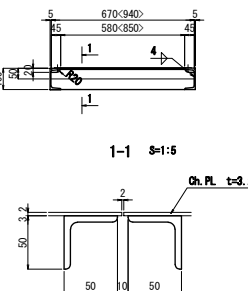
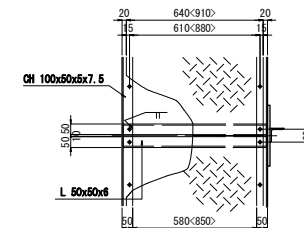
歩廊端部(幅員1350)詳細図



架け違い部(幅員1350)詳細図



Ch. PL分割部 詳細図



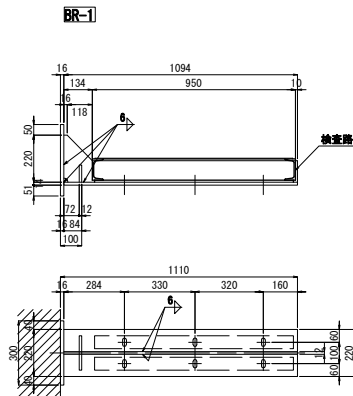
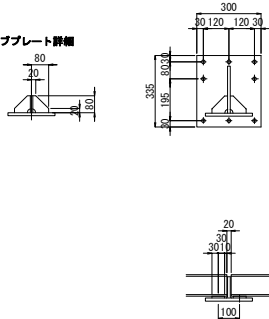
## 注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 1. ボルト付きは、全てSS400とする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
4. 溶融の厚さは、JIS H8041 H2748~H2777とする。
5. 厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼鋼材に、溶接ボルト等は、溶融77μm以上(H2777)とする。
6. 厚さ3.2mm以下の鋼材及び型鋼鋼材に、溶接ボルト等は、溶融40μm以上(H2748)とする。
7. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

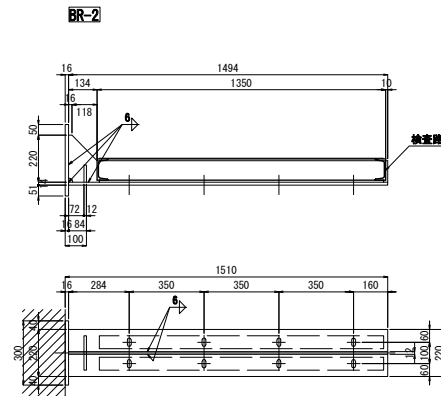
仙合東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B1構造図(その5) <P2橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

下部構造検査路支持構造図

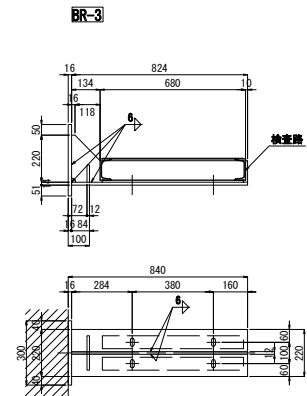
### リブプレート詳細



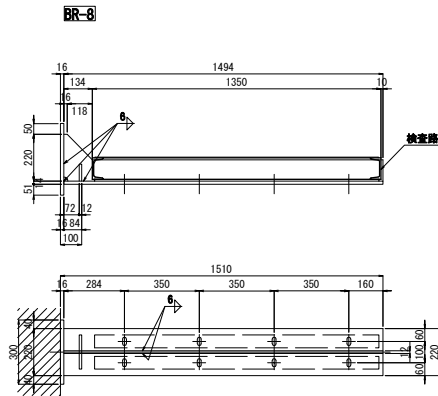
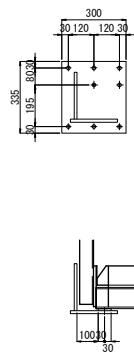
ブラケット1基当たり(製作数: 9基)  
1-WEB PL 220x12x1094  
1-FLG PL 220x14x1094  
1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
2-RIB PL 80x12x80  
6-BN M16x50(2-ワ)  
8-ホールインアンカー M20x170



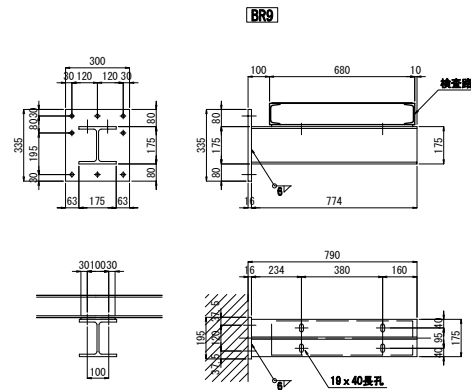
プラケット1基当たり(製作数: 3基)  
 1-WEB PL 220x12x1494  
 1-FLG PL 220x14x1494  
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 8-BN M16x50 (2-円)  
 8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数: 2基)  
 1-WEB PL 220x12x 824  
 1-FLG PL 220x14x 824  
 1-BASE PL 335x16x300(SH400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 4-BN M16x50 (2-#)  
 8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 2基)  
1-WEB PL 220x12x1494  
1-FLG PL 220x14x1494  
1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
8-BN M16x50 (2-ワ)  
8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 2基)  
1-H 175x175x7.5x11x774  
1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
4-BN M16x50(2-Ⅱ)  
8-ホールインアンカー M20x170

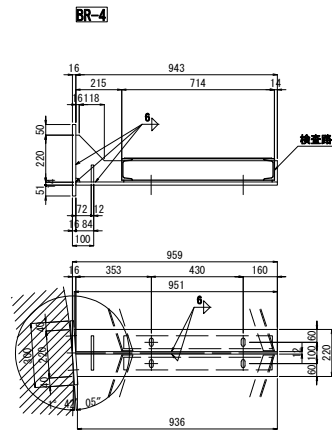
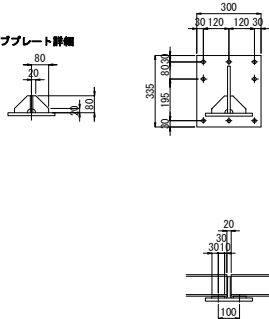
注記

1. 特製なき付材は、全てS&K40とする。
2. 以上の特製以外のナットは、全て縦止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶接盤給付めっきとする。  
 亜鉛の厚度は、JIS H8641 HDZT48～HDZT77とする。  
 長さ3.2mm以上のナット及び型鋼類並びに高力ボルト等は厚さ77μm以上HDZT77とする。  
 ただし、3.2mm以上の鋼板等の薄板部材には、めっき厚3.2μm以上めっきを施すこととする。
3. 2mm未満の部材及び低強ボルト等は、厚さ40μm以上(HDZT48)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

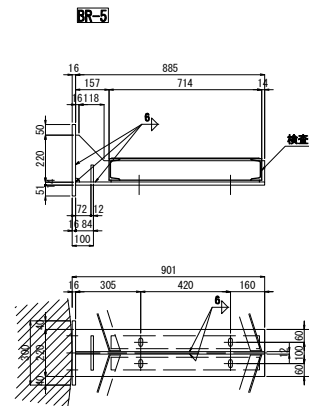
仙台東部道路 新名取川橋新築補強工事			
図面の種類	下部工検査図面 日 1 構造図 (その他) <P2図様>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

下部構造検査路支持構造図

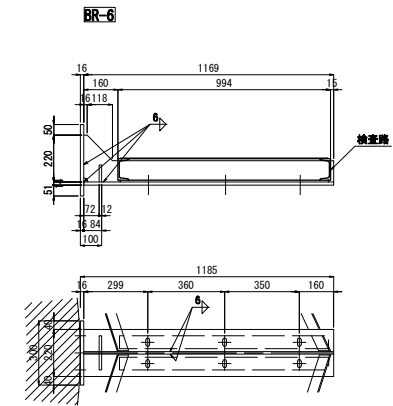
### リブプレート詳細



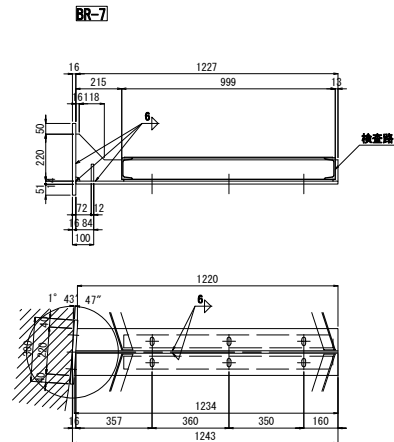
ブラケット1基当たり(製作数: 3基)  
1-WEB PL 220x12x 943  
1-FLG PL 220x14x 961  
1-BASE PL 335x16x300(SH400A)  
2-RIB PL 80x12x80  
4-BN M16x50(2-ワ)  
8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数: 5基)  
 1-WEB PL 220x12x 885  
 1-FLG PL 220x14x 885  
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 4-BN M16x50 (2-円)  
 8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数:1基)  
 1-WEB PL 220x12x1169  
 1-FLG PL 220x14x1169  
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 6-BN M16x50(2-本)  
 8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 1基)  
 1-WEB PL 220x12x1227  
 1-FLG PL 220x14x1234  
 1-BASE PL 335x18x300(SH400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 6-BN M16x50 (2-ワ)  
 8-ホールインアンカー M20x170

注記

1. 特種な材質は、全てSS400とする。
2. 1.4ノット付以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は、全て溶接部めっきとする。  
 圧入鋼の厚さは、JIS H8941 HDZT49～HDZT77とする。  
 長さ3.2mm以上の引張及び型鋼並びに高力ボルト等は厚さ77μm以上HDZT77とする。  
 ただし、3.2mm以上の厚さの鋼板部材には、めっき厚3.2mm以上HDZT49とする。  
 3.2mm未満の鋼材及び低張ボルト等は、厚さ49μm以上(HDZT44)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋桁架補強工事			
図面の種類	下部工検査図面 1 構造図 (その7) <P2図例>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

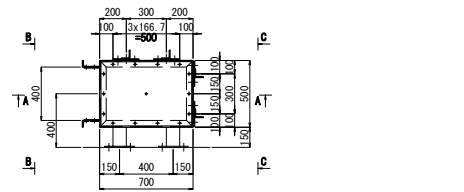
# 下部工検査路B1構造図(その8)

148 / 190

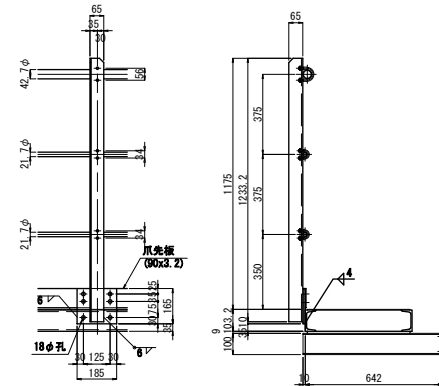
<P2橋脚>

S=1:40

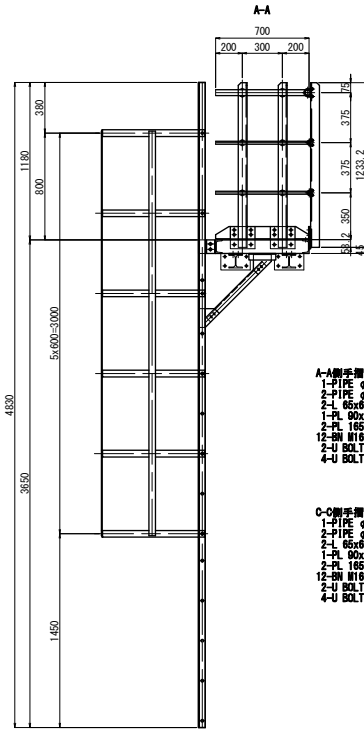
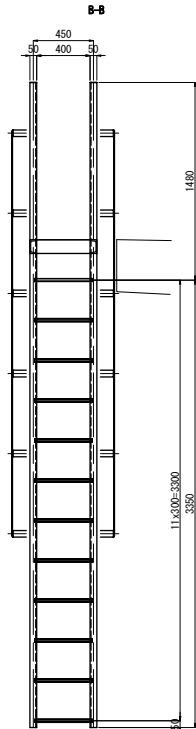
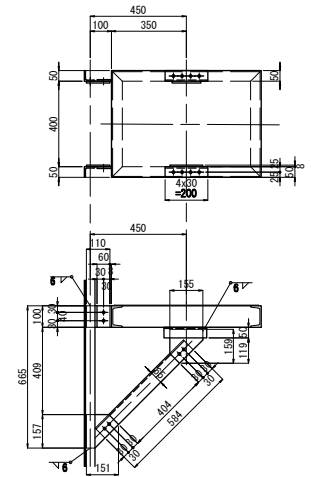
橋脚昇降梯子



断面図 S=1:25



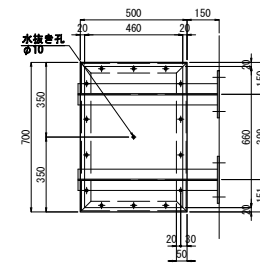
歩廊部及び昇降梯子取付詳細 S=1:25



A-A製手冊 製作数: 1  
1-PIPE φ42.7x2.3x 700 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x 700 (STK400)  
2-L 65x65x6x1233  
1-PL 90x3 2x 487  
2-PL 165x6x185 (SM400A)  
12-BN M16x45 (Z-N)  
2-U BOLT 呼び32φ  
4-U BOLT 呼び15φ

C-C製手冊 製作数: 1  
1-PIPE φ42.7x2.3x 500 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x 500 (STK400)  
2-L 65x65x6x1233  
1-PL 90x3 2x 487  
2-PL 165x6x185 (SM400A)  
12-BN M16x45 (Z-N)  
2-U BOLT 呼び32φ  
4-U BOLT 呼び15φ

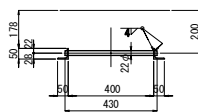
歩廊 製作数: 1  
1-CH PL 480x3.2x 680 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x 500  
2-CH 100x50x5x7.5x 700  
14-BN M10x50 (I-B 1-T0)  
2-PL 100x9x 480 (SM400A)



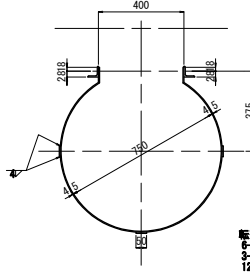
梯子  
2-L 50x50x6x4830  
12-RB φ22x 430

梯子支持金具  
12-FB 60x6x315  
12-ホールインアンカー M16x125

ステップ詳細 S=1:25

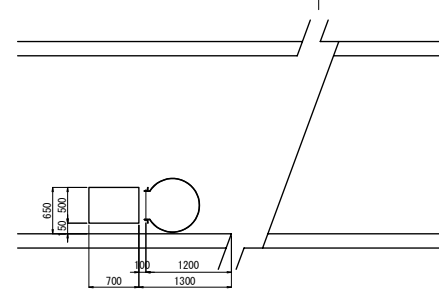


転倒防止リング詳細図 S=1:25



転倒防止リング  
6-FB 50x4 5x2101  
3-FB 50x4 5x3000  
12-BN M16x40 (Z-N)

取付位置図



注 記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8541: H2Z740~H2Z777とする。ただし、3.2mm以上の鋼材及び型鋼溶接部には、めっき前にフラスト処理を行うことを標準とする。3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚40μm以上 (H2Z740) とする。
- ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B1構造図(その8) <P2橋脚>		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

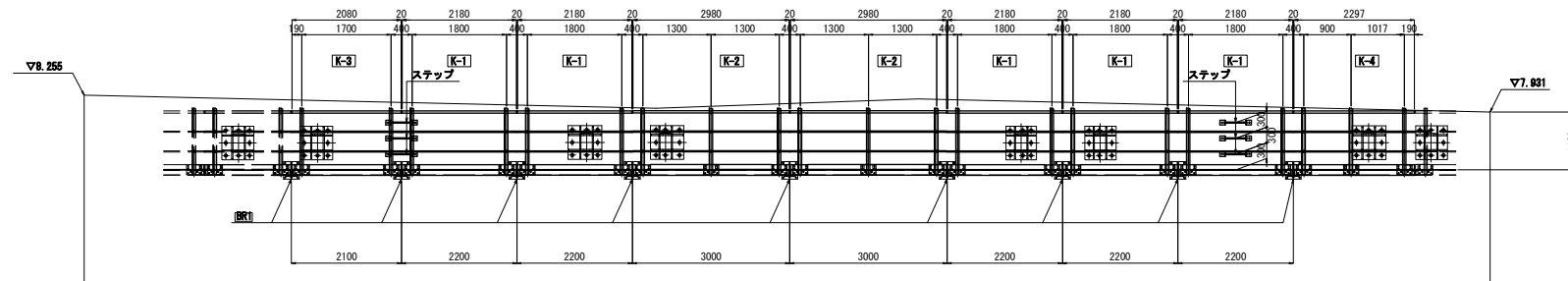
## 下部工検査路B1構造図(その9)

&lt;P3橋脚&gt;

S=1:100

149 / 190

正面図

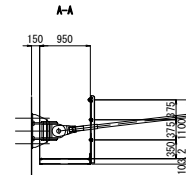


K-3正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2080$  (STK400)  
2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2080$  (STK400)  
2-L 65x55x1258  
1-PL 90x3.2x2080  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W10x45 (2-W)  
8-BN W10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

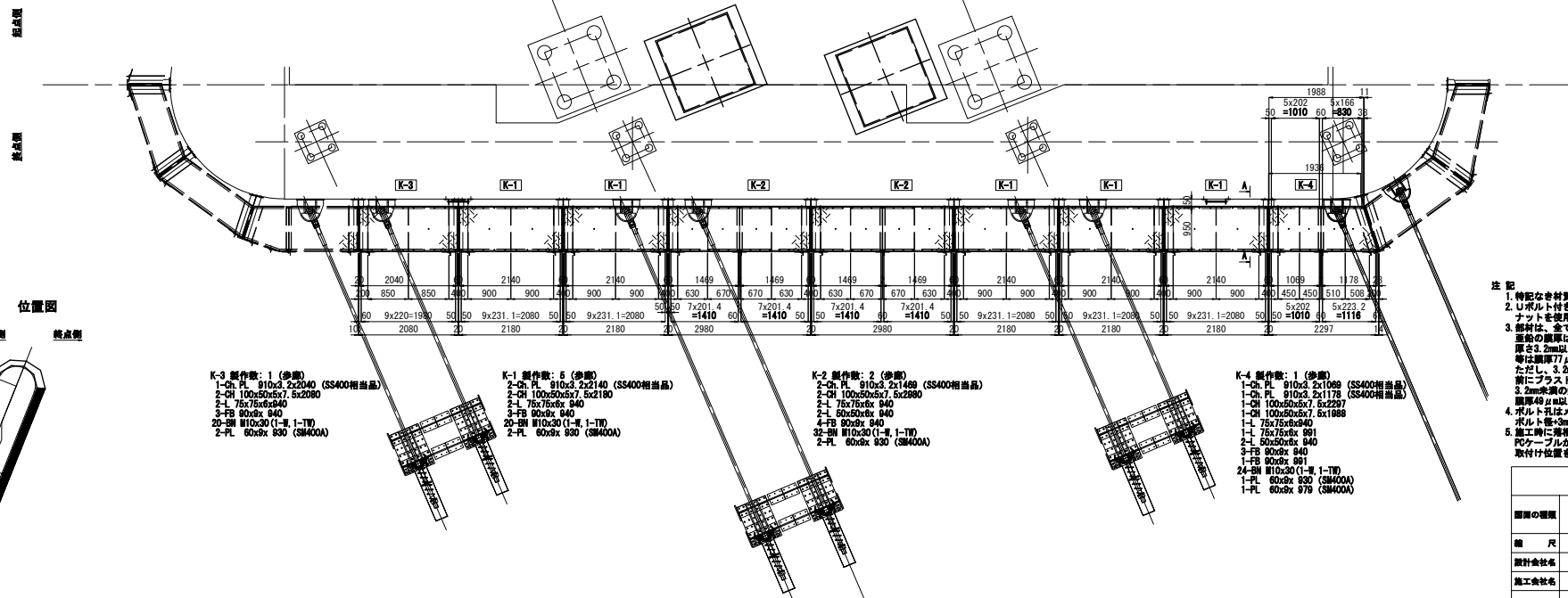
K-1正面 製作数: 5 (手摺り)  
1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2180$  (STK400)  
2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2180$  (STK400)  
2-L 65x55x1258  
1-PL 90x3.2x2180  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W10x45 (2-W)  
8-BN W10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

K-2正面 製作数: 2 (手摺り)  
1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2980$  (STK400)  
2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2980$  (STK400)  
2-L 65x55x1258  
1-PL 90x3.2x1408  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W10x45 (2-W)  
8-BN W10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

K-4正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE  $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2297$  (STK400)  
2-PIPE  $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2297$  (STK400)  
2-L 65x55x1258  
1-PL 90x3.2x1008  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W10x45 (2-W)  
8-BN W10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c



平面図



- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
  2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
  3. 新材は、全て押込締めめきとする。  
亜鉛の膜厚は、JIS H8541 H0Z140~H0Z177とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び亜鉛鍍金に高力ボルト等は膜厚77 $\mu$ m以上(H0Z177)とする。  
ただし、3.2mm以上6mm未満の亜鉛鍍金には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚40 $\mu$ m以上(H0Z140)とする。
  4. ボルト孔は、メッキ付公差を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
  5. 施工時に発着防止取付け位置が変わった場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙台直轄道路 新名取川橋脚補強工事	
図面の種類	下部工検査路B1構造図(その9) <P3橋脚>
縮 尺	1:100
図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
承認所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所

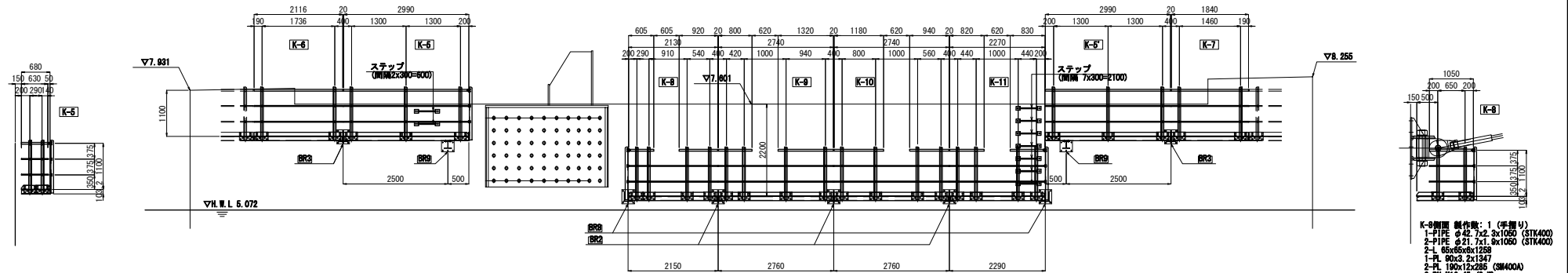
下部工検査路B 1 構造図(その10)

<P3橋脚>

S=1:100

150/190

正面図



K-5側面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x 880 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x 880 (STK400)  
1-PL 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x 887  
1-PL 100x12x285 (SM400A)  
8-BN W16x45 (2-#)  
8-BN W10x35 (2-#)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

K-6正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2116 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x2116 (STK400)  
2-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x2116  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W16x45 (2-#)  
8-BN W10x35 (2-#)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

K-5K-6正面 製作数: 2 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2980 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x2980 (STK400)  
3-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x1407  
1-PL 90x3.2x1414  
3-PL 190x12x285 (SM400A)  
16-BN W16x45 (2-#)  
16-BN W10x35 (2-#)  
4-U BOLT 呼び32c  
8-U BOLT 呼び15c

K-9正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x 805 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x2130 (STK400)  
1-PL 65x65x8x1258  
4-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x 628  
1-PL 90x3.2x 835  
1-PL 90x3.2x1048  
4-PL 190x12x285 (SM400A)  
16-BN W16x45 (2-#)  
16-BN W10x35 (2-#)  
4-U BOLT 呼び32c  
8-U BOLT 呼び15c

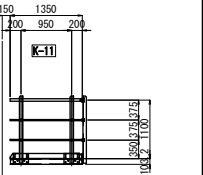
K-9正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x 805 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x2130 (STK400)  
1-PL 65x65x8x1258  
4-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x 628  
1-PL 90x3.2x 835  
1-PL 90x3.2x1048  
4-PL 190x12x285 (SM400A)  
16-BN W16x45 (2-#)  
16-BN W10x35 (2-#)  
4-U BOLT 呼び32c  
8-U BOLT 呼び15c

K-10正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x1180 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x2740 (STK400)  
1-PL 65x65x8x1258  
4-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x 808  
1-PL 90x3.2x 835  
1-PL 90x3.2x 868  
4-PL 190x12x285 (SM400A)  
16-BN W16x45 (2-#)  
16-BN W10x35 (2-#)  
4-U BOLT 呼び32c  
8-U BOLT 呼び15c

K-11正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x 830 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x2270 (STK400)  
1-PL 65x65x8x1258  
4-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x 648  
1-PL 90x3.2x 835  
1-PL 90x3.2x 864  
4-PL 190x12x285 (SM400A)  
16-BN W16x45 (2-#)  
16-BN W10x35 (2-#)  
4-U BOLT 呼び32c  
8-U BOLT 呼び15c

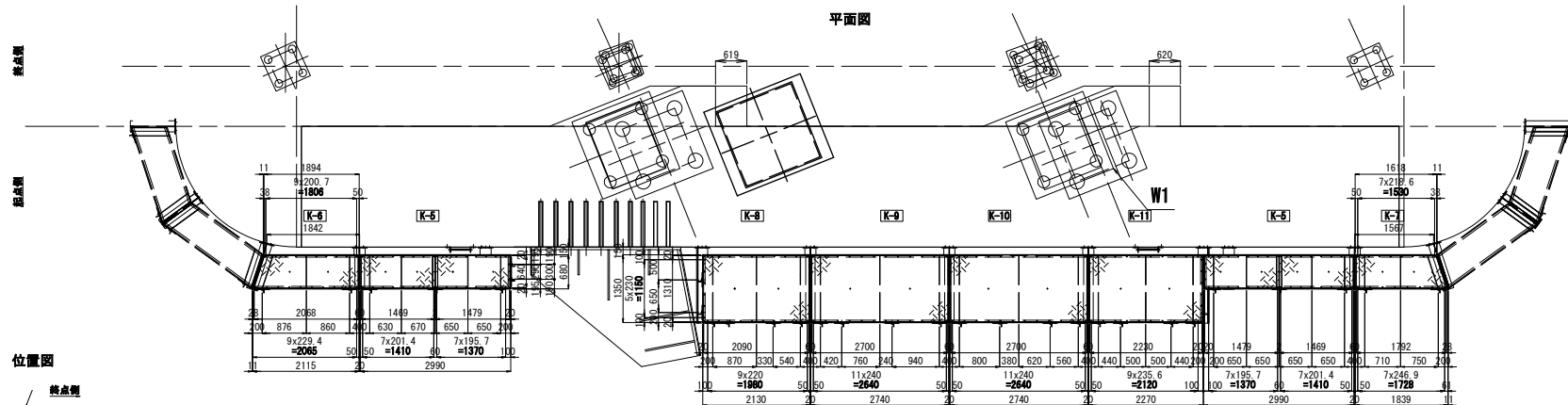
K-7正面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x1840 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x1840 (STK400)  
2-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x1840  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W16x45 (2-#)  
8-BN W10x35 (2-#)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

K-8側面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x1050 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x1050 (STK400)  
2-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x1347  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W16x45 (2-#)  
8-BN W10x35 (2-#)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

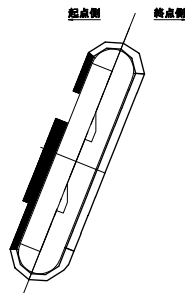


K-11側面 製作数: 1 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x1350 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.8x1350 (STK400)  
2-L 65x65x8x1258  
1-PL 90x3.2x1347  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W16x45 (2-#)  
8-BN W10x35 (2-#)  
2-U BOLT 呼び32c  
4-U BOLT 呼び15c

平面図



位置図



K-6 製作数: 1 (歩道)  
1-CH PL 840x3.2x2088 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x2115  
1-CH 100x50x5x7.5x1894  
1-L 75x75x8x 670  
1-L 75x75x8x 707  
2-FB 80x8x 670  
1-FB 80x8x 707  
16-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
1-PL 60x8x 880 (SM400A)  
1-PL 60x8x 704 (SM400A)

K-6 製作数: 2 (歩道)  
1-CH PL 840x3.2x1489 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x2290  
1-CH 100x50x5x7.5x880  
1-L 75x75x8x 670  
2-L 60x50x8x 670  
1-FB 80x8x 670  
34-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
1-PL 60x8x 880 (SM400A)  
1-PL 160x8x 880 (SM400A)

K-9 製作数: 1 (歩道)  
1-CH PL 1310x3.2x2080 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x2130  
1-CH 100x50x5x7.5x1350  
1-L 75x75x8x1340  
3-FB 80x8x 1340  
26-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
2-PL 60x8x1330 (SM400A)

K-9 製作数: 1 (歩道)  
1-CH PL 1310x3.2x2700 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x2740  
2-L 75x75x8x1340  
3-FB 80x8x1340  
24-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
2-PL 60x8x1330 (SM400A)

K-10 製作数: 1 (歩道)  
1-CH PL 1310x3.2x2230 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x2740  
2-L 75x75x8x1340  
3-FB 80x8x1340  
24-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
2-PL 60x8x1330 (SM400A)

K-11 製作数: 1 (歩道)  
1-CH PL 1310x3.2x2230 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x2740  
2-L 75x75x8x1340  
3-FB 80x8x1340  
20-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
2-PL 60x8x1330 (SM400A)

K-7 製作数: 1 (歩道)  
1-CH PL 840x3.2x1792 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x1830  
1-CH 100x50x5x7.5x1618  
1-L 75x75x8x 670  
1-L 75x75x8x 707  
2-FB 80x8x 670  
1-FB 80x8x 707  
16-BN W10x30 (1-#、1-T#)  
1-PL 60x8x 880 (SM400A)  
1-PL 60x8x 704 (SM400A)

- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
  2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
  3. 耐食性は、全てJIS55-Niの鋼材とし、めっき前にはプラスト処理を行うことを標準とする。
  4. ポルトは、3.2mm以上の鋼材及び鋼管に、めっき前にはプラスト処理を行うことを標準とする。
  5. 施工時に発着防止取付け位置が変わった場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 1 構造図(その10) <P3橋脚>		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		



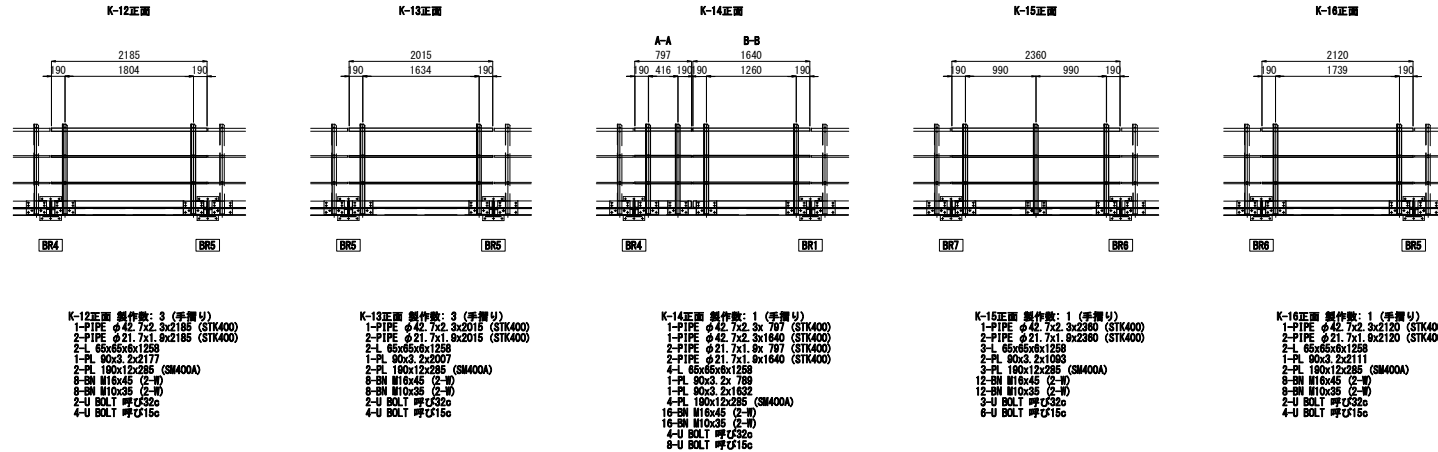
# 下部工検査路B 1 構造図(その11)

<P3橋脚>

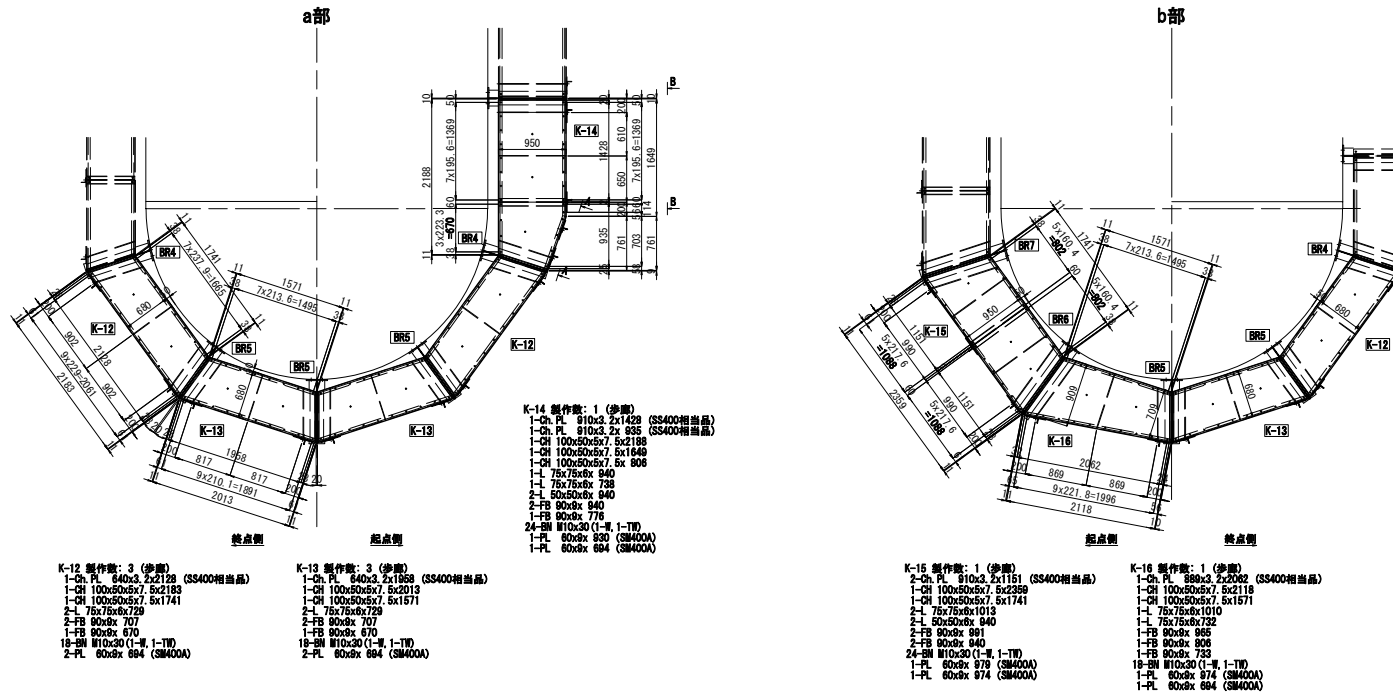
S=1:75

151 / 190

正面図



平面図

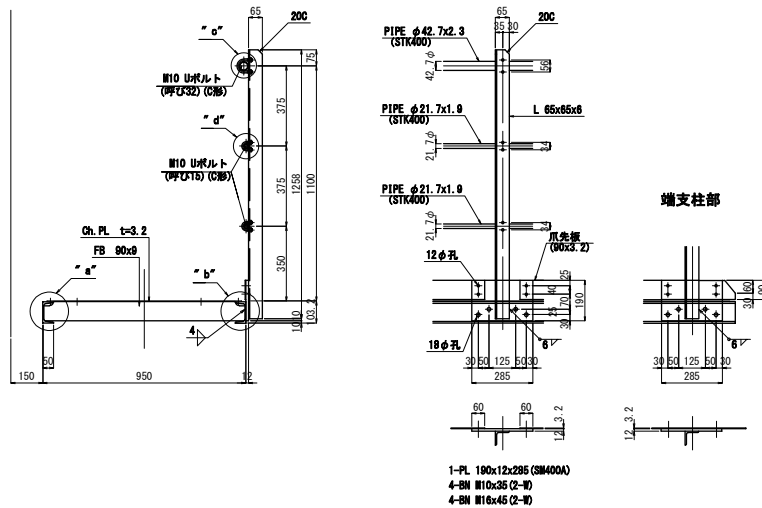


- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
  2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
  3. 新材は、全て溶接部を埋めつぎとする。  
亜鉛の膜厚は、JIS H8641 H0Z740～H0Z777とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び亜鉛めっきに高力ボルト等は膜厚77μm以上(H0Z777)とする。  
ただし、3.2mm以上6mm未満の亜鉛めっき材には、めっき前にプラス処理を行うことを標準とする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚40μm以上(H0Z740)とする。
  4. ボルト孔はメッキ付標準を準拠し、ボルト径+3mmを標準とする。
  5. 施工時に溶接防止取付け位置が変わった場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

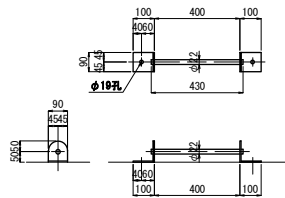
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 1 構造図(その11) <P3橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平研		
施工会社名	株式会社 片平研		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

**<P3橋脚>**

歩廊断面及び構造詳細図

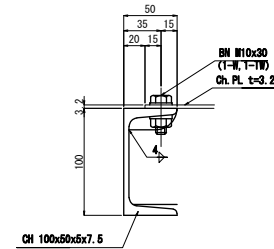
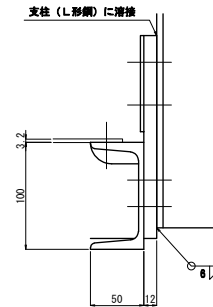


ステップ詳細図 S=1:25

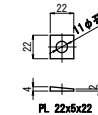


1箇所当り部材（設置数：15）  
1-RB φ22x430  
2-FB 90x6x200  
2-ホールインアンカー M16x125

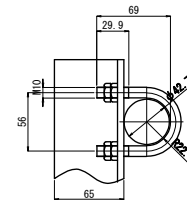
"a" 部詳細 S=1:5

**" b" 部詳細 S=1:5**

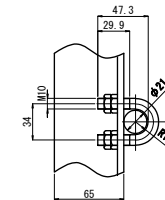
テーパー座金詳細 S=1:5



"C"部詳細 S=1:5



" d" 部詳細 S=1:5

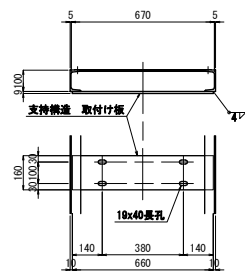
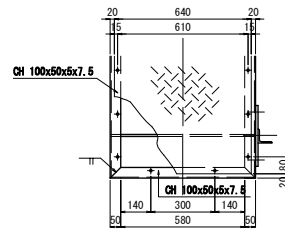


**注記**

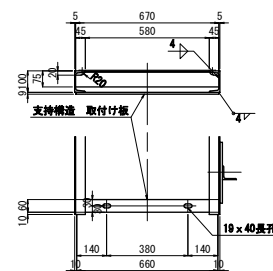
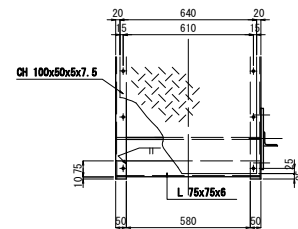
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。  
 3. 部材は、全て溶接部ぬきとする。  
 4. 鋼材の厚手は、JIS SH461 HDZT48~HDZT77とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼並に高力ボルト等3mm以上φ10(HDZT77)とする。  
 5. たし、3.2mm以上6.3mmの薄板部材は、めっき前にはプラスト処理を行うことを標準とする。  
 6. 2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、3mm未満φ10(HDZT48)とする。  
 7. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
図面の種類	下部工竣工検定日 1 検測図 (その12) <P3検測>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

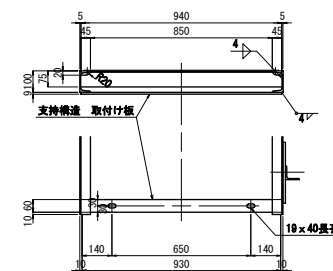
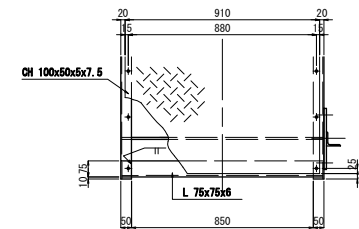
歩廊端部(幅員680)詳細図



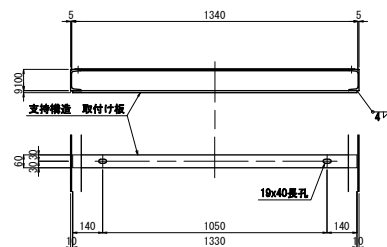
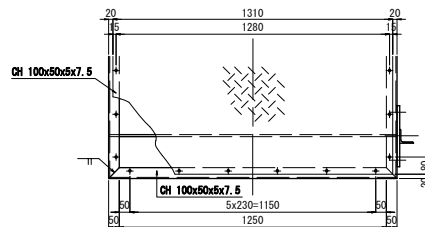
架け違い部(幅員680)詳細図



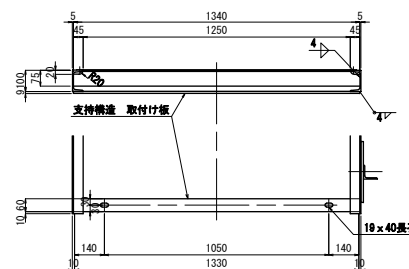
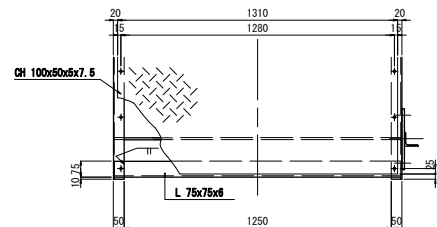
架け違い部(幅員950)詳細図



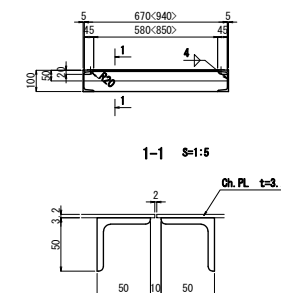
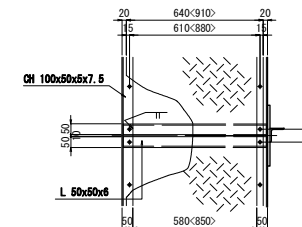
歩廊端部(幅員1350)詳細図



架け違い部(幅員1350)詳細図



Ch. PL分割部 詳細図



## 注 記

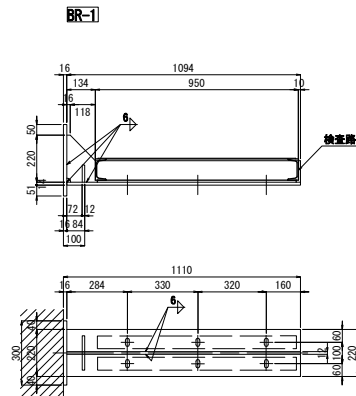
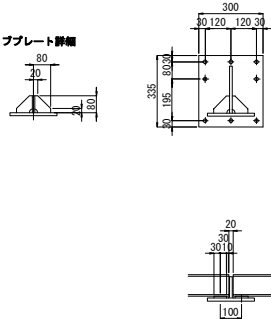
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶接継ぎ目とする。  
溶接の厚さは、JIS H8041 H02T48~H02T77とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼継ぎ目に高力ボルト等は継ぎ目77μm以上(H02T77)とする。  
ただし、3.2mm以上8mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、厚さ48μm以上(H02T48)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B1構造図(その13) <P3橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

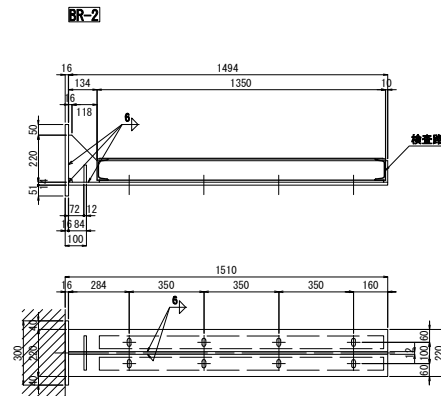
**<P3橋脚>**

下部構造検査路支持構造図

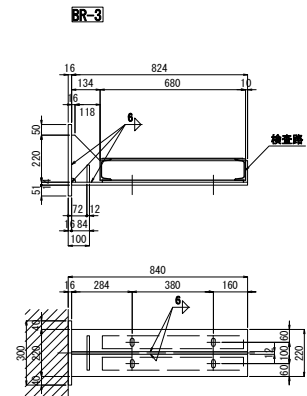
### リブプレート詳細



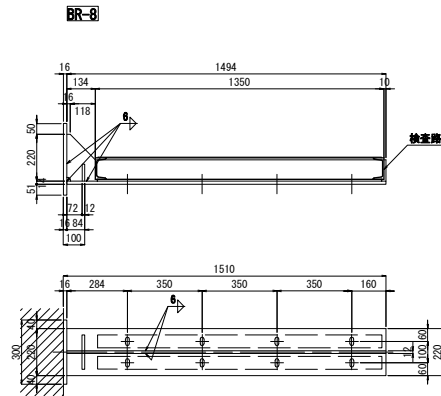
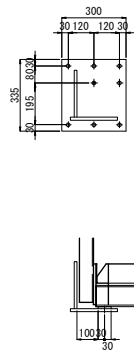
ブラケット1基当たり(製作数: 9基)  
 1-WEB PL 220x12x1094  
 1-FLG PL 220x14x1094  
 1-BASE PL 335x16x300 (SIN400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 6-BN M16x50 (2-材)  
 8-ホールインアンカー M20x170



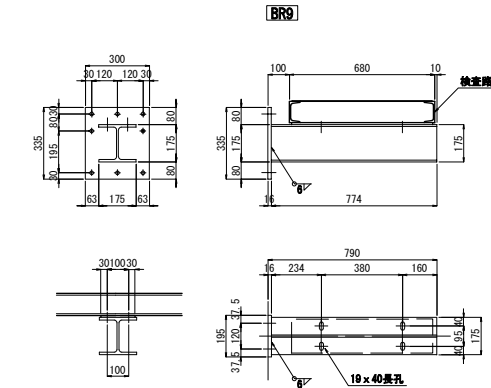
プラケット1基当たり(製作数: 3基)  
 1-WEB PL 220x12x1494  
 1-FLG PL 220x14x1494  
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 8-BN M16x50 (2-#)  
 8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数: 2基)  
 1-WEB PL 220x12x 824  
 1-FLG PL 220x14x 824  
 1-BASE PL 335x16x300(SH400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 4-BN M16x50 (2-円)  
 8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 2基)  
1-WEB PL 220x12x1494  
1-FLG PL 220x14x1494  
1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
8-BN M16x50 (2-町)  
8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 2基)  
1-H 175x175x7.5x11x774  
1-BASE PL 335x16x300(SIN400A)  
4-BN M16x50(2-#)  
8-ホールインアンカー M20x170

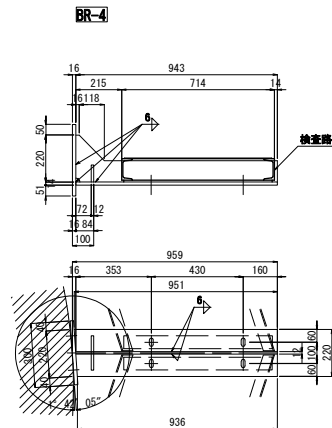
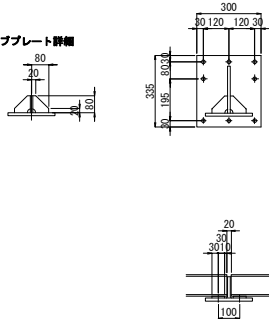
注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 鋳材は、全て清浄堅固めきとする。  
鋳物の厚手は、JIS H8461 HDZ748~HDZ777とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼鋼板及び高力ボルト等はHDZ777 $\mu$ m以上(HDZ777)とする。  
ただし、3.2mm以上6.3mmの薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを要するとする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、200 $\mu$ m以上(HDZ748)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

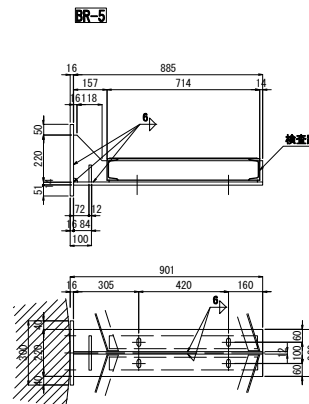
仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	下部工竣工後日11橋図面(その14) <P3橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

下部構造検査路支持構造図

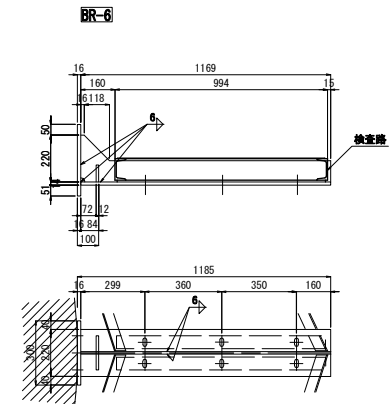
### リブプレート詳細



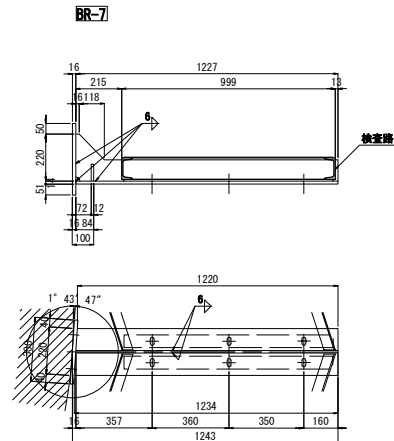
ブラケット1基当たり(製作数: 3基)  
 1-WEB PL 220x12x 943  
 1-FLG PL 220x14x 961  
 1-BASE PL 335x16x300(SH400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 4-BN M16x50(2-ワ)  
 8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数: 5基)  
 1-WEB PL 220x12x 885  
 1-FLG PL 220x14x 885  
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 4-BN M16x50(2-W)  
 8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数:1基)  
 1-WEB PL 220x12x1169  
 1-FLR PL 220x14x1169  
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 6-BN M16x50(2-#)  
 8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 1基)  
 1-WEB PL 220x12x127  
 1-FLG PL 220x14x1234  
 1-BASE PL 335x18x300(SM400A)  
 2-RIB PL 80x12x80  
 6-BN M16x50 (2-本)  
 8-ホールインアンカー M20x170

注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き金目のナットは、全て締め込みナットを使用すること。
3. 部材は、全て海腐蝕にめっきすること。  
 船体の鋼材は、JIS H8041 HDZT48～HDZT77とする。  
 厚さ $\geq 3.2\text{mm}$ 以上の鋼材及び型鋼並に高力ボルト等はHDZT77以上とする(HDZT77)とする。  
 たし、 $3.2\text{mm}$ 以上の鋼材の海板部材には、めっき前にブラスト処理を行うことを標準とする。  
 $3.2\text{mm}$ 未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZT48以上とする(HDZT48)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径 $\times 3\text{mm}$ を標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
図面の種類	下部工竣工図書 第1 橋造図 (その15) ＜P3橋脚＞		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

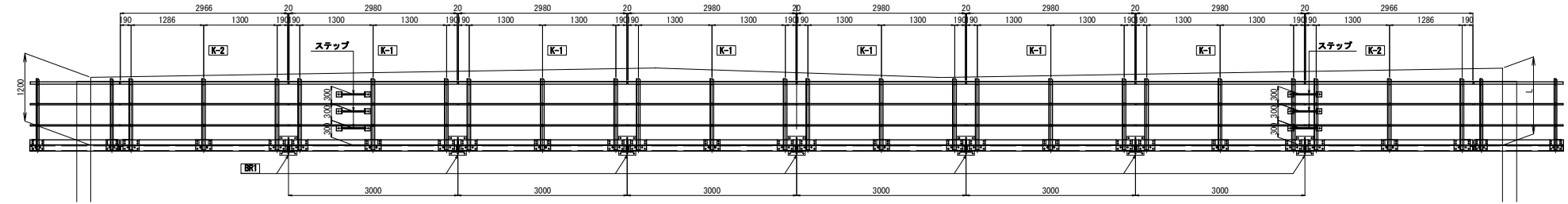
下部工検査路B 2 構造図(その1)

<P1, P4橋脚>

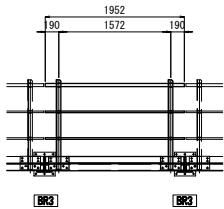
S=1:75

156 / 190

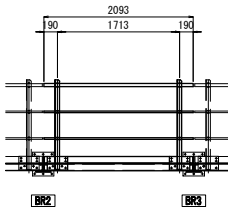
正面図



B-B  
K-4正面



A-A  
K-3正面



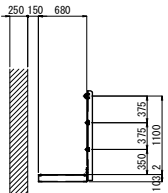
K-4正面 製作数: 2 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x1952 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x1952 (STK400)  
2-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x1948  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W10x45 (Z-M)  
8-BN W10x35 (Z-M)  
2-U BOLT 呼び32φ  
4-U BOLT 呼び15φ

K-3正面 製作数: 4 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2083 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2083 (STK400)  
2-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x2087  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN W10x45 (Z-M)  
8-BN W10x35 (Z-M)  
2-U BOLT 呼び32φ  
4-U BOLT 呼び15φ

K-2正面 製作数: 4 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2986 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2986 (STK400)  
3-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x1408  
1-PL 90x3.2x1389  
3-PL 190x12x285 (SM400A)  
12-BN W10x45 (Z-M)  
12-BN W10x35 (Z-M)  
3-U BOLT 呼び32φ  
6-U BOLT 呼び15φ

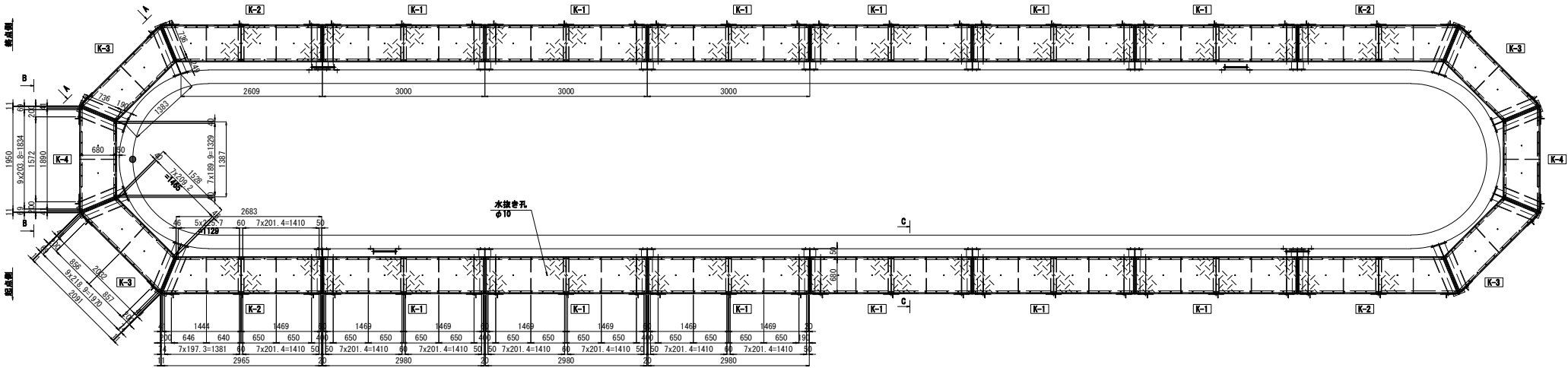
K-1正面 製作数: 12 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2980 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2980 (STK400)  
3-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x1408  
3-PL 190x12x285 (SM400A)  
12-BN W10x45 (Z-M)  
12-BN W10x35 (Z-M)  
3-U BOLT 呼び32φ  
6-U BOLT 呼び15φ

C-C



	P1	P4
L	1384	1428

平面図



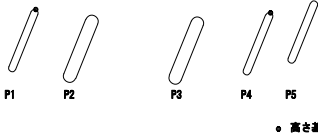
K-4 製作数: 2 (歩脚)  
1-CH. PL 680x3.2x1890 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x1950  
1-CH 100x50x5x7.5x1387  
2-L 75x75x6x756  
2-FB 90x6x 729  
1-FB 90x6x 670  
18-BN W10x30 (1-M, 1-TW)  
2-PL 60x6x 716 (SM400A)

K-3 製作数: 4 (歩脚)  
1-CH. PL 680x3.2x2032 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x2061  
1-CH 100x50x5x7.5x1528  
2-L 75x75x6x756  
2-FB 90x6x 729  
1-FB 90x6x 670  
18-BN W10x30 (1-M, 1-TW)  
2-PL 60x6x 716 (SM400A)

K-2 製作数: 4 (歩脚)  
1-CH. PL 680x3.2x1444 (SS400相当品)  
1-CH. PL 680x3.2x1489 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x2986  
1-CH 100x50x5x7.5x2883  
1-L 75x75x6x 756  
1-L 75x75x6x 670  
2-L 65x65x6x 670  
1-FB 90x6x 729  
3-FB 90x6x 670  
30-BN W10x30 (1-M, 1-TW)  
1-PL 60x6x 716 (SM400A)  
1-PL 60x6x 680 (SM400A)

K-1 製作数: 12 (歩脚)  
2-CH. PL 680x3.2x1469 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x2980  
2-L 75x75x6x 670  
2-L 60x50x6x 670  
4-FB 90x6x 670  
32-BN W10x30 (1-M, 1-TW)  
2-PL 60x6x 680 (SM400A)

位置図



- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
  - Uボルト付き以外のナットは、全て締め止め
  - 部材は、全て歩脚部迄めっきとする。  
亜鉛の膜厚は、JIS H8541 H0ZT48~H0ZT77とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼端並びに高力ボルト等は基準77μm以上 (H0ZT77) とする。  
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
  - 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚40μm以上 (H0ZT40) とする。
  - ボルト孔はメッキ付量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その1) <P1, P4橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平研日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

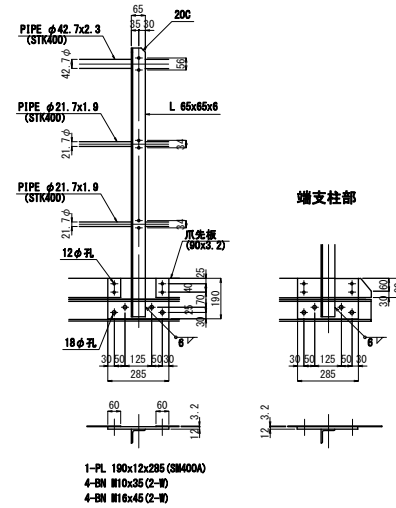
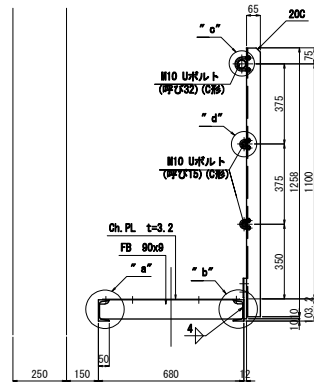
# 下部工検査路B 2 構造図(その2)

<P1, P4橋脚>

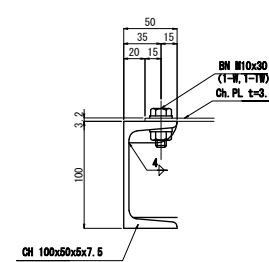
S=1:25

157 / 190

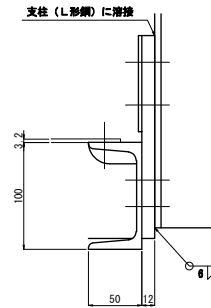
歩廊断面及び構造詳細図



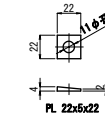
"a" 部詳細 S=1:5



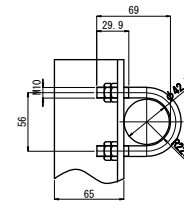
"b" 部詳細 S=1:5



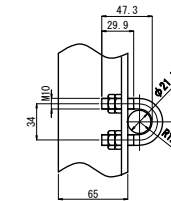
デーパー座金詳細 S=1:5



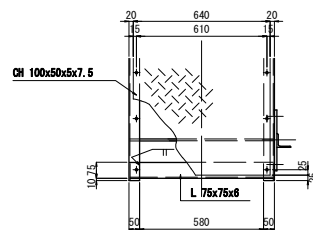
"c" 部詳細 S=1:5



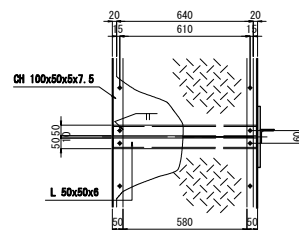
"d" 部詳細 S=1:5



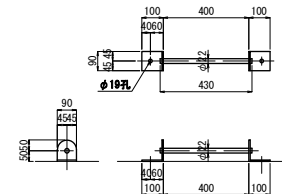
架け違い部(幅員680)詳細図



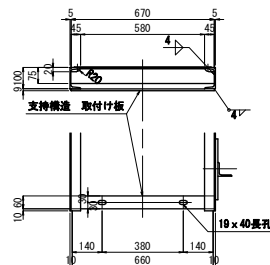
Ch. PL分割部 詳細図



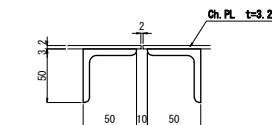
ステップ詳細図 S=1:25



1箇所当り部材(設置数:12)  
1-BS φ22x430  
2-FB 80x6x200  
2-ホールインアンカー M16x125



1-1 S=1:5



## 注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. じボルト付き以外のナットは、全て隠み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
造船の腐食は、JIS B8041 H0ZT49~H0ZT77とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼製品に高力ボルト等は標準77μm以上(H0ZT77)とする。  
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、標準40μm以上(H0ZT49)とする。  
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台支那道橋 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その2) <P1, P4橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

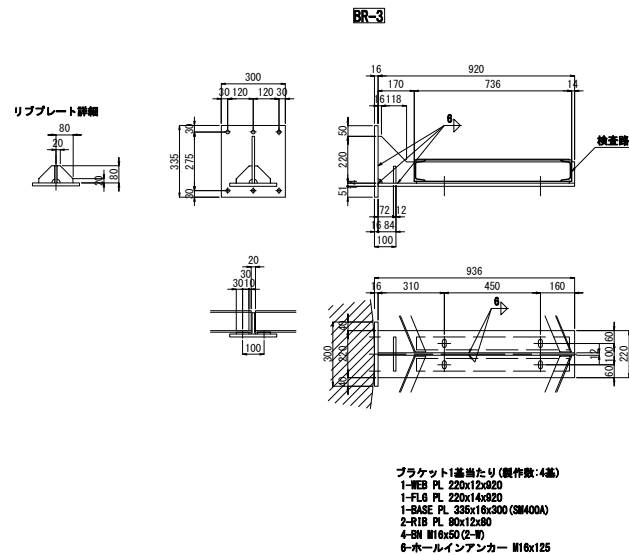
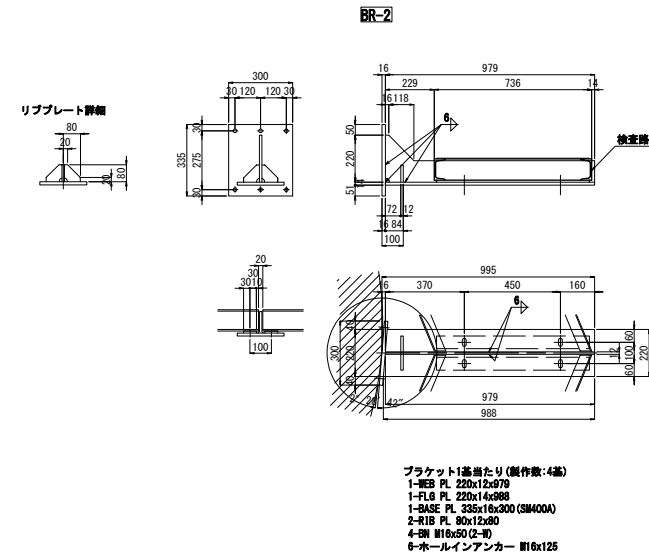
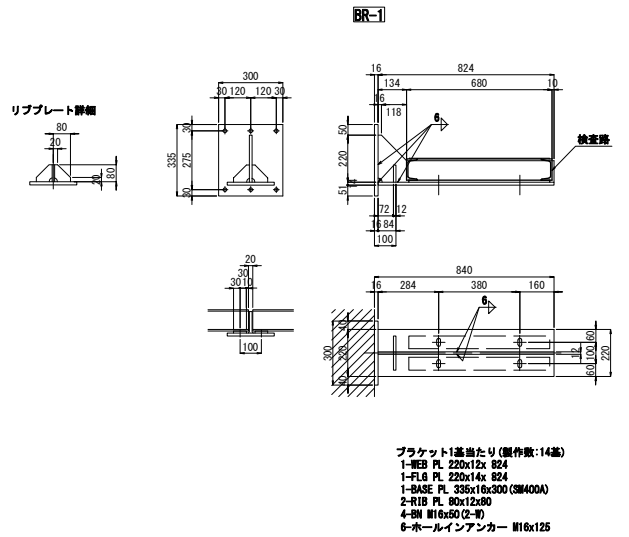
# 下部工検査路B 2 構造図(その3)

<P1, P4橋脚>

S=1:25

158 / 190

## 下部構造検査路支持構造図



### 注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て隠み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
 産地の履歴は、JIS R8941 H2T49~H2T77とする。  
 厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼線鋼索及び高力ボルト等は鋼厚77μm以上 (H2T77) とする。  
 ただし、3.2mm以上6mm未満の厚板部材には、めっき前にプラスティック処理を行うことを標準とする。  
 鋼厚40μm以上 (H2T49) とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合直都道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その3) <P1, P4橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		



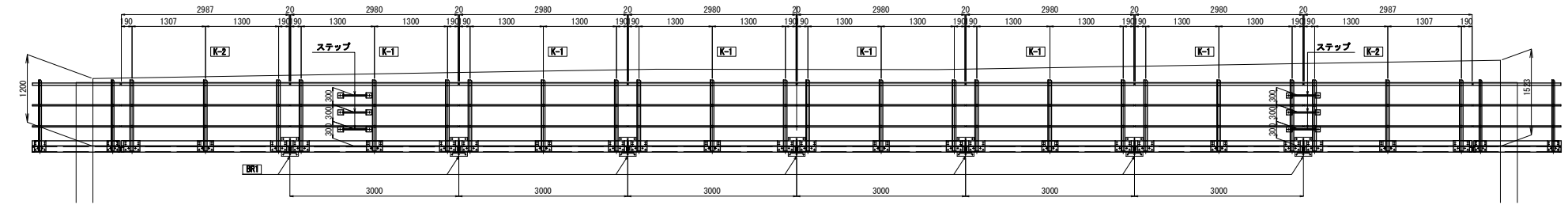
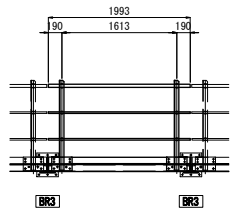
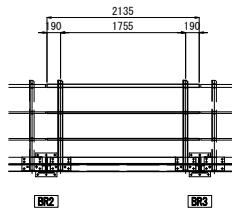
## 下部工検査路B 2 構造図(その4)

&lt;P5橋脚&gt;

S=1:75

159/190

正面図

B-B  
K-4正面A-A  
K-3正面

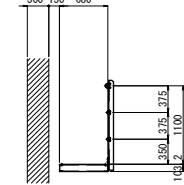
K-4正面 製作数: 2 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x1993 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x1993 (STK400)  
2-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x1987  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
9-BH W10x45 (2-W)  
9-BH W10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32φ  
4-U BOLT 呼び15φ

K-3正面 製作数: 4 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2135 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2135 (STK400)  
2-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x2129  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
9-BH W10x45 (2-W)  
9-BH W10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32φ  
4-U BOLT 呼び15φ

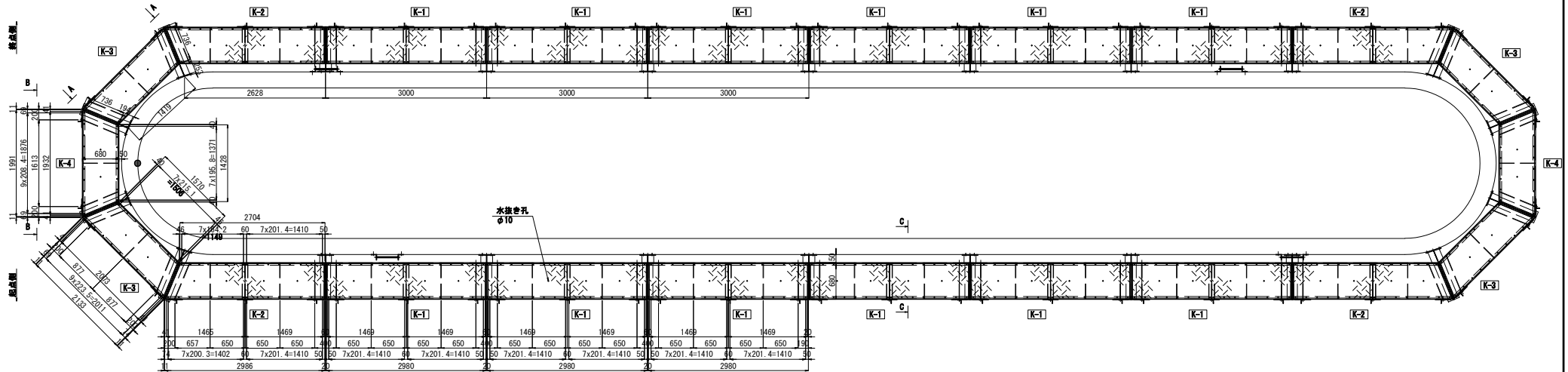
K-2正面 製作数: 4 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2987 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2987 (STK400)  
3-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x1408  
1-PL 90x3.2x1410  
3-PL 190x12x285 (SM400A)  
12-BH W10x45 (2-W)  
12-BH W10x35 (2-W)  
3-U BOLT 呼び32φ  
6-U BOLT 呼び15φ

K-1正面 製作数: 12 (手摺り)  
1-PIPE φ42.7x2.3x2980 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x2980 (STK400)  
3-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x1408  
3-PL 190x12x285 (SM400A)  
12-BH W10x45 (2-W)  
12-BH W10x35 (2-W)  
3-U BOLT 呼び32φ  
6-U BOLT 呼び15φ

C-C



平面図



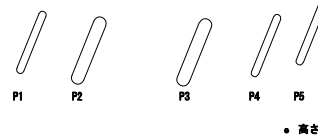
K-4 製作数: 2 (歩脚)  
1-CH. PL 680x3.2x1932 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x1991  
1-CH 100x50x5x7.5x1428  
2-L 75x75x6x756  
2-FB 90x9x 729  
1-FB 90x9x 670  
19-BH W10x30 (1-W, 1-TW)  
2-PL 60x9x 716 (SM400A)

K-3 製作数: 4 (歩脚)  
1-CH. PL 680x3.2x2073 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x2133  
1-CH 100x50x5x7.5x1570  
2-L 75x75x6x756  
2-FB 90x9x 729  
1-FB 90x9x 670  
19-BH W10x30 (1-W, 1-TW)  
2-PL 60x9x 716 (SM400A)

K-2 製作数: 4 (歩脚)  
1-CH. PL 680x3.2x1465 (SS400相当品)  
1-CH. PL 680x3.2x1469 (SS400相当品)  
1-CH 100x50x5x7.5x2088  
1-CH 100x50x5x7.5x2704  
1-L 75x75x6x 756  
1-L 75x75x6x 670  
2-L 50x50x6x 670  
1-FB 90x9x 729  
3-FB 90x9x 670  
32-BH W10x30 (1-W, 1-TW)  
1-PL 60x9x 716 (SM400A)  
1-PL 60x9x 680 (SM400A)

K-1 製作数: 12 (歩脚)  
2-CH. PL 680x3.2x1469 (SS400相当品)  
2-CH 100x50x5x7.5x2980  
2-L 75x75x6x 670  
2-L 50x50x6x 670  
4-FB 90x9x 670  
32-BH W10x30 (1-W, 1-TW)  
2-PL 60x9x 680 (SM400A)

位置図

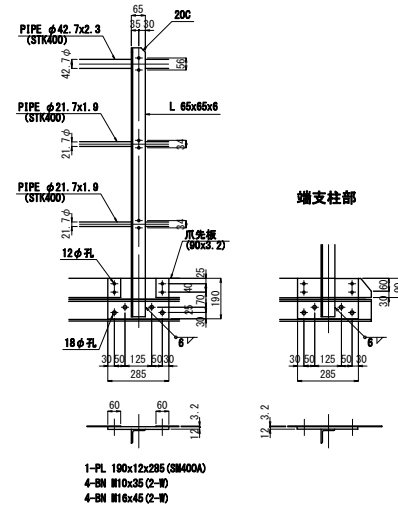
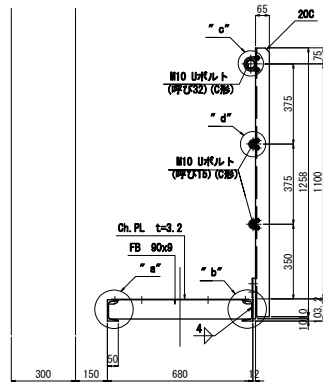


## 注 記

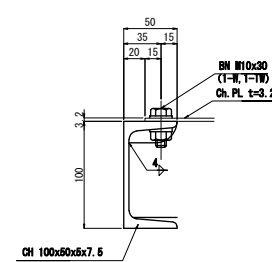
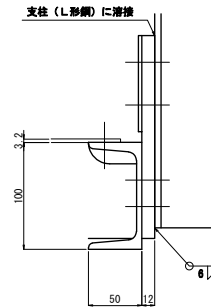
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
亜鉛の膜厚は、JIS H8641 H0ZT49~H0ZT77とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼鋼並びに高力ボルト等は膜厚77μm以上 (H0ZT77) とする。  
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚49μm以上 (H0ZT49) とする。
- ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その4) <P5橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

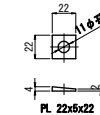
### 歩廊断面及び構造詳細図



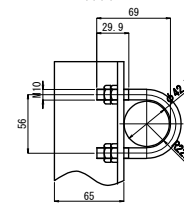
"a" 部詳細 §1:5

**" b" 部詳細** S=1:5

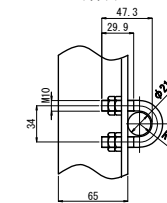
テーブル座金詳細 S=1:5



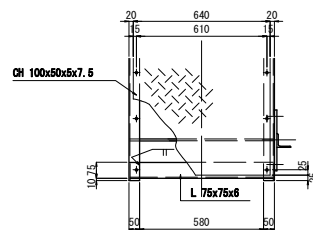
"C"部詳細 S=1:5



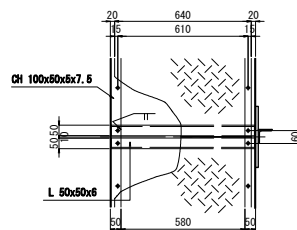
" d" 部詳細 S=1:5



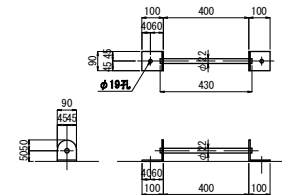
### 架け違い部(幅員680)詳細図



### Ch. PL分割部 詳細図



ステップ詳細図 S=1:25



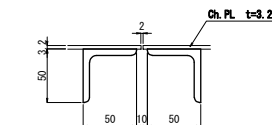
1箇所当り部材（設置数：12）

1-RB  $\phi 22 \times 430$

2-FB 90x6x200

## 2-ホールインア

1-1 S-1:5

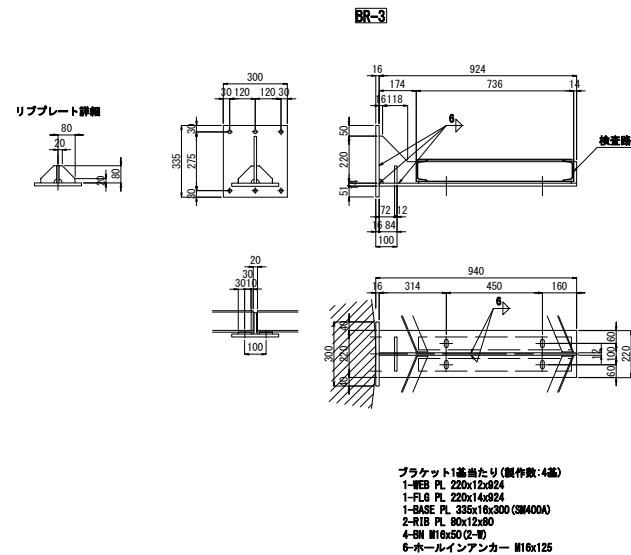
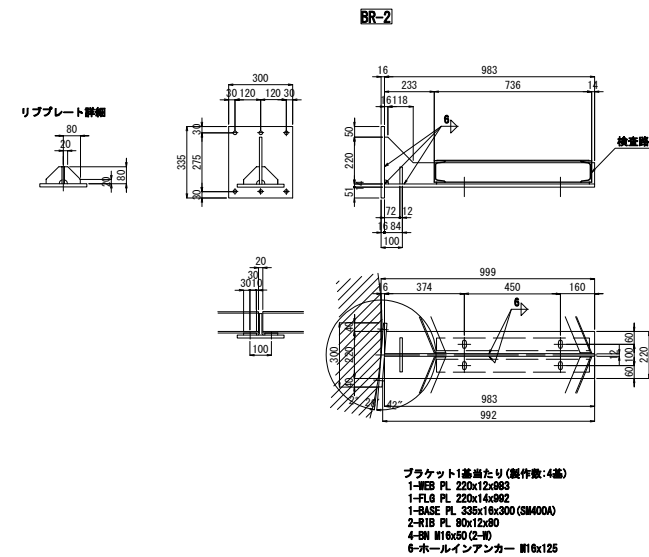
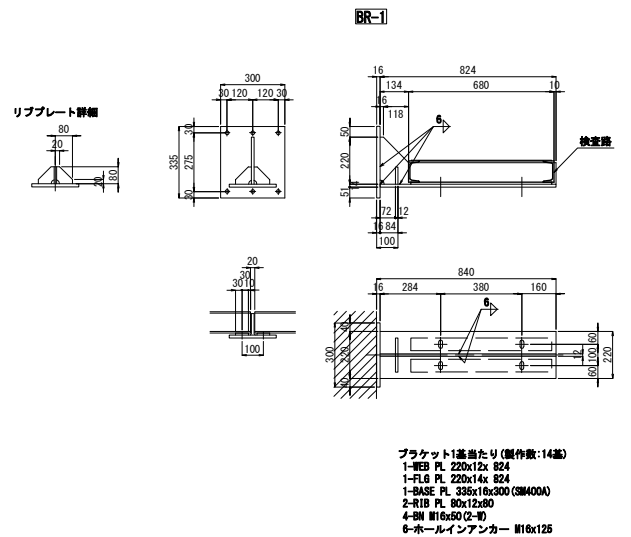


**注 記**

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶接部あけつきとする。  
溶接の厚さは、JIS H8041 HDZ748～HDZ777とする。  
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼溶接部は高力ボルト等3mm以上φ12(HDZ777)とする。  
ただし、3.2mm以上6.3mmの薄板部材は、めっき前  
にプラスト処理を行うことを要するとする。  
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、  
HDZ49φ14(φ12以上)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、  
ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	下部工検査図日2構造図(その5) <P56図>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

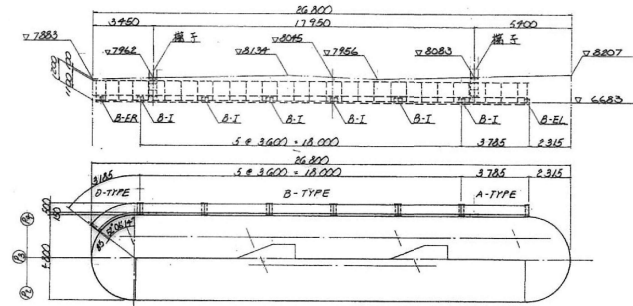
下部構造検査路支持構造図



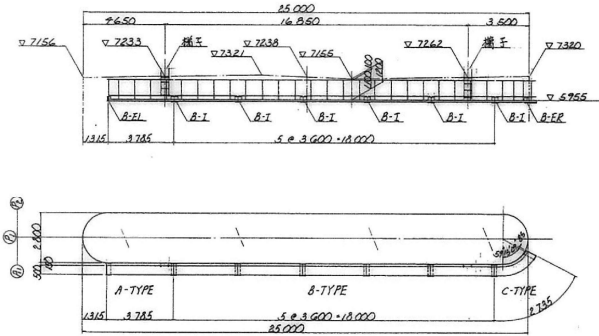
注 記

1. 特記なき材質は、全てS3400とする。
2. シュルト付き以外のフットは、全て縦み止めナットを使用すること。
3. 材料は、全て全溶断可能なフットとする。  
① 縦断面は、 $\phi 10$ mmの丸棒、D17T7とする。  
両さ3.2mm以上の鋼材及び鋼線鋼並びに高力ボルト等は鋼線77  $\mu$ m以上(D17T77)とする。  
ただし、3.2mm以上6mm未満の厚板部材には、めっき前にプラス処理を行うことを標準とする。  
② 鋼線40  $\mu$ m以上の鋼線ボルト等は、鋼線40  $\mu$ m以上(D17T40)とする。
4. ボルト孔はメッシュ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

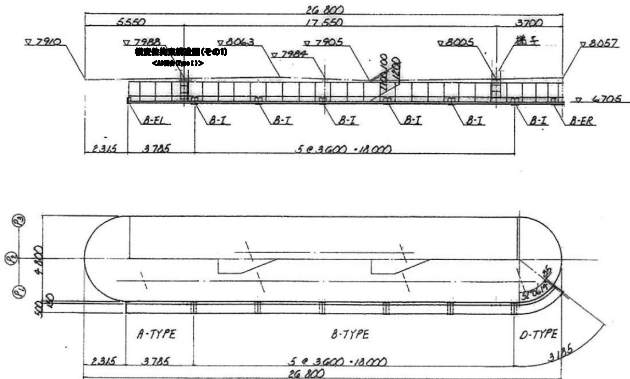
<b>仙台東部道路 新名取川橋梁整備施工工事</b>			
<b>図面の種類</b>	<b>下部工検査書日 2 構造図 (その他) ①P6欄側</b>		
<b>縮 尺</b>	<b>1:25</b>	<b>図面番号</b>	
<b>設計会社名</b>	<b>株式会社 片平新日本技研</b>		
<b>施工会社名</b>			
<b>事務所名</b>	<b>東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所</b>		



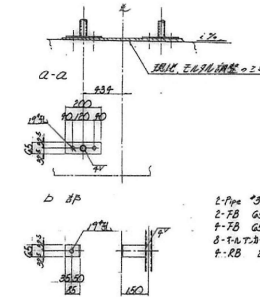
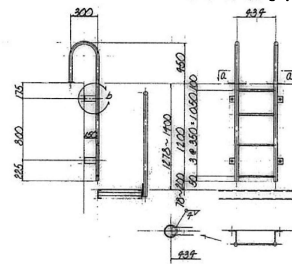
P1橋脚 S=1:300



**P2橋脚**      **S=1:300**



橘子詳細 S=1:60



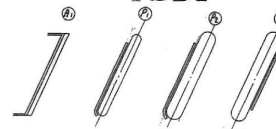
2-Pipe 3/4" x 2.3 = 2265 (STK 41)  
2-FB 65 x 6 = 200  
4-FB 65 x 6 = 218  
8-T.A.T. 1/2" M16 = 100  
4-RB 12" x 930

座 記

1. 無記名材質は全てSS41とする。
2. 鋼材は全て塩酸亜鉛メッキとする。

仕様量はJIS H8691のHDB55Cとする。  
FEL, ボルト, ナット, 手摺, の仕様量は、  
HDB35Aとする。

### — 配置図



**新名取川橋 既設下部工検査路撤去数量**

		搬去重量 (kg)	搬去延長 (m)
P1機脚	上下線 合計	1,851	24.5
P2機脚		1,876	24.9
P3機脚		1,876	24.9

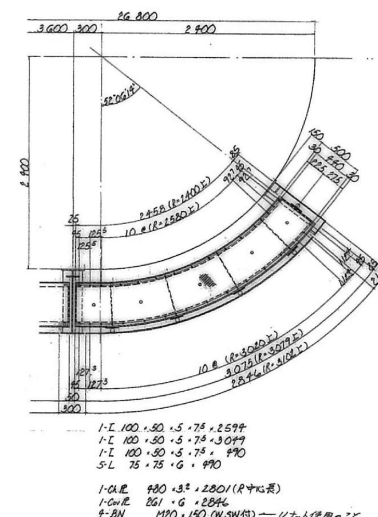
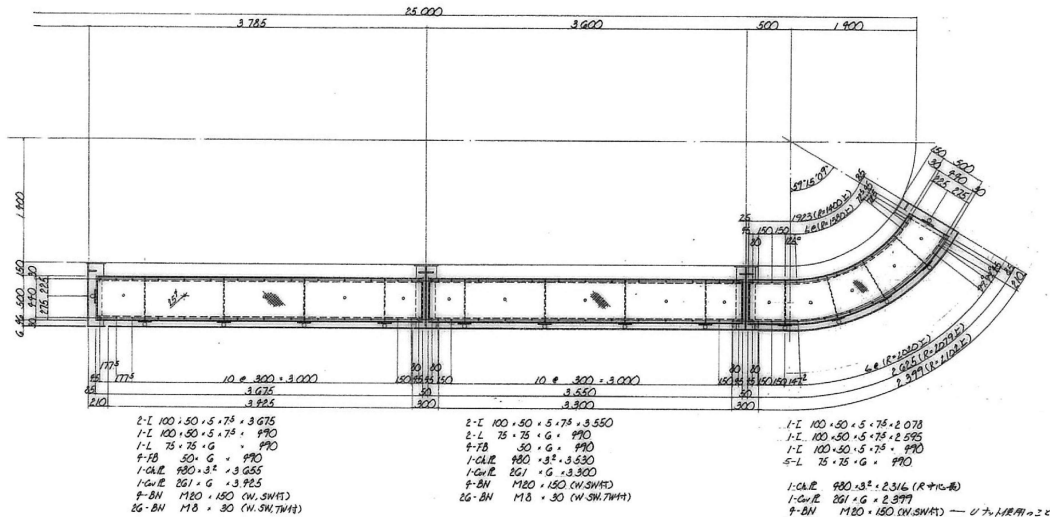
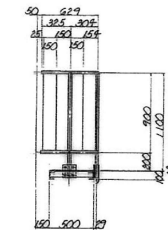
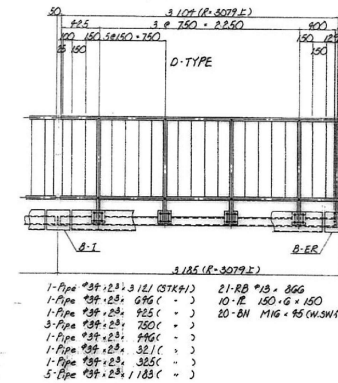
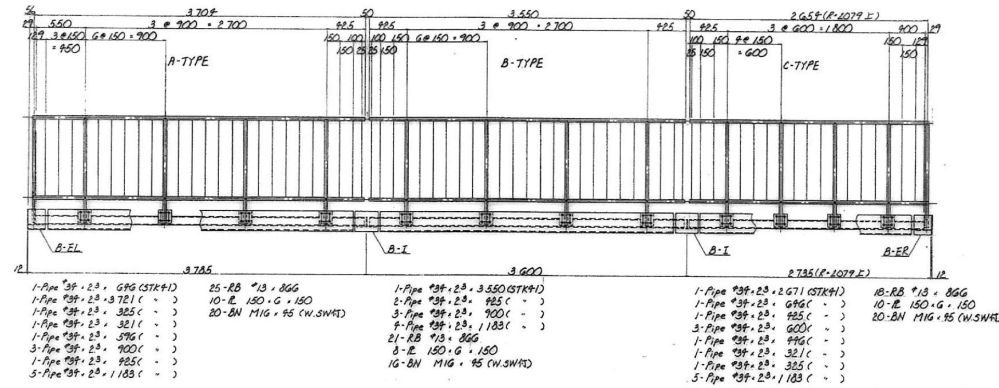
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事	
図面の種類	下部工検査指図書(その1) <P1~P3欄>
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所

# 下部工検査路撤去工図(その2)

<P1~P3橋脚>

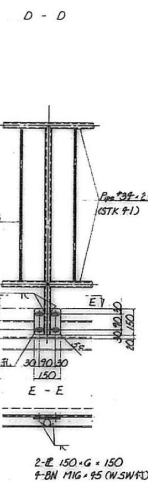
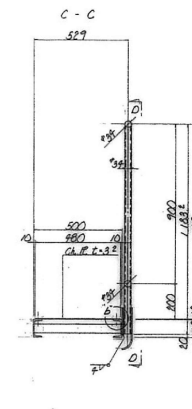
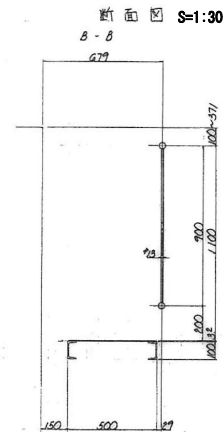
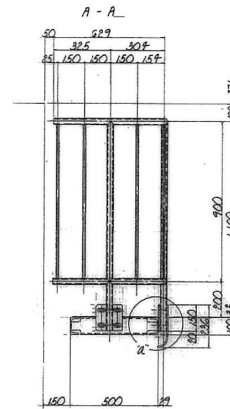
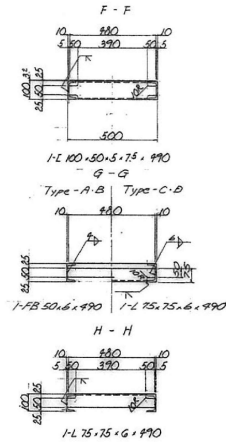
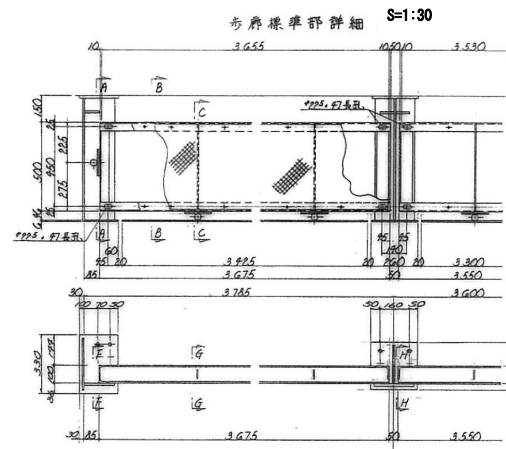
S=1:60

163/190



注記  
1. 新設部は材料費を全て55%とする。  
2. 既存部は全て現況を55%とする。  
3. 現況量は JIS H 6604/1 H 6605.55C とする。  
4. 既設部は JIS H 6604/1 H 6605.55C とする。  
5. H 6605.55A とする。

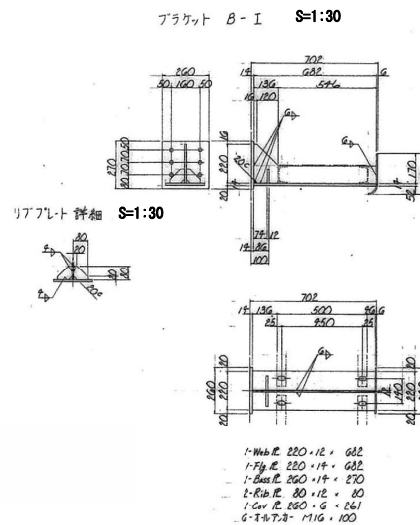
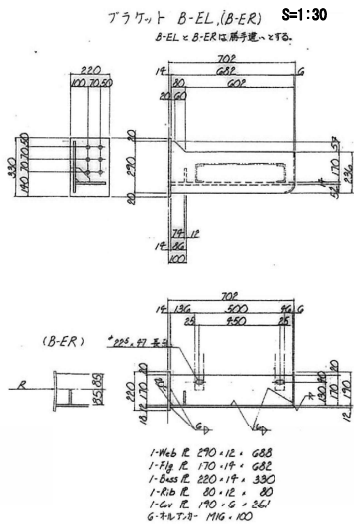
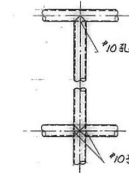
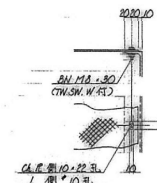
仙台東部道路 新名取川橋脚撤去工事			
図面の種類	下部工検査路撤去工図(その2) <P1~P3橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		
事業所名			



a 部詳細 S=1:30

6部詳細 S=1:15

重鋁メッキ空抜孔詳細 S=1:15



リブフレット 詳細 S=1:30

**S=1:30**

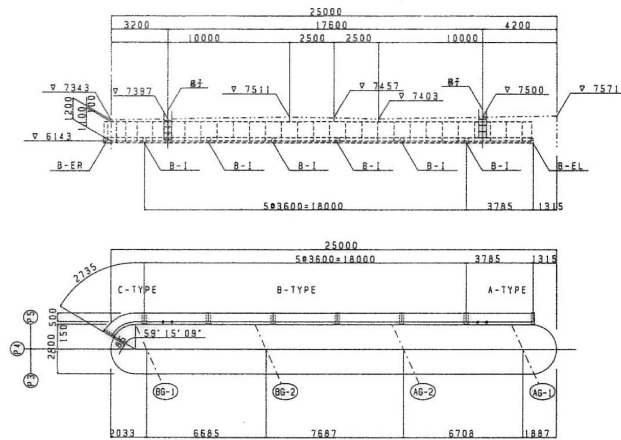
ブラケット製作数

		$P_1$ 高野	$P_2$ 高野	$P_3$ 高野	計
B-EL	直	/	/	/	
B-ER	曲	(R=4000)	(R=2400)	(R=2400)	
B-I	直	/	△	△	/
計		3	3	3	9

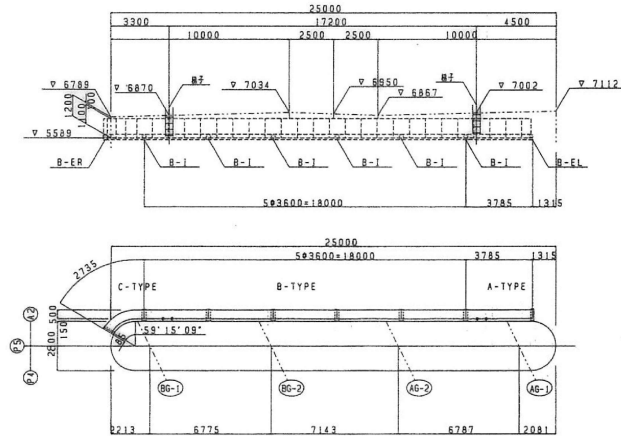
1. 銅板は全てH86Fとする。  
 2. 銅板は全てH86Fとする。  
 材質量はJIS H86F/HDZ55Cとする。  
 ただし、ホルト、タツ、手摺の材質量は  
 HDZ35Aとする。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備工事			
図面の種類	下部工検査踏査施工(その3) <P1~P3横断>		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

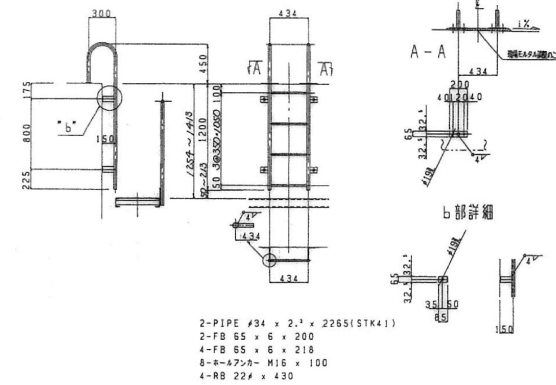
P4 脚 1:300



P5 橋脚 1:300



梯子詳細 1:60

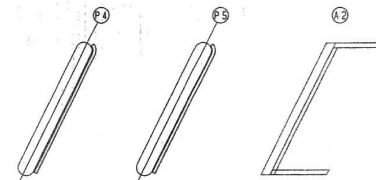


2-PIPE #34 x 2.3 x 2265(STK4)  
2-FB 65 x 6 x 200  
4-FB 65 x 6 x 218  
8-ボルト-ア-ンカ- M16 x 100  
4-RB 22# x 430

注)

1. 補記なき材質は全てSS41とする。  
2. 塗料は全て溶剤系メッキとする。  
付着量は、JIS H 8641のHDZ55C とする。  
但し、ボルト、ナット手摺の付着量はHDZ35A とする。

配置图



**新名取川橋 既設下部工検査路撤去数量**

		搬去重量 (kg)	搬去延長 (m)
P4槽脚	上下線	1,851	24.5
P5槽脚	合計	1,851	24.5

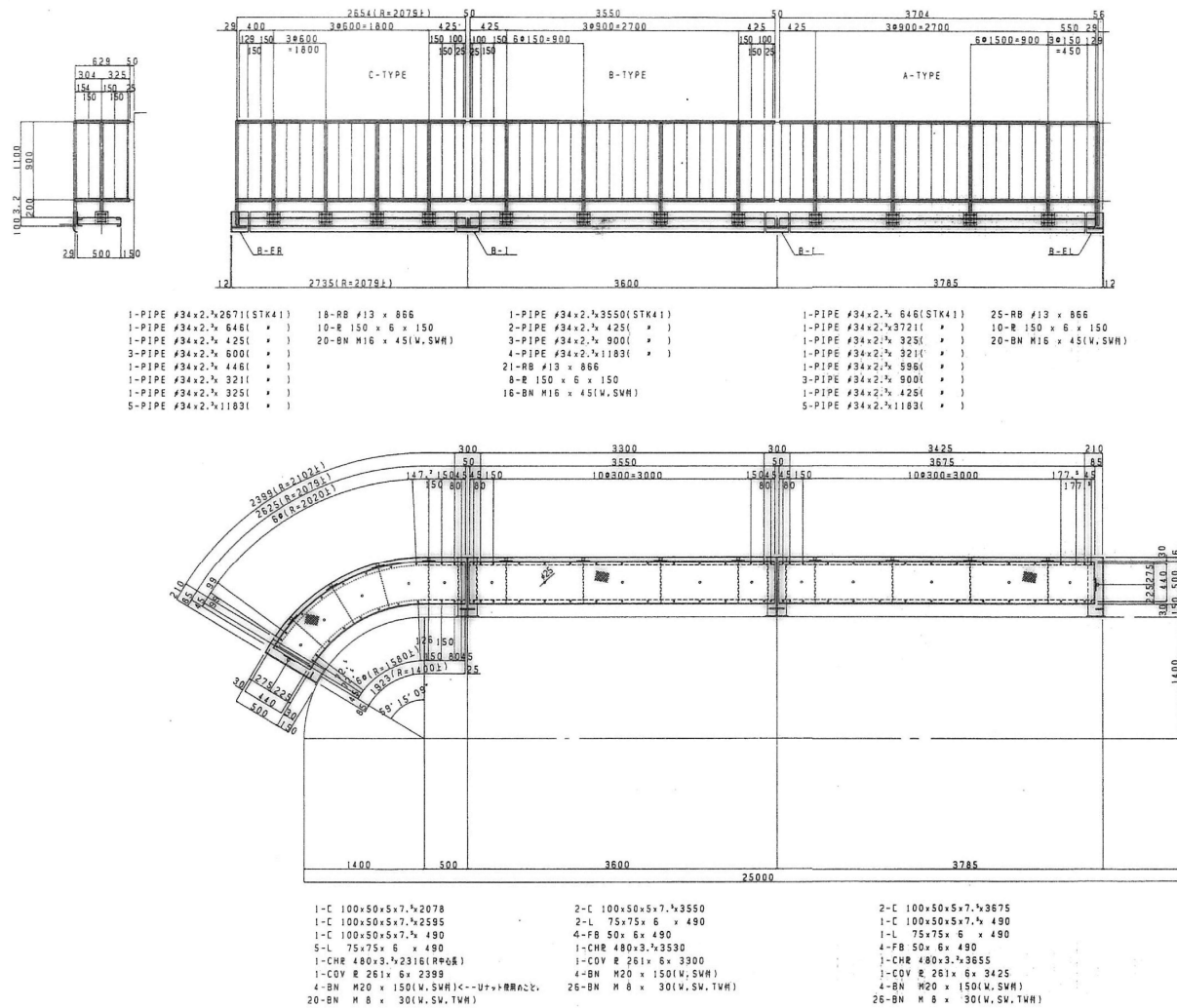
仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	下郷工検査路踏査工図(その4) <P4・P5橋脚>		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所用	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

## 下部工検査路撤去工図(その5)

&lt;P4・P5橋脚&gt;

S=1:60

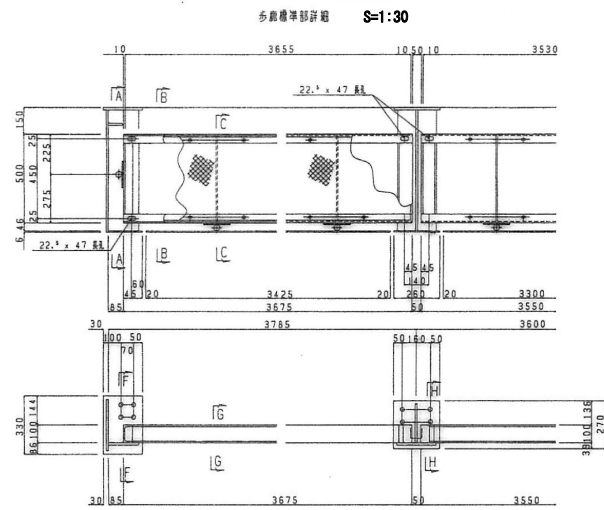
166/190



- 注)
1. 欄記の材料は全てSS41とする。
  2. 欄記の金型は全てSS41とする。
- 付箋は、JIS H 8641のHDZ55C とする。  
仮し、ボルト、ナット、字印の付箋はHDZ35A とする。

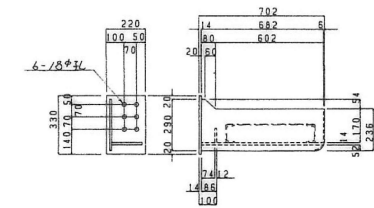
仙台東部道路 新名取川橋脚撤去工事			
図面の種類	下部工検査路撤去工図(その5) <P4・P5橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		



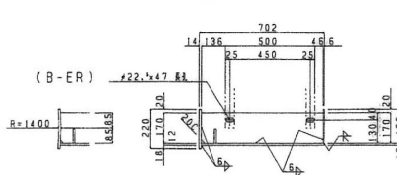


ブラケット B-EL, (B-ER) **S=1:30**

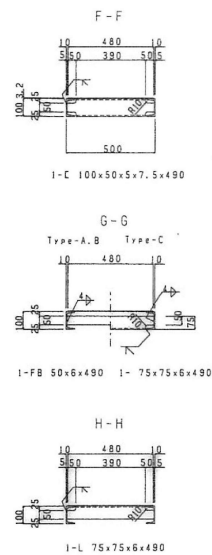
$B-E_L$  と  $B-E_R$  は異手違いとする。



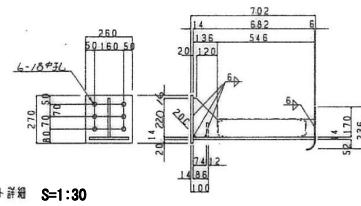
リブプレート詳細 S=1:30



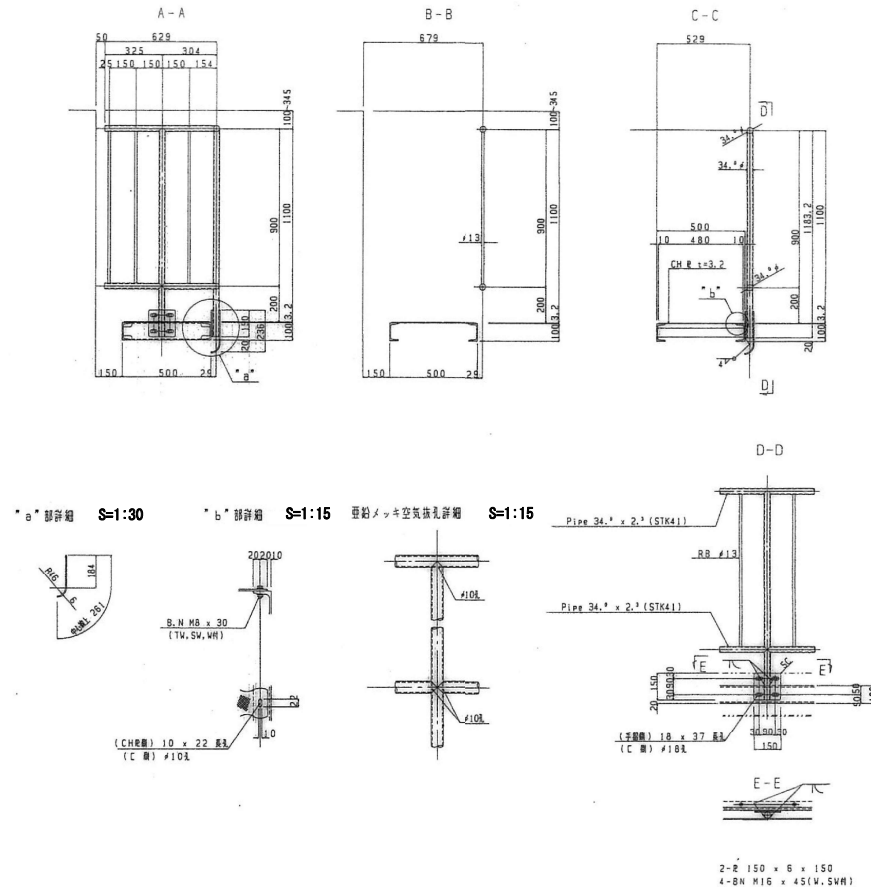
- 1-WEB 290 x 12 x 688  
1-FLG 170 x 14 x 682  
1-BASE 220 x 14 x 330  
1-RIB 80 x 12 x 80  
1-COV 190 x 6 x 261  
6-ネールアンカー M16 x 100



ブラケット B-I S=1:30



- 1-WEB R 220 x 12 x 682  
1-FLG R 220 x 14 x 682  
1-BASE R 260 x 14 x 270  
2-RIB R 60 x 12 x 80  
1-COV R 260 x 6 x 261  
6-ネールアンカー M16 x 100



プラケット製作数

		P4 橋脚	P5 橋脚	計
B-EL	直	1	1	2
B-FR	白	1	1	2
B-I	直	6	6	12
	計	8	8	16

注)

1. 特記なき材質は全てSS41とする。
  2. 部材は全て溶接部メッキとする。
- 付着量は、JIS H 8641のHDZ55C とする。  
但し、ボルト、ナット、手錠の付着量はHDZ35A とする。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事		
図面の種類	下部工検査時遊歩工面(その6) <P4・P5欄>	
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所	

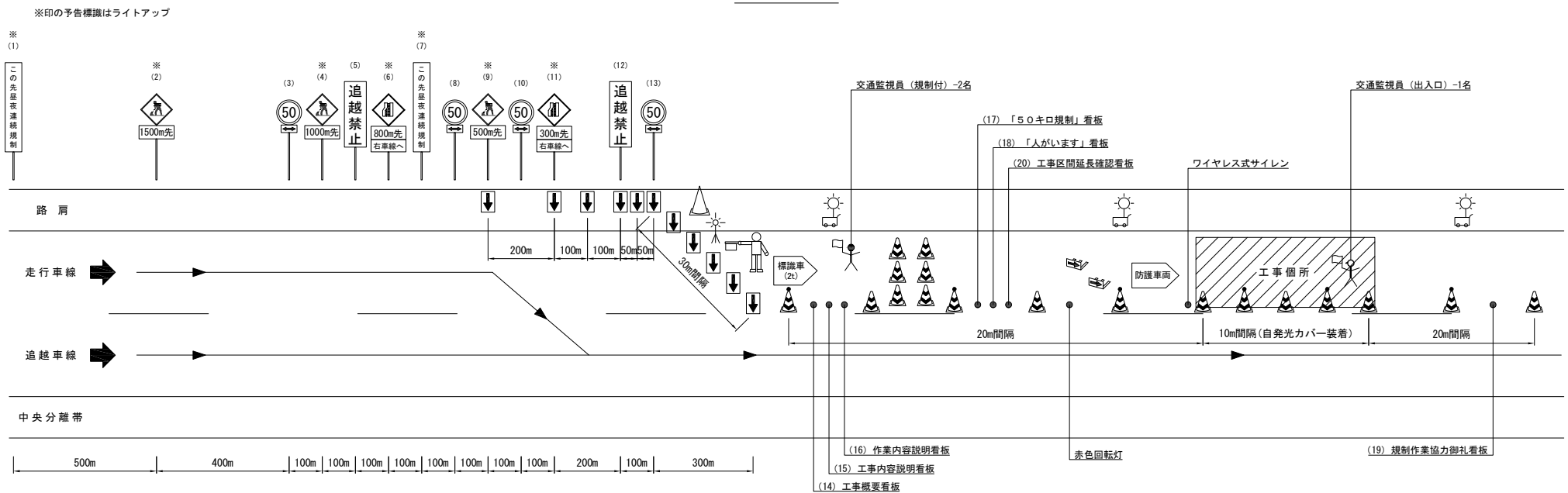
Figure 1: A schematic diagram of a 2D rectangular domain divided into a grid of 28 cells. The domain is bounded by A1 (top), A2 (bottom), G1 (left), and G2 (right). The grid is composed of 14 columns and 2 rows. The top row contains cells 1 through 14, and the bottom row contains cells 15 through 28. Cells 21 and 23 are shaded gray. The diagram is labeled 'Figure 1' and 'Figure 1'.

[illegible]

仙台東部道路 新名取川橋脚復強工事			
図面の種類	はり工・断面修復工 床版図 A1～P1		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

交通規制図(その1)  
車線規制 I × I × 0

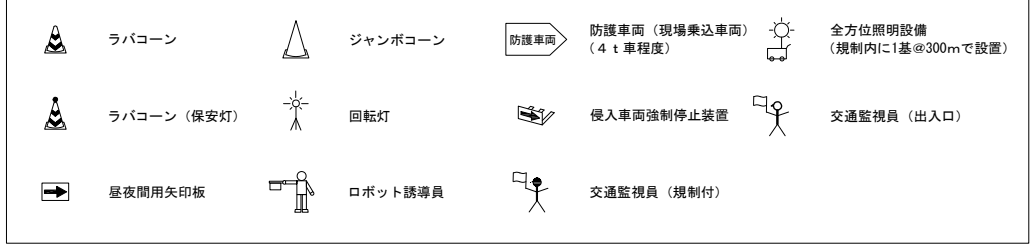
走行車線規制



規制機材等区分表

項目	細目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識		○	—	(1) ~ (13)
矢印板	テーパー及びテーパー先端部の手前に設置	○	—	昼夜間用
ジャンボコーン	規制先端部	○	—	
回転灯		○	—	
ロボット誘導員		○	—	
標識車		○	—	2 t 車
ラバコーン	40m間隔で保安灯を設置(コーン差込みタイプ)	○	—	
工事関係看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(14) ~ (16)
「50キロ規制」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(17)
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(18)
規制作業協力御礼看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(19)
工事区間延長確認看板	W550×H1400 高輝度反射式	○	—	(20)
赤色回転灯		○	—	
防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度	○	—	
進入車両強制停止装置	工事箇所上流に設置	○	—	
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○	—	
ラバコーン用自発光カバー	工事箇所に10間隔で設置	○	—	
全方位証明設備	400Wメタルハライド同等以上	○	—	テーパー起点から300m後方が1基目
予告標識ライトアップ機材	LEDソーラー充電タイプ	○	—	規制図に示す「ライトアップ」標識

凡 例

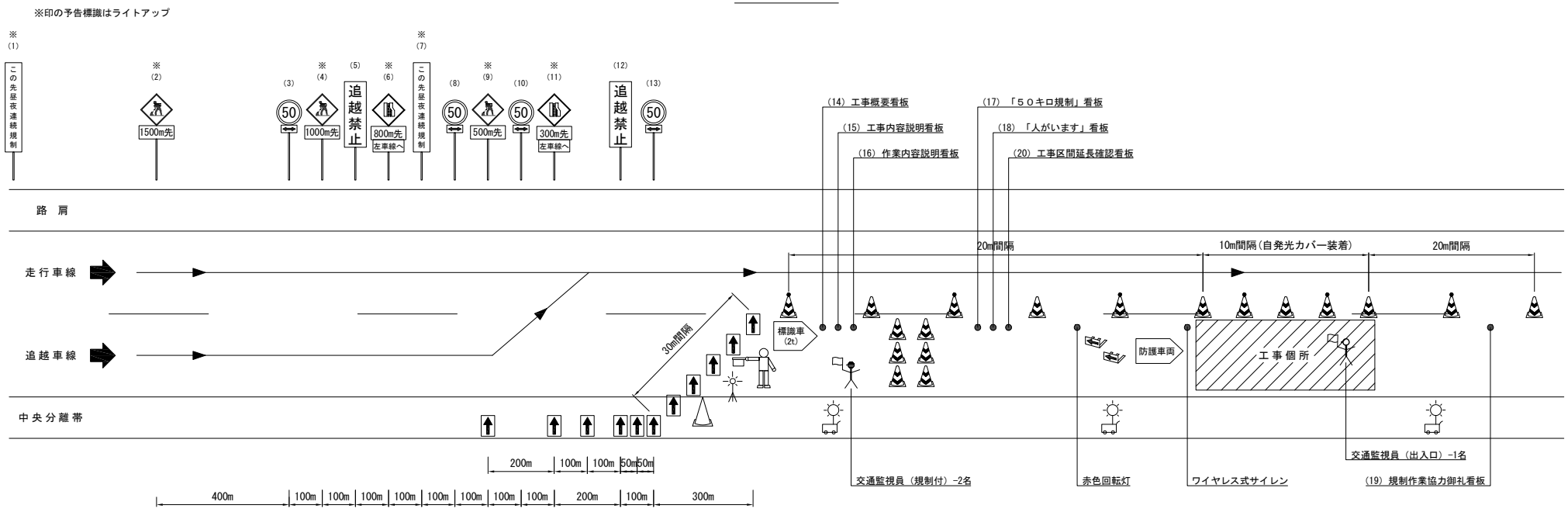


※ 「工事区間延長確認看板」については規制解除端からの延長を表示する。  
(規制延長が1 kmを超える場合に1 km毎に1箇所設置する。)

仙台東部道路 新名取川橋南側補強工事			
図面の種類	交通規制図(その1) 車線規制 I × I × 0		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

交通規制図(その2)  
車線規制 I × I × 0


追越車線規制





規制機材等区分表

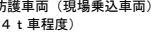
項目	細目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識		○	—	(1) ~ (13)
矢印板	テーパー及びテーパー先端部の手前に設置	○	—	昼夜間用
ジャンボコーン	規制先端部	○	—	
回転灯		○	—	
ロボット誘導員		○	—	
標識車		○	—	2 t 車
ラバコーン	40m間隔で保安灯を設置 (コーン差込みタイプ)	○	—	
工事関係看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(14) ~ (16)
「50キロ規制」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(17)
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(18)
規制作業協力御礼看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(19)
工事区間延長確認看板	W550×H1400 高輝度反射式	○	—	(20)
赤色回転灯		○	—	
防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度	○	—	
進入車両強制停止装置	工事箇所上流に設置	○	—	
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○	—	
ラバコーン用自発光カバー	工事箇所に10間隔で設置	○	—	
全方位証明設備	400Wメタルハライド同等以上	○	—	テーパー起点から300m後方が1基目
予告標識ライトアップ機材	LEDソーラー充電タイプ	○	—	規制図に示す「ライトアップ」標識


凡 例


 ラバコーン


 ジャンボコーン


 防護車両


 防護車両 (現場乗込車両) (4 t 車程度)


 全方位照明設備 (規制内に1基@300mで設置)


 ラバコーン (保安灯)


 回転灯

 侵入車両強制停止装置

 交通監視員 (出入口)

 昼夜間用矢印板

 ロボット誘導員

 交通監視員 (規制付)

※ 「工事区間延長確認看板」については規制解除端からの延長を表示する。  
(規制延長が1kmを超える場合に1km毎に1箇所設置する。)

仙台直轄道路 新名取川橋南側補強工事			
図面の種類	交通規制図(その2) 車線規制 I × I × 0		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

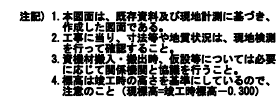
**S=1:200**



### 断面区



平面图



## S-1-200



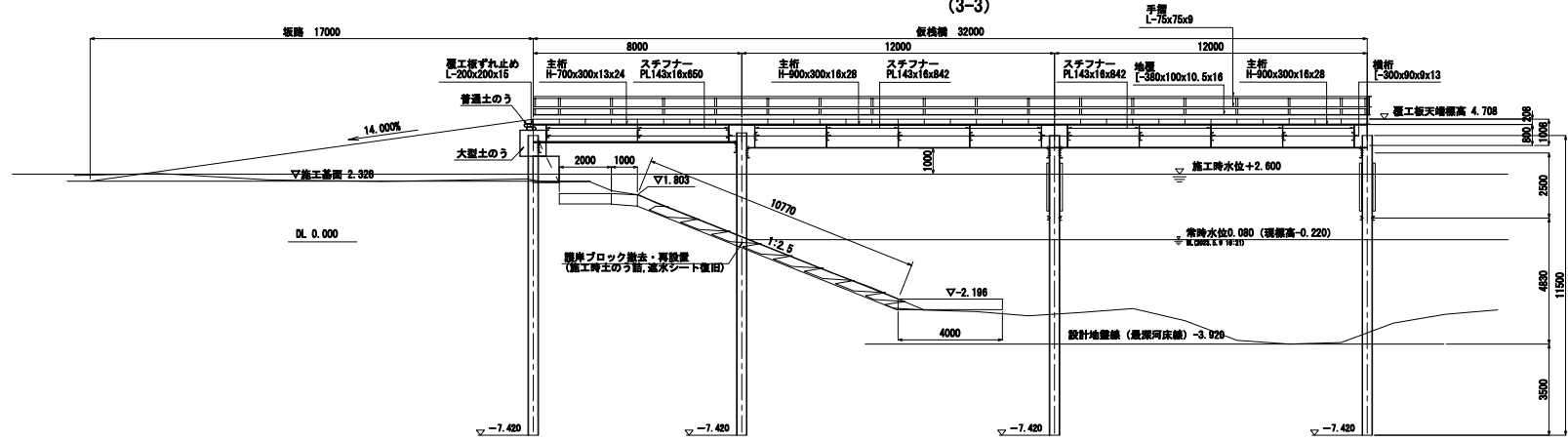
護岸ブロック撤去・設置数量

項 目	数 量	備 考
大型連節ブロック撤去・設置	3箇所	
土のう積工 設置・撤去	36袋	1箇所当り12袋
吸出防止材	3.6m <sup>2</sup>	1100x1100x1

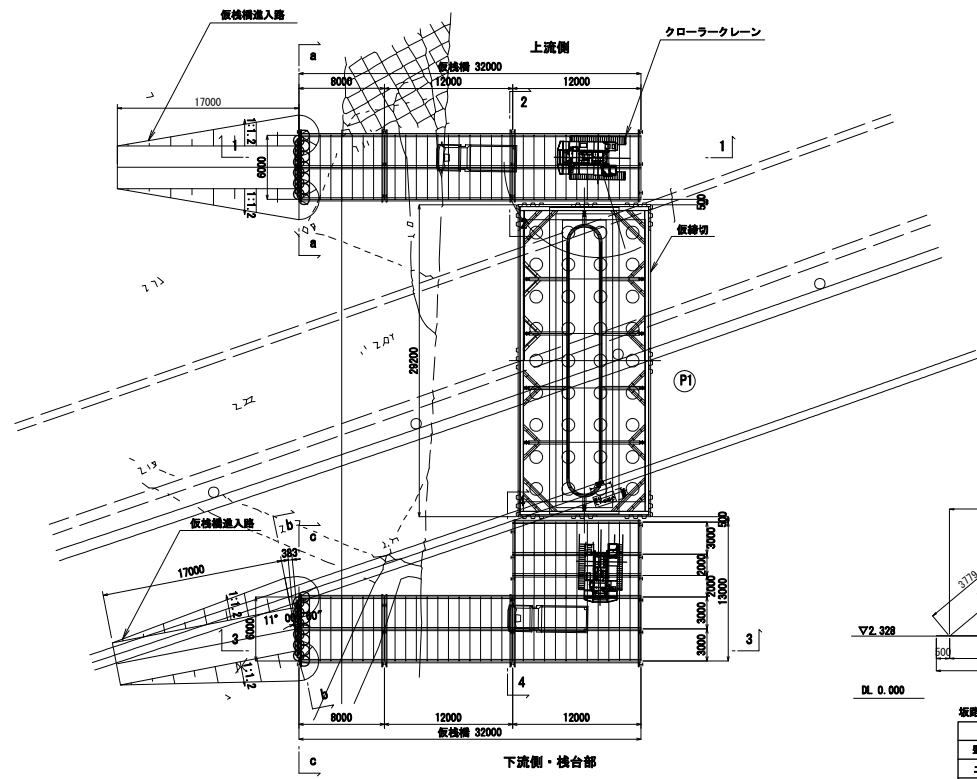
仙台東部道路 新名取川橋脚架橋強化工事			
図面の種類	仮橋構工図(その1) (上流側)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支店管理事務所		

仮橋工図(その2)  
(下流側)

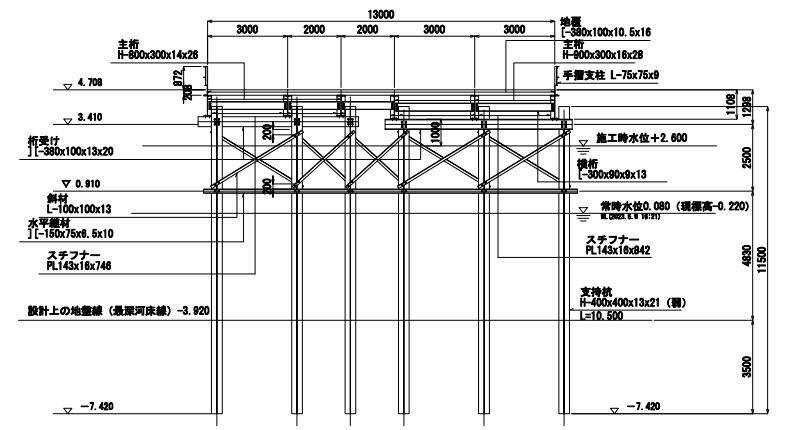
側面図  
(3-3) S=1:200



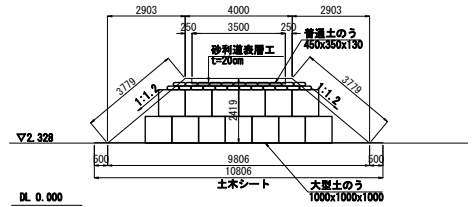
平面図 S=1:500



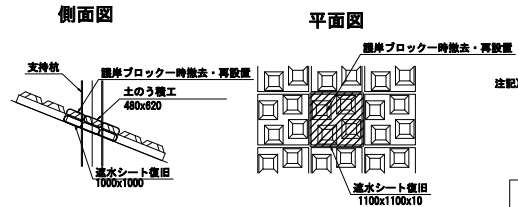
断面図  
(4-4)



盛土断面図  
(b-b・c-c) S=1:200



護岸ブロック撤去・設置図 S=1:100



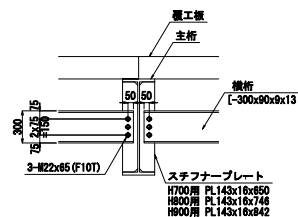
注記) 1. 本図面は、既存資料及び現地調査に基づき、作成した図面である。  
2. 工事により、寸法や地質状況は、現地調査を要する。  
3. 資材搬入・搬出時、仮設等については必要に応じて関係機関と協議を行うこと。  
4. 橋台は施工時の安全を考慮しているため、注意すること (橋台高・竣工時橋台高 -0.300)

仮橋部数量集計表				
工 種	規格・寸法	単位	数 量	備 考
盛 土	側溝上流用	m3	142.0	
土木シート	引張強さ900N/3mm 2mm	m2	134.3	ポリプロピレン製
砂利道敷層工	RC40	m3	12.0	
大型土のう積工	φ1100x1100	段	13	ポリプロピレン製
土のう積工	480x820	段	23	ポリエチレン

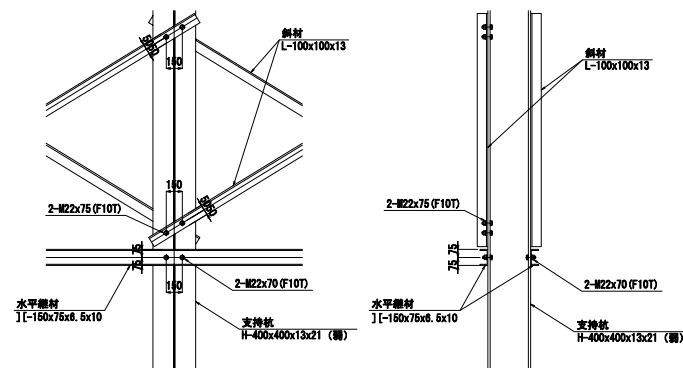
護岸ブロック撤去・設置数量		
項 目	数 量	備 考
大型連節ブロック撤去・設置	3箇所	
土のう積工 設置・撤去	36段	1箇所当り12段
吸出防止材	3.6m2	1100x1100x10

仙台東部道路 新名取川橋脚架設工事	
図面の種類	仮橋工図(その2) (下流側)
縮 尺	図 示
図 示 番号	
設計会社名	株式会社 片平研日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所

横桁取付詳細図 S=1:50

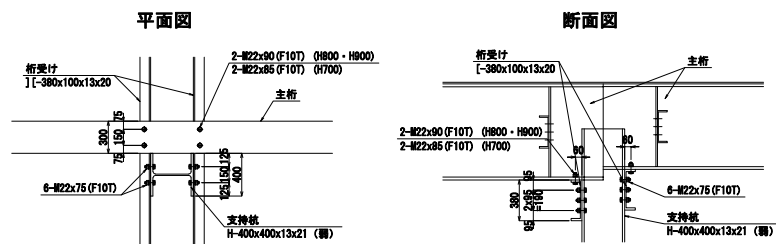


斜材及び水平継材取付詳細図 S=1:50

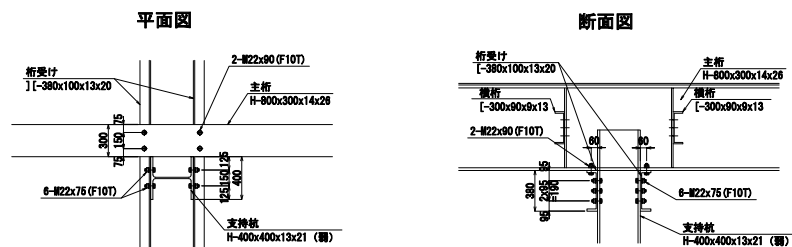


主桁・支持杭と桁受け取付詳細図 S=1:50

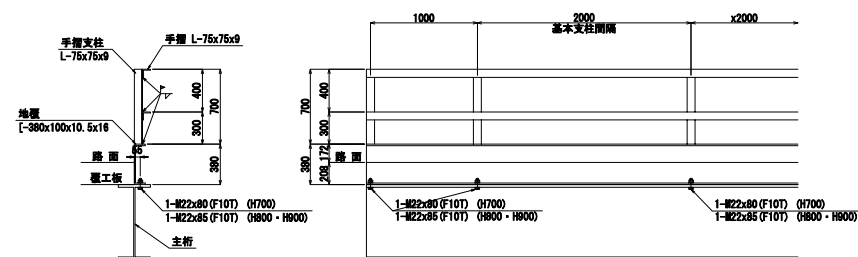
**上流・下流 通路部**



下流 栈台部



防護柵（高欄）詳細図 S=1:50



仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
図面の種類	仮構機工図(その3) 取付詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支店管理事務所		

仮橋橋工図(その4)  
材料表(上流側)

上流側 上部工数量表

1. 覆工板							
品名	記号・断面	1枚当平米数 (㎡)	-	-	通路部	合計	平米数 (㎡)
覆工板	MD(M)-1.0×3.0	3.0	-	-	64	64	192.0
小計面積(㎡) :						192.0	
覆工板 合計面積(㎡) :						192.0	

2. 主桁							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
主桁	H700×300×13×24	182.00	8.000	1,456.00	3	3	4,368
〃	H900×300×16×28	240.00	12.000	2,880.00	3	3	8,640
〃	H800×300×14×26	207.00	12.000	2,484.00	3	3	7,452
小計質量(kg) :						20,460	
主材 合計質量(t) :						20.460	

3. 覆工板ｽﾚ止め							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
覆工板ｽﾚ止め	L-200×200×15	45.3	0.20	9.06	3	3	27
小計質量(kg) :						27	
覆工板ｽﾚ止め 合計質量(t) :						0.027	

4. 横継材							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
横継材	└ 300×90×9×13	38.1	2.90	110.49	26	26	2,873
小計質量(kg) :						2,873	
横継材 合計質量(t) :						2.873	

5. プレート							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
ｽﾚﾌﾏｰ	PL143×16×650	-	-	11.67	12	12	140
〃	PL143×16×842	-	-	15.12	20	20	302
〃	PL143×16×746	-	-	13.40	20	20	268
小計質量(kg) :						710	
ﾌﾚｰﾄ 合計質量(t) :						0.710	

上部工設置・撤去重量 (覆工板・ボルト・高欄含まない)					2～5	合計質量(t) :	24.070
-----------------------------	--	--	--	--	-----	-----------	--------

6. 仮設高欄(形鋼橋立型)							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
地覆	└ 380×100×10.5×16	54.5	8.00	436.00	2	2	872
〃	└ 380×100×10.5×16	54.5	12.00	654.00	4	4	2,616
〃	└ 380×100×10.5×16	54.5	6.00	327.00	1	1	327
手摺	L-75×75×9	9.96	12.000	119.52	8	8	956
〃	L-75×75×9	9.96	8.000	79.68	4	4	319
〃	L-75×75×9	9.96	6.000	59.76	2	2	120
手摺支柱	L-75×75×9	9.96	0.700	6.97	41	41	286
小計質量(kg) :						5,496	
水平延長(m) :						(70.0m)	(70.0m)
仮設高欄 合計質量(t) :						5.496	

7. ｶﾞｰﾄﾞ・ﾌｫｯﾄ : 実数							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
高力ｶﾞｰﾄﾞ	M22×65(F10T)	-	-	0.540	156	156	84
〃	M22×80(F10T)	-	-	0.585	10	10	6
〃	M22×85(F10T)	-	-	0.600	31	31	19
小計質量(kg) :						84	
ｶﾞｰﾄﾞ・ﾌｫｯﾄ 合計質量(t) :						0.109	

上流側 下部工数量表

1. 桁受け							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
桁受け	└ 380×100×13×20	67.3	7.000	471.10	6	6	2,827
小計質量(kg) :						2,827	
桁受け 合計質量(t) :						2.827	

2. 水平継材							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
水平継材	└ 150×75×6.5×10	18.6	7.000	130.20	4	4	521
小計質量(kg) :						521	
水平継材 合計質量(t) :						0.521	

3. 斜材							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
斜材	L100×100×13	19.1	4.020	76.78	8	8	614
小計質量(kg) :						614	
斜材 合計質量(kg) :						0.614	

4. 抗材数量							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
支持杭	H400×400×13×21	172.0	11.500	1,978.0	12	12	23,736
小計質量(kg) :						23,736	
支持杭 合計質量(t) :						23.736	

下部工設置・撤去重量 (ボルト含まない)					1～4	合計質量(t) :	27.698
----------------------	--	--	--	--	-----	-----------	--------

5. 高力ｶﾞｰﾄﾞ : 実数							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
高力ｶﾞｰﾄﾞ	M22×85(F10T)	-	-	0.600	12	12	7
〃	M22×90(F10T)	-	-	0.615	24	24	15
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	108	108	62
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	32	32	18
〃	M22×70(F10T)	-	-	0.555	24	24	13
小計質量(kg) :						108	
高力ｶﾞｰﾄﾞ 合計質量(kg) :						0.115	

上流側 杭橋脚打込み・引抜き長

種別	部材長		枚数	1本当たりの打込み・引抜き長		最大N値
	(m)	(本)		(m)	(m)	
H-400	11.5	3	3	9.70	29.10	38
H-400	11.5	3	3	7.19	21.57	38
H-400	11.5	3	3	5.80	17.40	38
H-400	11.5	3	3	5.85	17.55	38
合計			12		85.62	

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	仮橋橋工図(その4) 材料表(上流側)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		



仮橋橋工図(その5)  
材料表(下流側)

下流側・橋台部 上部工数量表

1. 覆工板									
品名	記号・断面	1枚当平米数 (㎡)	-	-	通路部	橋台部	合計	平米数 (㎡)	備考
覆工板	MD(M)-1.0×3.0	3.0	-	-	64	12	76	228	落とし込み式 鋼製補強型
覆工板	MD(M)-1.0×2.0	2.0	-	-	-	24	24	48	落とし込み式 鋼製補強型
小計面積(㎡)：					192.0	84.0		276.0	
					覆工板	合計面積(㎡)：	276.0		

2. 主桁									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
主桁	H700×300×13×24	182.00	8.000	1,456.00	3	-	3	4,368	
〃	H900×300×16×28	240.00	12.000	2,880.00	6	-	6	17,280	
〃	H800×300×14×26	207.00	12.000	2,484.00	-	3	3	7,452	
小計質量(kg)：					21,648	7,452		29,100	
					主桁	合計質量(t)：	29.100		

3. 覆工板スリ止め									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
覆工板スリ止め	L-200×200×15	45.3	0.20	9.06	3	-	3	27	
小計質量(kg)：					27			27	
					覆工板スリ止め	合計質量(t)：	0.027		

4. 横継材									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
横継材	∟ 300×90×9×13	38.1	2.90	110.49	26	5	31	3,425	
〃	∟ 300×90×9×13	38.1	1.90	72.39	-	10	10	724	
小計質量(kg)：					2,873	1,276		4,149	
					横継材	合計質量(t)：	4.149		

5. ﾌﾟﾚｰﾄ									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
ｽﾌﾟﾗｰ	PL143×16×650	-	-	11.67	12	-	12	140	H700用
〃	PL143×16×842	-	-	15.12	40	5	45	681	H900用
〃	PL143×16×746	-	-	13.40	-	25	25	335	H800用
小計質量(kg)：					745	411		1,156	
					ﾌﾟﾚｰﾄ	合計質量(t)：	1.156		

上部工設置・撤去重量（覆工板・ボルト・高欄含まない）					2～5	合計質量(t)：	34.432		
----------------------------	--	--	--	--	-----	----------	--------	--	--

6. 仮設高欄(影線縦立型)									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
地覆	∟ 380×100×10.5×16	54.5	8.00	436.00	2	-	2	872	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	12.00	654.00	3	-	3	1,962	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	6.00	327.00	1	-	1	327	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	7.00	381.50	-	2	2	763	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	12.00	654.00	-	1	1	654	
手摺	L-75×75×9	9.96	8.000	79.68	4	-	4	319	
〃	L-75×75×9	9.96	12.000	119.52	6	-	6	717	
〃	L-75×75×9	9.96	6.000	59.76	2	-	2	120	
〃	L-75×75×9	9.96	7.000	69.72	-	4	4	279	
〃	L-75×75×9	9.96	5.500	54.78	-	4	4	219	
支柱	L-75×75×9	9.96	0.700	6.97	34	17	51	355	
小計質量(kg)：					4,554	2,033		6,587	
水平延長(m)：					(58.0m)	(25.0m)		(83.0m)	
					仮設高欄	合計質量(t)：	6.587		

7. ｶﾞｰﾄﾞ・ﾌﾞﾚｰﾄ：実数									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
高力ｶﾞｰﾄﾞ	M22×65(F10T)	-	-	0.540	156	90	246	133	横継材取付用
〃	M22×80(F10T)	-	-	0.585	10	-	10	6	主桁(H700)・地覆
〃	M22×85(F10T)	-	-	0.600	24	17	41	24	主桁(H800・900)・地覆
小計質量(kg)：					84	-	-	-	
					ｶﾞｰﾄﾞ・ﾌﾞﾚｰﾄ	合計質量(t)：	0.163		

下流側・橋台部 下部工数量表

1. 桁受け									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
桁受け	∟ 380×100×13×20	67.3	7.000	471.10	6	2	8	3,769	
〃	∟ 380×100×13×20	67.3	6.000	403.80	-	2	2	808	
小計質量(kg)：					2,827	1,750		4,577	
					桁受け	合計質量(t)：	4.577		

2. 水平継材									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
水平継材	∟ 150×75×6.5×10	18.6	14.000	260.40	-	4	4	1,042	通路部と共通
小計質量(kg)：					-				
					水平継材	合計質量(t)：	1.042		

3. 斜材									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
斜材	L100×100×13	19.1	4.020	76.78	8	4	12	921	
斜材	L100×100×13	19.1	3.120	59.59	-	8	8	477	
小計質量(kg)：					614		-	1,398	
					斜材	合計質量(kg)：	1,398		

4. 杭材数量									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
支持杭	H400×400×13×21	172.0	11.500	1,978.0	12	6	18	35,604	
小計質量(kg)：					23,736	11,868	-	35,604	
					支持杭	合計質量(t)：	35.604		

下部工設置・撤去重量（ボルト含まない）					1～4	合計質量(t)：	42.621		
---------------------	--	--	--	--	-----	----------	--------	--	--

5. 高力ｶﾞｰﾄﾞ：実数									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
高力ｶﾞｰﾄﾞ	M22×85(F10T)	-	-	0.600	12	-	12	7	主桁(H700)・桁受け
〃	M22×90(F10T)	-	-	0.615	24	12	36	22	主桁(H900・900)・桁受け
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	108	36	144	83	桁受け・支持杭
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	32	48	80	45	支持杭・斜材
〃	M22×70(F10T)	-	-	0.555	24	24	48	26	支持杭・水平継材
小計質量(kg)：					115	68	-	183	
					高力ｶﾞｰﾄﾞ	合計質量(kg)：	0.183		

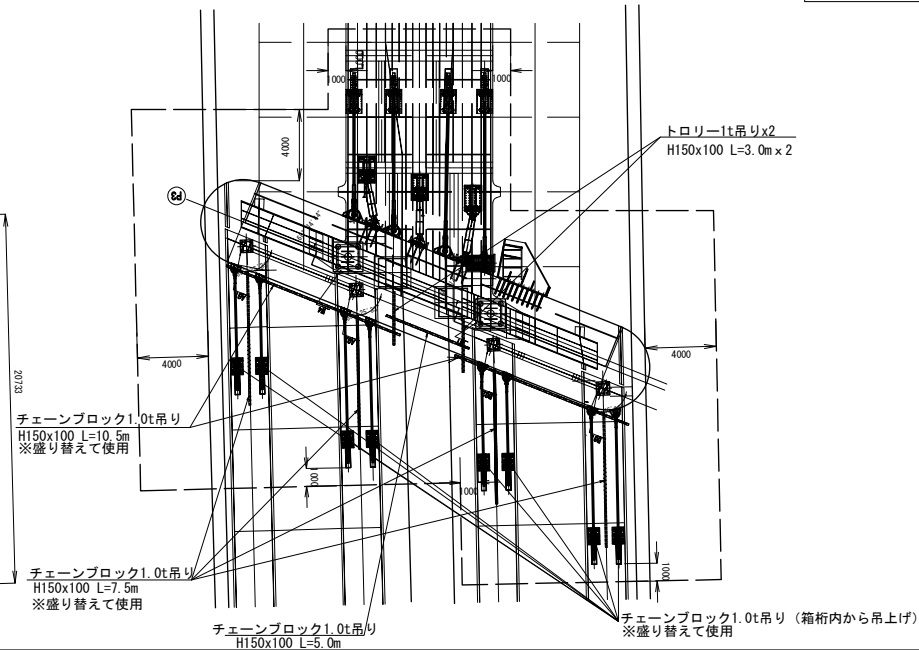
下流・橋台部 杭橋脚打込み・引抜き長

種別	部材長 (m)	枚数 (本)	1本当たりの 打込み・引抜き長		最大N値
			延長 (m)		
H-400	11.5	3	9.79	29.37	38
H-400	11.5	3	7.19	21.57	38
H-400	11.5	6	4.65	27.90	38
H-400	11.5	6	3.93	23.58	38
合計		18		102.42	

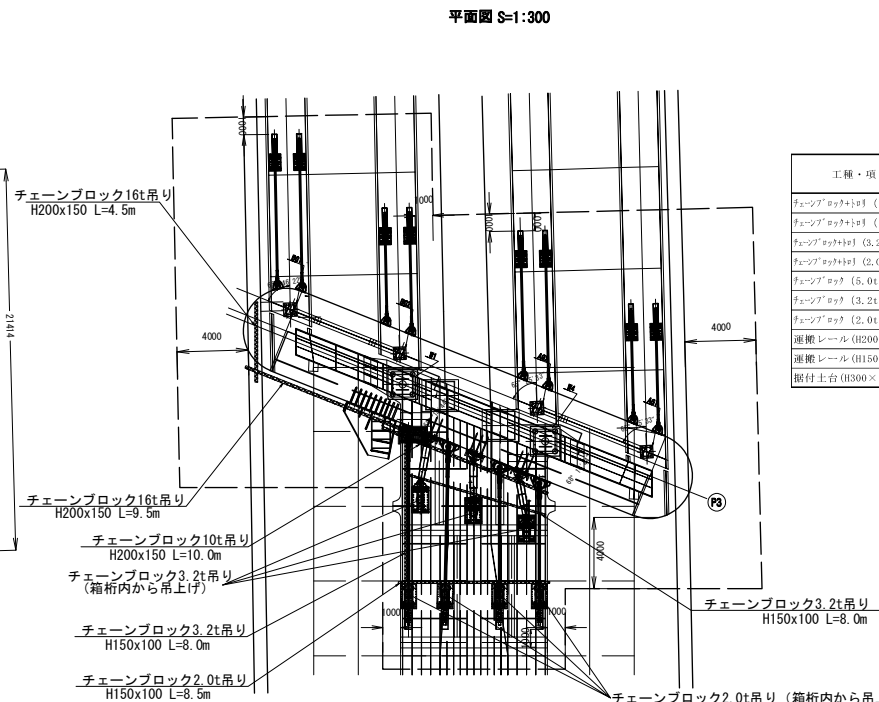
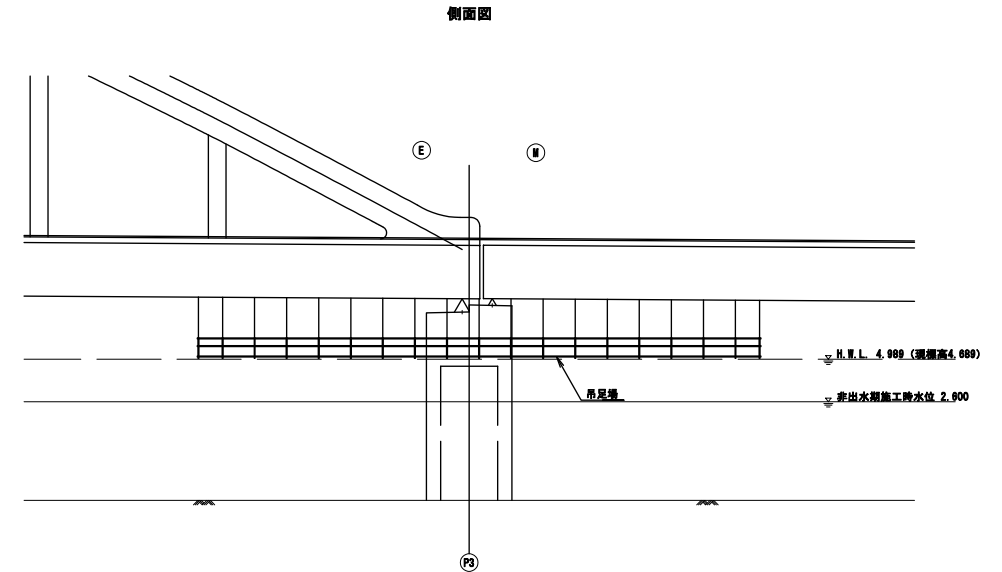
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	仮橋橋工図(その5) 材料表(下流側)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		



平面图 S=1:300



<p>仙台東部道路 新名取川橋梁復旧工事</p>			
図面の種類	<p>施工計画図(参考図) (その2) 橋梁部復旧工事施工計画図 (P2・P3図面)</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所</p>		



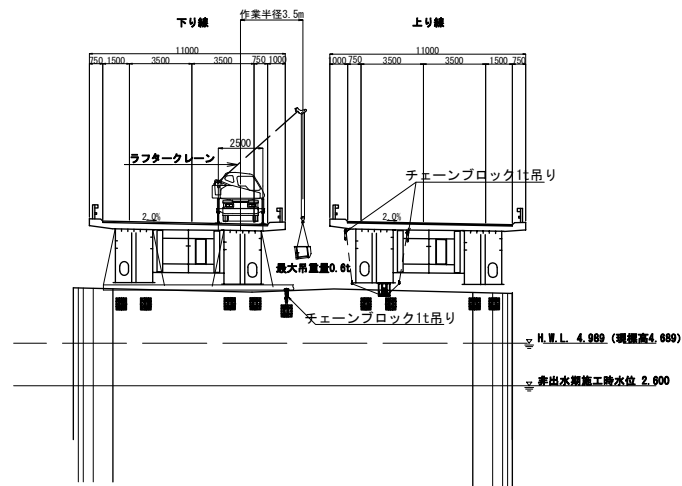
工種・項目	単位	箱内補強部材			
		上部ブレース	下部ブレース	必要量（最大値）	
チェーンブレース（16t吊）	基	2	2	2	
チェーンブレース（10t吊）	基	1		2	
チェーンブレース（3.2t吊）	基	2		2	
チェーンブレース（2.0t吊）	基	2		2	
チェーンブレース（5.0t吊）	基		2	2	
チェーンブレース（3.2t吊）	基	1		1	
チェーンブレース（2.0t吊）	基	1		1	
運搬レール（H200×150）	kg	418.6	717.6	418.6	717.6
運搬レール（H150×100）	kg	507.2			507.2
据付土台（H300×186）	t		186.00		186.0

仙台東部道路 新米取川橋南側補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その3) 車取ローザ留付面位置計画図 (P2・P3欄)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

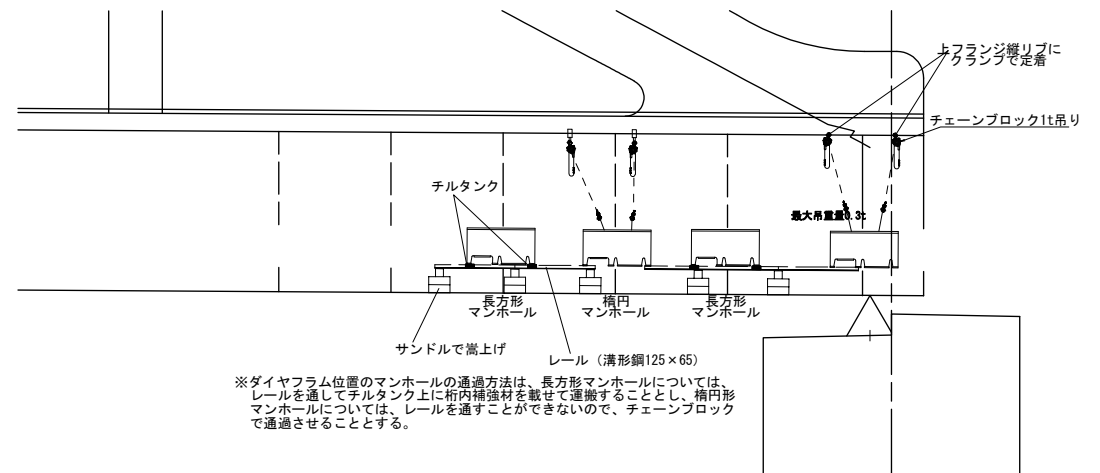
注記) 1. 工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

施工計画図(参考図)(その4)  
桁内補強部材の運搬計画搬入 一般図<P2・P3橋脚>

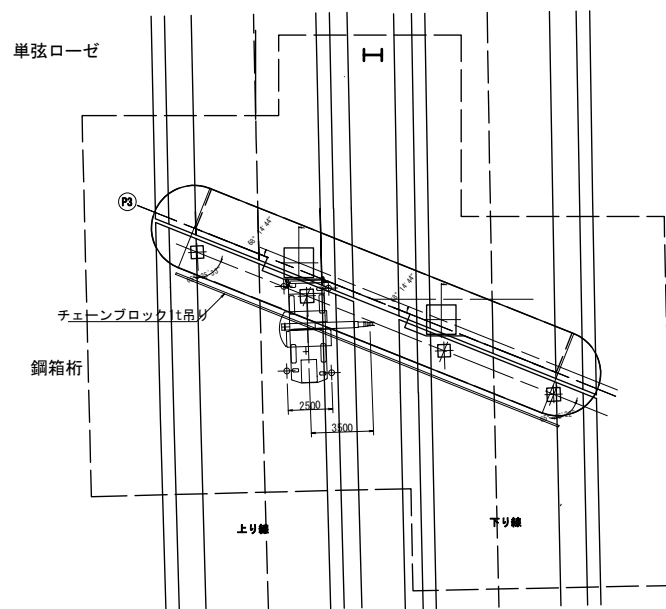
断面図 S=1:300



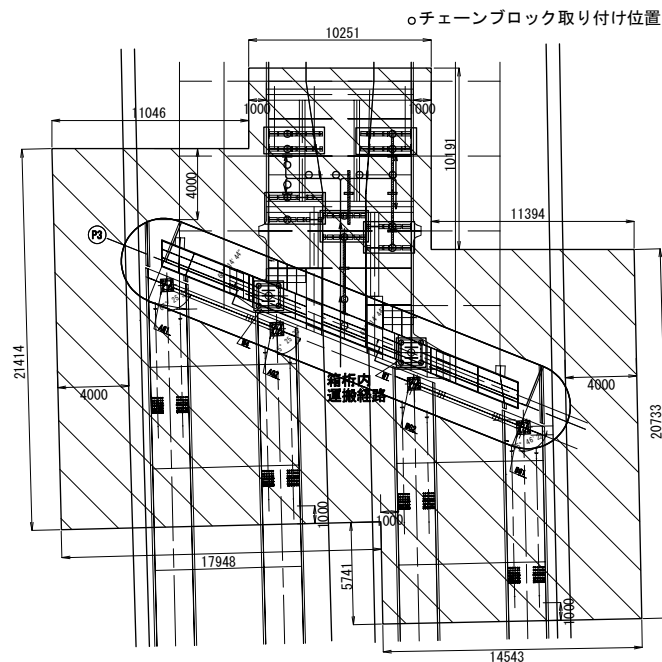
単弦ローゼ箱桁内 S=1:100



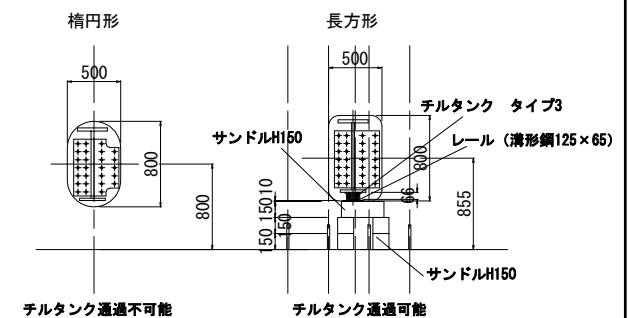
平面図 S=1:300



桁内運搬平面図 S=1:300



マンホール通過状況図 S=1:50



注記) 1. 本図面は、既存資料及び現地計測に基づき、作成した図面である。  
2. 工事により、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。  
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については必要に応じて関係機関と協議を行うこと。

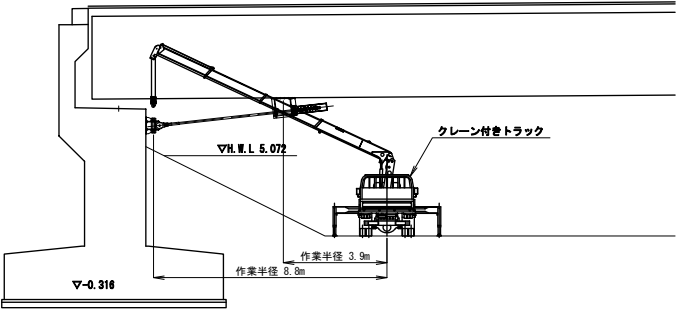
※桁内運搬平面図の詳細は次頁参照

仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その4) 桁内補強部材の運搬計画搬入 一般図 <P2・P3橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

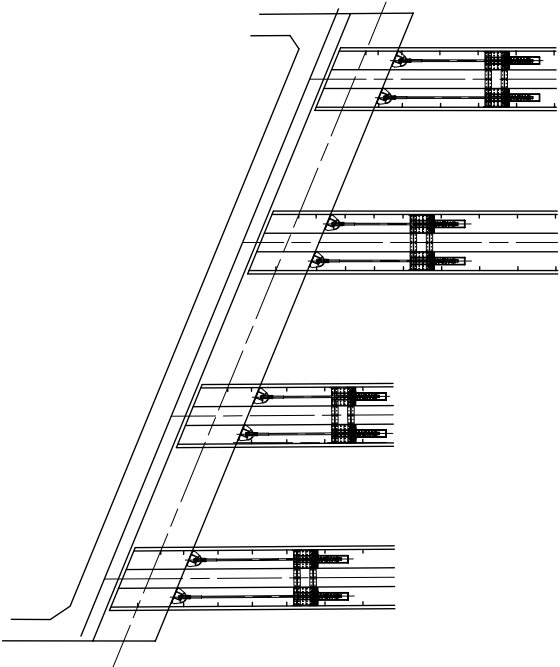


A1橋台

側面図

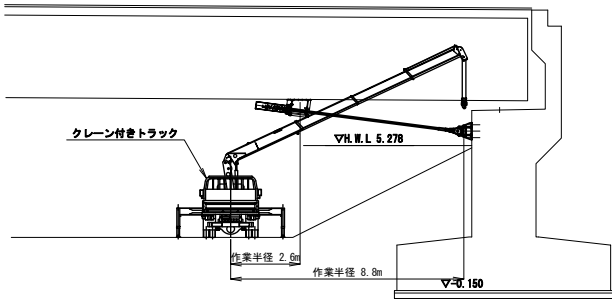


平面図

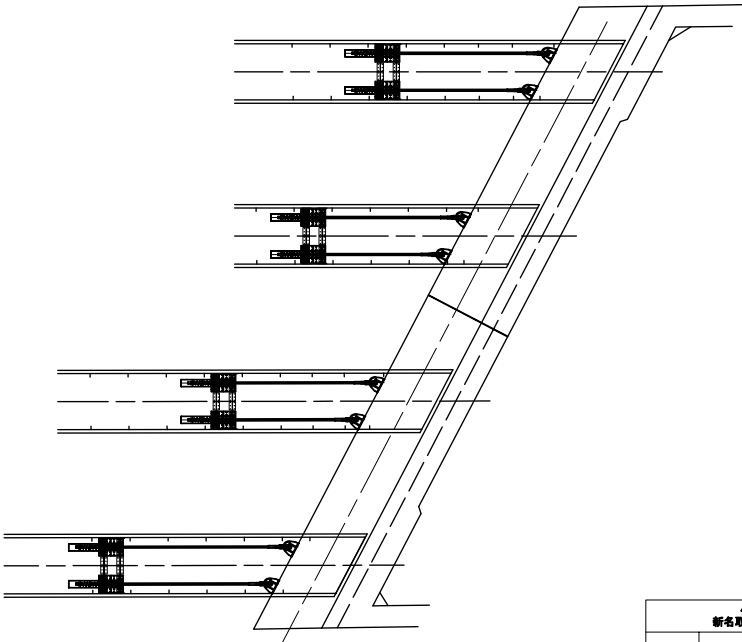


A2橋台

側面図



平面図

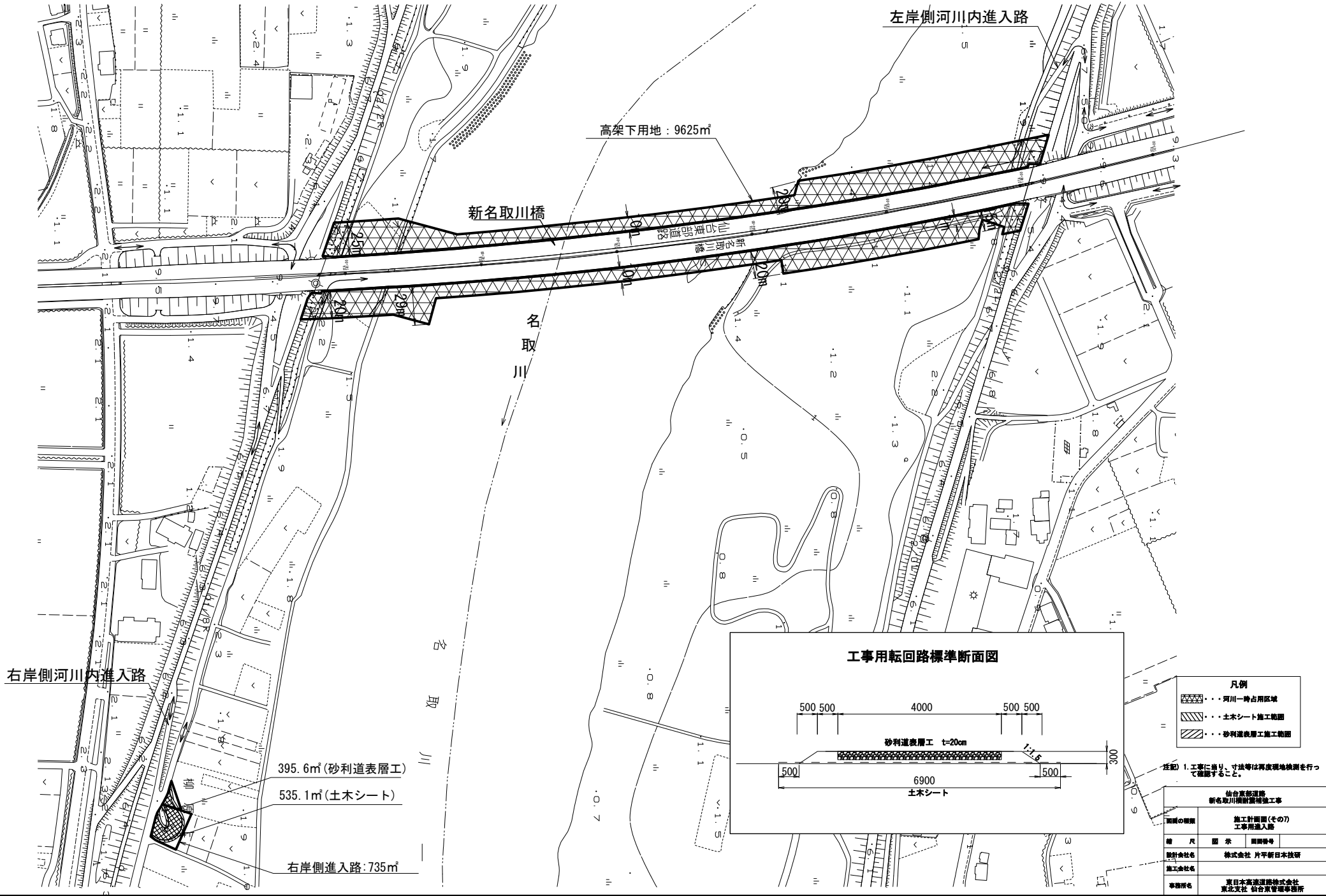


注記) 1. 工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

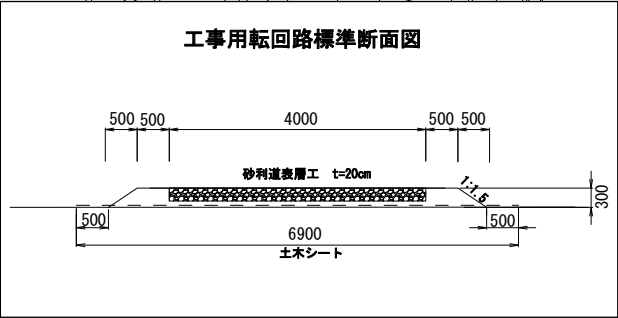
仙台東部道路 新名取川橋前段補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その6) 落橋防止システム〈A1・A2橋台〉		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

施工計画図(その7)

工事用進入路 S=1:2500



工事用転回路標準断面図



凡例

	河川一時占用区域
	土木シート施工範囲
	砂利道表層工施工範囲

注記) 1. 工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(その7) 工事用進入路		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		



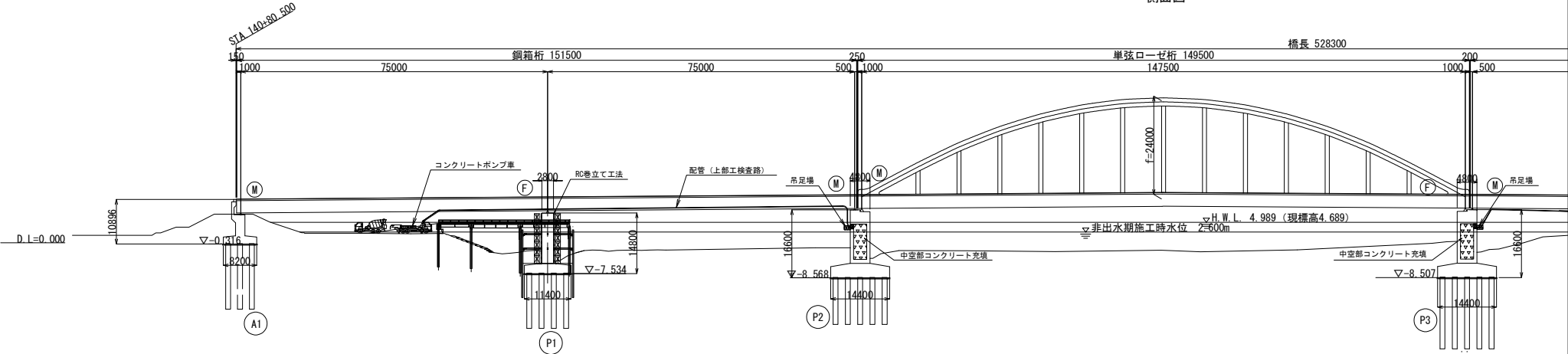
施工計画図(参考図)(その8)

右岸側施工計画

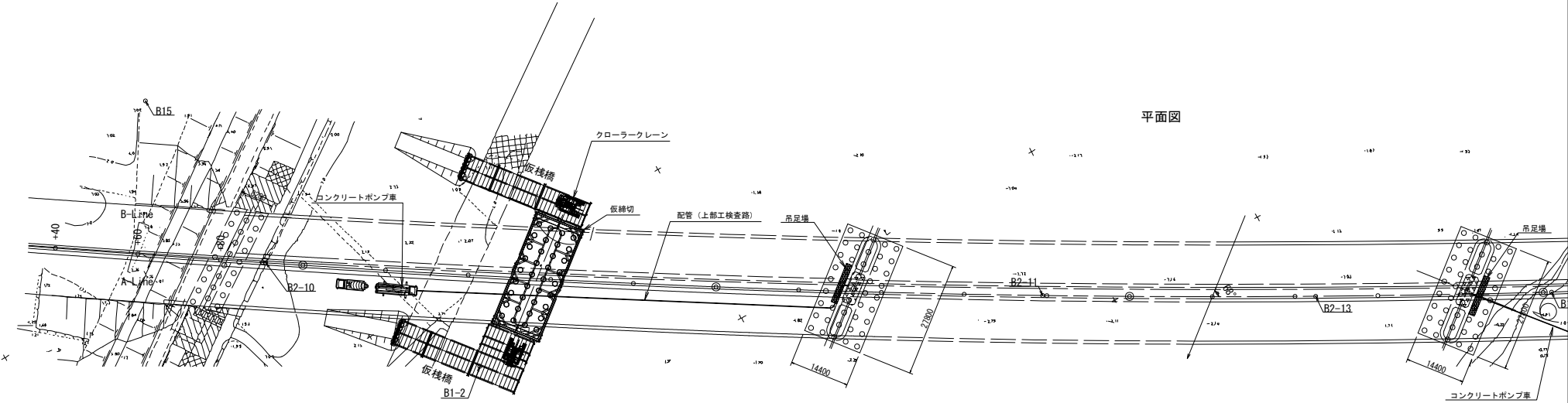
S=1:1000

183 / 190

側面図



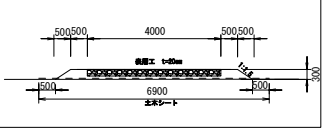
平面図



新名取川橋 下部工耐震補強工事一覧

対象	耐震補強工法・工種	施工方法	概要
P1橋脚	RC巻立て工法	仮橋脚+仮橋切	
P2, P3橋脚	中空部コンクリート充填工法	ポンプ車圧送+仮敷足場	
P4, P6橋脚	RC巻立て工法	オープン掘削	

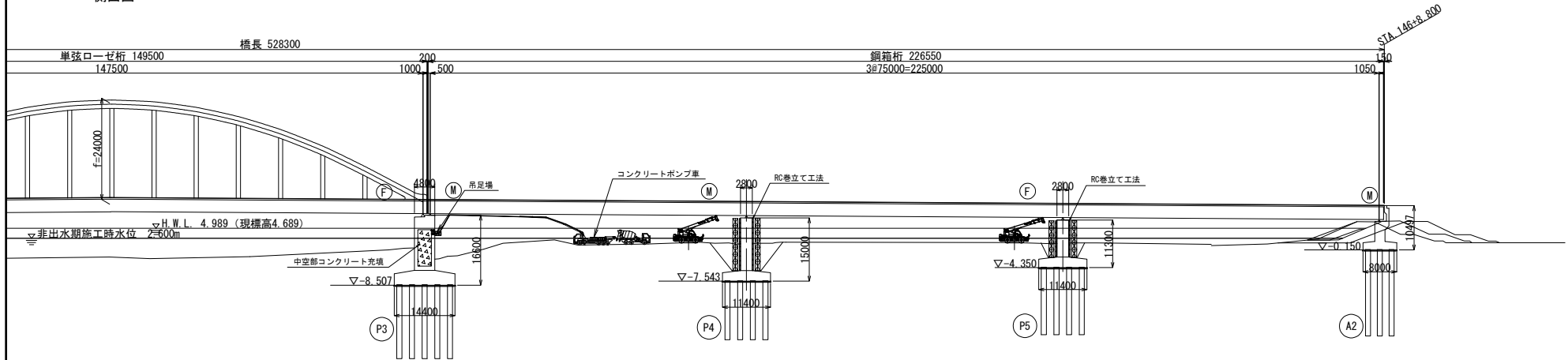
仮橋脚進入路標準断面図



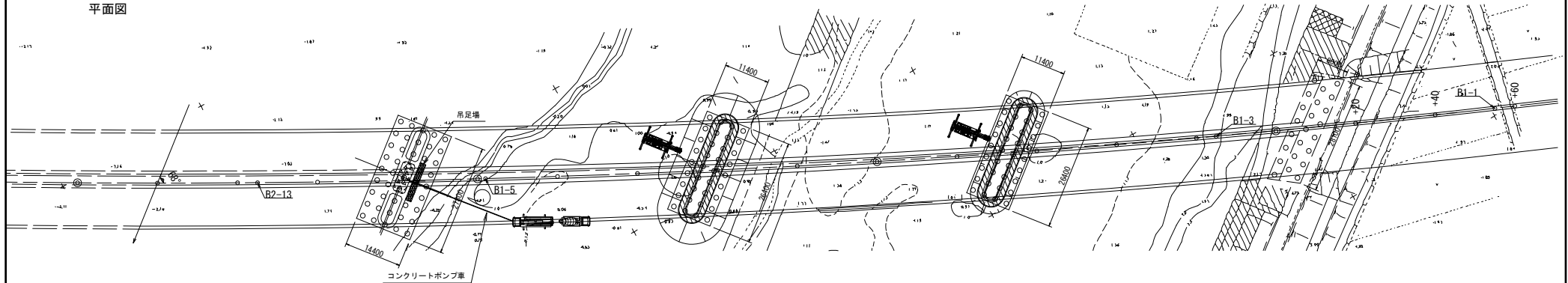
注記) 1. 標高表記はしゅん功時に合わせて表記している。  
2. 現標高への補正は、国土地理院Pより、現標高=しゅん功時標高-0.300mである。  
3. 側面図のP1橋脚施工の仮橋脚は、上流側の仮橋脚の状況を示している。

仙合東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その8) 右岸側施工計画		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙合東部事務所		

側面図



平面图



## 新名取川橋 下部工耐震補強工事一覧

	対象	耐震補強工法・工程	施工方法	概要
下部工構造物耐震補強	P1 橋脚	RC巻立て工法	假設橋+假設切	
	P2, P3 橋脚	中空部コンクリート充填工法	ポンプ車圧送+假設足場	
	P4, P6 橋脚	RC巻立て工法	オーブン橋脚	

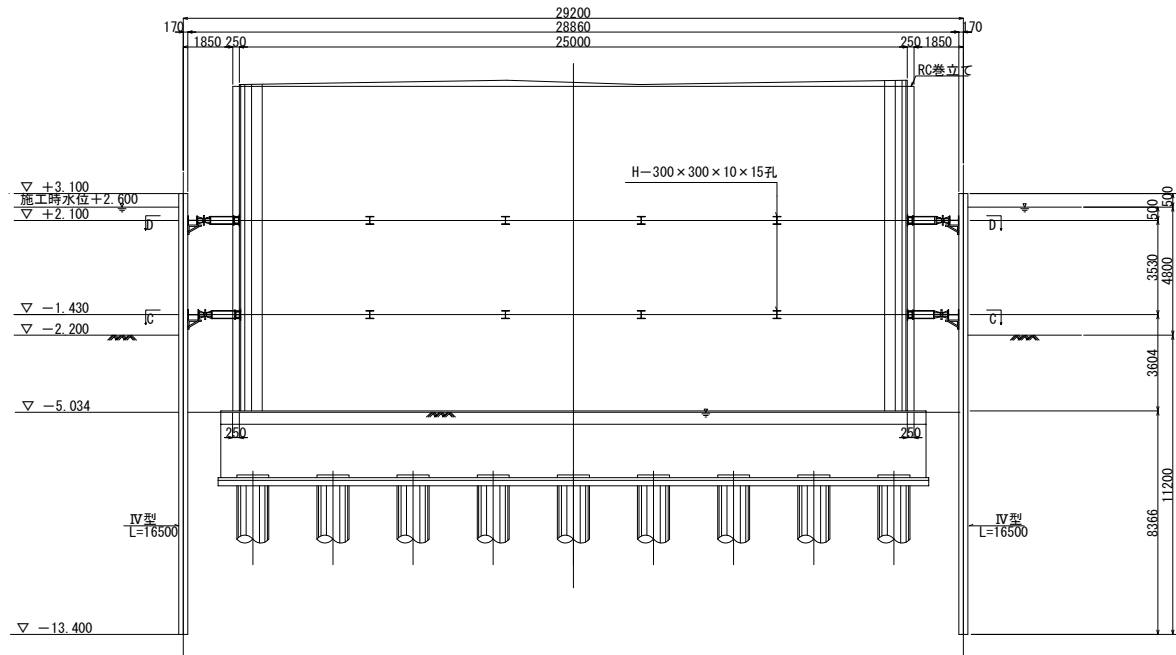
注記) 1. 標高表記はしゅん功時に合わせて表記している。  
2. 現標高への補正は、国土地理院IPより、現標高＝しゅん功時標高－0.300mである。  
3. 側面図のPI橋脚施工の仮橋脚は、上流側の仮橋脚の状況を示している。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備施工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その⑨) 左岸側施工計画図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

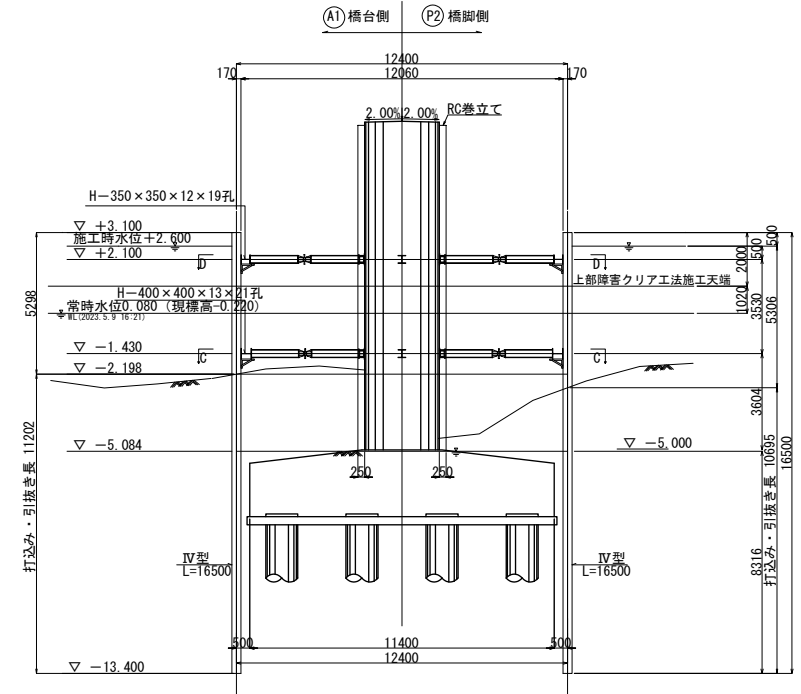
施工計画図(その10)  
仮締切工図<P1橋脚>

185/190

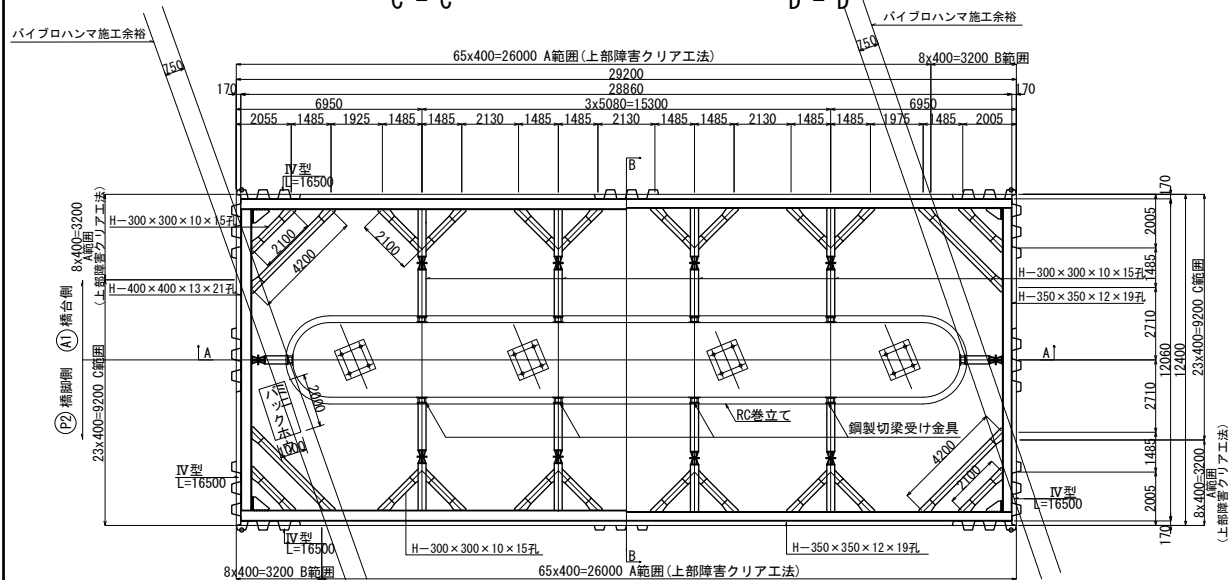
A-A 断面図 S=1:200



B-B 断面図 S=1:200



平面図 S=1:200



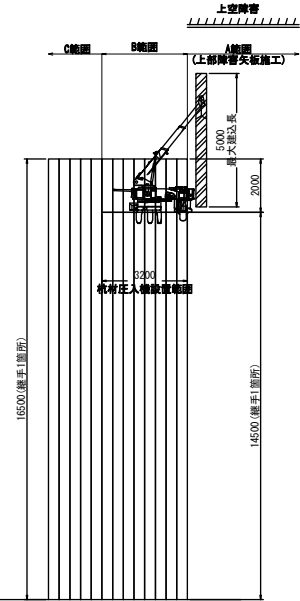
仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(その10) 仮締切工図<P1橋脚>		
縮尺	図示	図番	番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		
承認者名			

注記) 1. 工事に当たり、寸法等や地質状況は、現地検測を行って確認すること。  
2. 基準高への補正は、国土地理院HPより、現標高=しゅん功時標高-0.300mである。

施工計画図(その11)

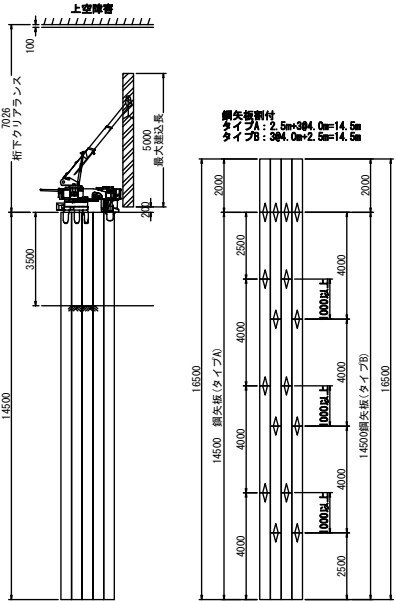
仮締切工図<PI橋脚>

鋼矢板施工範囲仕分図 S=1:200



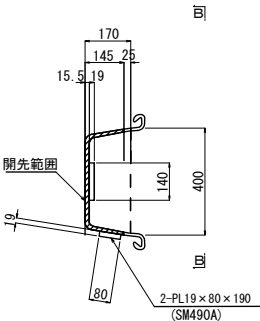
※隣接する継手位置は1m以上離すこと。  
※A範囲及びB範囲については、杭間2mを維持すること。

A範囲(上部障害クリア工法)  
鋼矢板割付詳細図 S=1:200

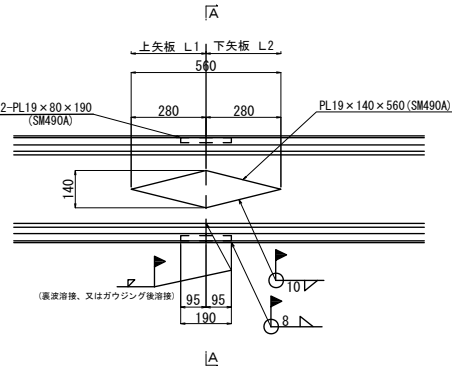


継手詳細図

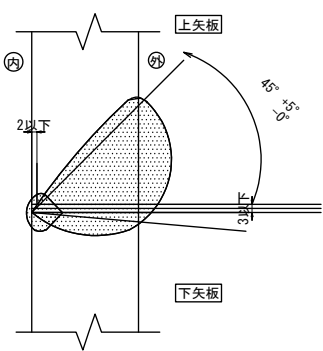
断面 A-A S=1:10



矢視 B-B S=1:10



開先形状図 S=NTS



PI橋脚 鋼矢板数量表						
断面	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当 (kg)	員数	質量計 (kg)	材質 概要
A範囲(上部障害クリア工法)						
鋼矢板(中吉)						
SP-IV型	16.50	76.1	1255.7	144	180,813.6	SY295 4ヶ所継手
SP-CW型コーナー	16.50	76.0	1254.0	2	2,508.0	SY295 4ヶ所継手
A範囲継手箇所数					584	
B範囲						
鋼矢板(リース)						
SP-IV型	14.50	76.1	1103.5	14	15,448.3	SY295 1ヶ所継手
SP-CW型コーナー	14.50	76.0	1102.0	2	2,204.0	SY295 1ヶ所継手
鋼矢板(中吉)						
SP-IV型	2.00	76.1	152.2	14	2,130.8	SY295 1ヶ所継手
SP-CW型コーナー	2.00	76.0	152.0	2	304.0	SY295 1ヶ所継手
B範囲継手箇所数					32	
C範囲						
鋼矢板(リース)						
SP-IV型	16.50	76.1	1255.7	46	57,759.9	SY295 1ヶ所継手
C範囲継手箇所数					46	
小計(1)					261.169	
継手箇所数合計					662	
PL-19x140x560						
		5.85	662	3,872.7	SM490A	継手部材
PL-19x80x190						
		2.27	1324	3,005.5	SM490A	継手部材
小計(1)					6,878	
合計(1)					268,047	

PI橋脚 鋼矢板 打込み・引抜き長さ数量表						
種別	部材長さ (m)	枚数 (枚)	1枚当たりの 打込み・引抜き長 (m)	打込み・引抜き 長さ (m)	最大地盤N値	継手箇所数
A範囲(上部障害クリア工法)						
IV型	16.50	146	10.95	1598.70	38	4
B範囲						
IV型	16.50	16	10.95	175.20	38	2
C範囲						
IV型	16.50	46	10.95	503.70	38	1
合計		208		2277.60		

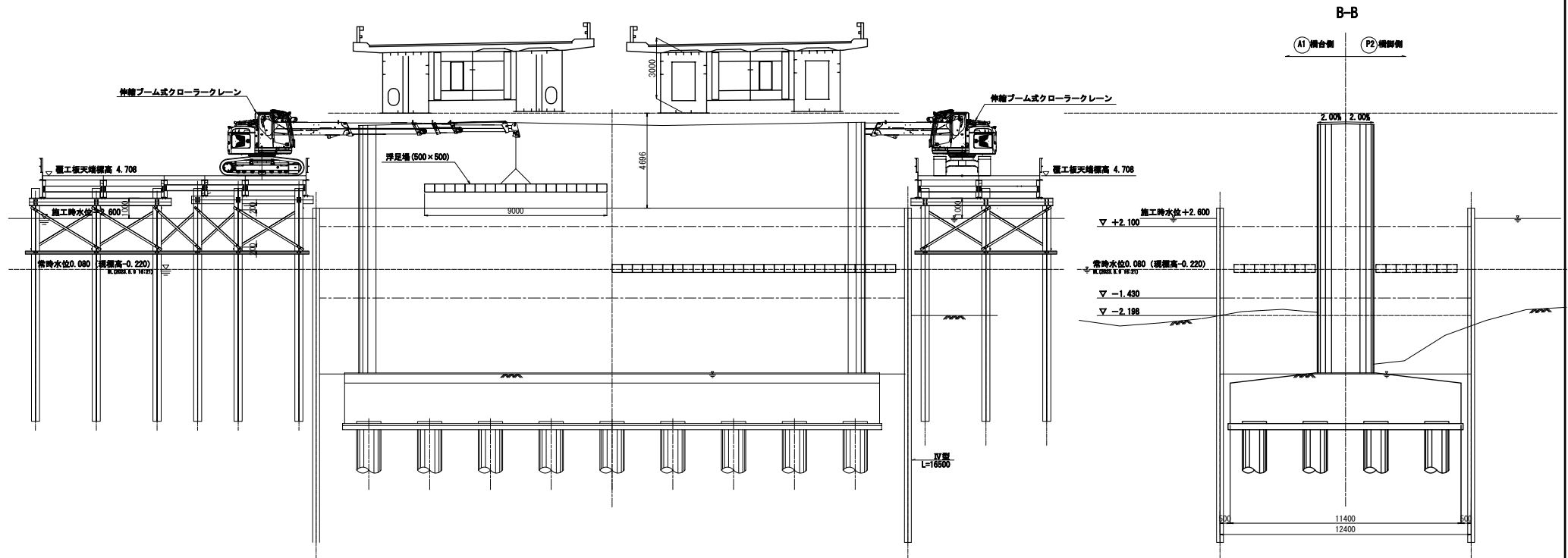
※打込み・引抜き長は、B-B面の鋼矢板の打込み・引抜き長の平均とする。

詳細 支保工数量表									
種別	断面	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当 (kg)	員数	質量計 (kg)	材質	概要	
底起	H-350x350x12x19	28.86	150.0	4,329.0	2	8,658.0		カバープレート 設置 4箇所	1段目
	H-350x350x12x19	11.36	150.0	1,704.0	2	3,408.0		カバープレート 設置 1箇所	
	H-400x400x13x21	28.86	200.0	5,772.0	2	11,544.0		カバープレート 設置 4箇所	2段目
	H-400x400x13x21	11.26	200.0	2,252.0	2	4,504.0		カバープレート 設置 1箇所	
切梁	H-300x300x10x15	3.56	100.0	356.0	8	2,848.0		ジャッキ・1 切梁受け金具：1	1段目
	H-300x300x10x15	0.88	100.0	88.0	2	176.0			
	H-300x300x10x15	3.51	100.0	351.0	8	2,808.0		ジャッキ：1 切梁受け金具：1	2段目
	H-300x300x10x15	0.83	100.0	83.0	2	166.0			
切梁火打	H-300x300x10x15	1.10	100.0	110.0	16	1,760.0		火打受ベース・2	1段目
	H-300x300x10x15	1.10	100.0	110.0	16	1,760.0		火打受ベース・2	2段目
	H-300x300x10x15	0.60	100.0	60.0	4	240.0		ジャッキ・1 火打受ベース・2	1段目
隅火打	H-300x300x10x15	2.70	100.0	270.0	4	1,080.0		ジャッキ・1 火打受ベース・2	2段目
	H-300x300x10x15	0.60	100.0	60.0	4	240.0			
	H-300x300x10x15	2.70	100.0	270.0	4	1,080.0			
主材合計(1)					1段目	18,170			
					2段目	22,102			
					計	40,272			
種別	部品		一部材当 (kg)		員数	質量計 (kg)			
副部材	H300用キリンジャッキ		100.0		16	1,600.0	1段目		
	H300用ジャッキカバー		51.0		16	816.0			
	H300用火打受ベース45°		50.0		48	2,400.0			
	H350用カバープレート		20.0		20	400.0			
	H350用隔梁ベース		67.0		4	268.0			
	H300用切梁受け金具(準立て厚25mm)		55.0		10	550.0			
	H300用キリンジャッキ		100.0		16	1,600.0			
	H300用ジャッキカバー		51.0		16	816.0			
	H300用火打受ベース45°		50.0		48	2,400.0	2段目		
	H400用カバープレート		40.0		20	800.0			
H400用隔梁ベース		99.0		4	396.0				
H300用切梁受け金具(準立て厚25mm)		55.0		10	550.0				
副部材合計 (1)					1段目	6,336			
					2段目	6,828			
					計	13,164			
		消耗部材	1段目	18.2	x 0.04	0.7			
			2段目	22.1	x 0.04	0.9			
		消耗部材(1)	計	0.002					
鋼材計(1)						53,438			
※切梁長は全長よりジャッキ長(0.5m)及び切梁受け金具長(0.22m)、切梁火打は全長より火打受ベース長(0.5m)、隅火打長は全長よりジャッキ長(0.5m)及び火打受ベース長(0.5m)をそれぞれ控除した長さとする。									

仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事	
図面の種類	施工計画図(その11) 仮締切工図<PI橋脚>
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

施工計画図(参考図)(その12)  
仮締切工図 浮足場設置<P1橋脚>

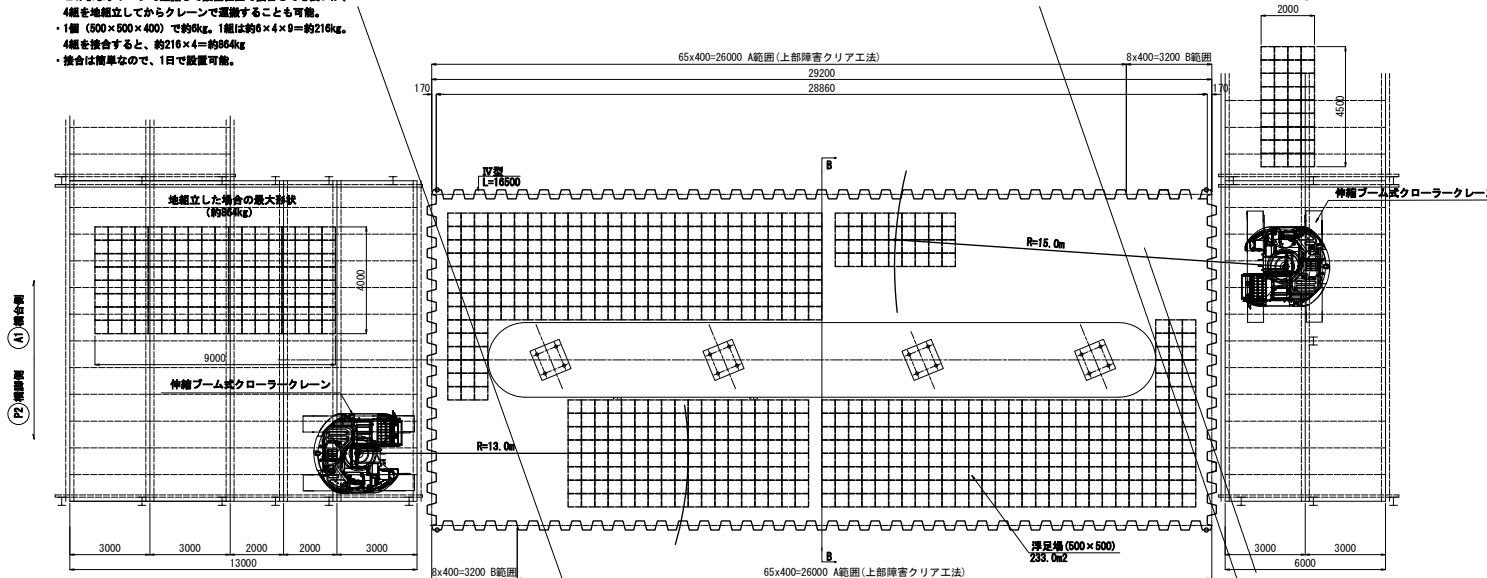
187/190



- 標準的な運搬・組立方法
- ・2.0m×4.5mに組立した状態で運搬。
  - ・1台のトラックで2.0m×4.5mを4組（縦に並べて2段階）運搬。
  - ・このままクレーンで運搬して設置位置で接合しても良いが、4組を地組立してからクレーンで運搬することも可能。
  - ・1個（500×500×400）で約60kg。1組は約6×4×9＝約216kg。
  - ・4組を接合すると、約216×4＝約864kg
  - ・接合は簡単なもので、1日で設置可能。

平面図

運搬時の標準的な形状

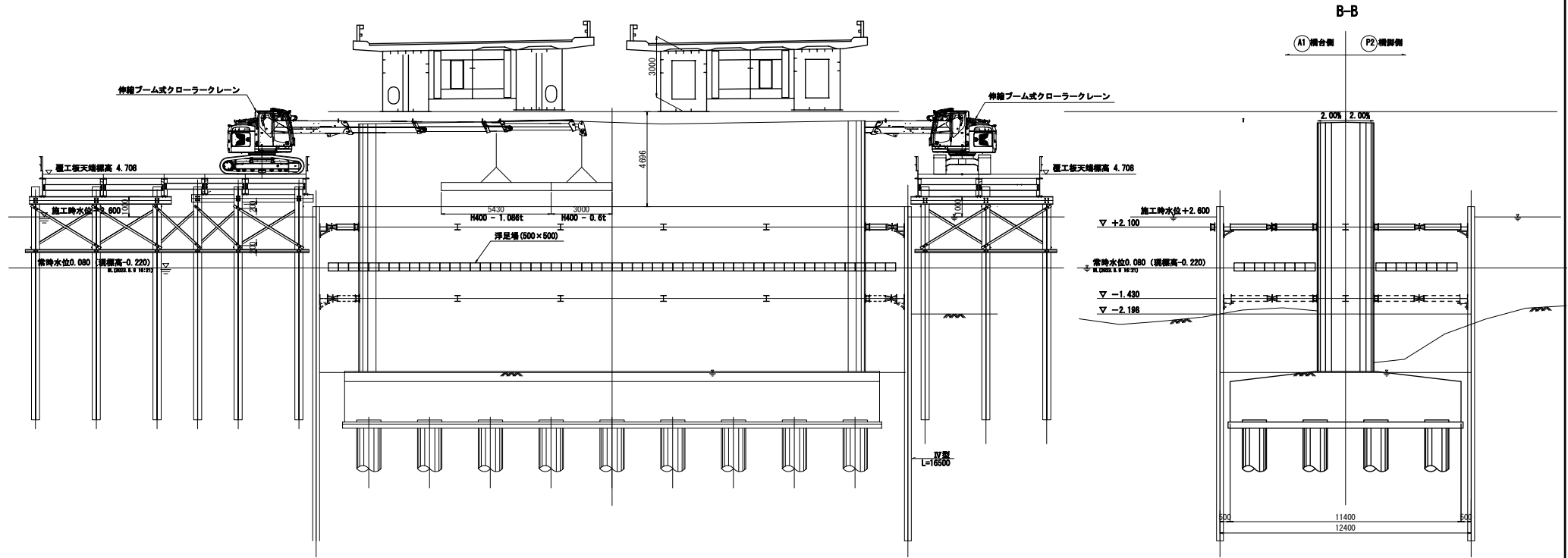


注記) 1. 工事に当たり、寸法等や地質状況は、現地検測を行って確認すること。  
2. 運搬高への補正は、国土地理院HPより、運搬高＝しゅん功時標高－0.300mである。

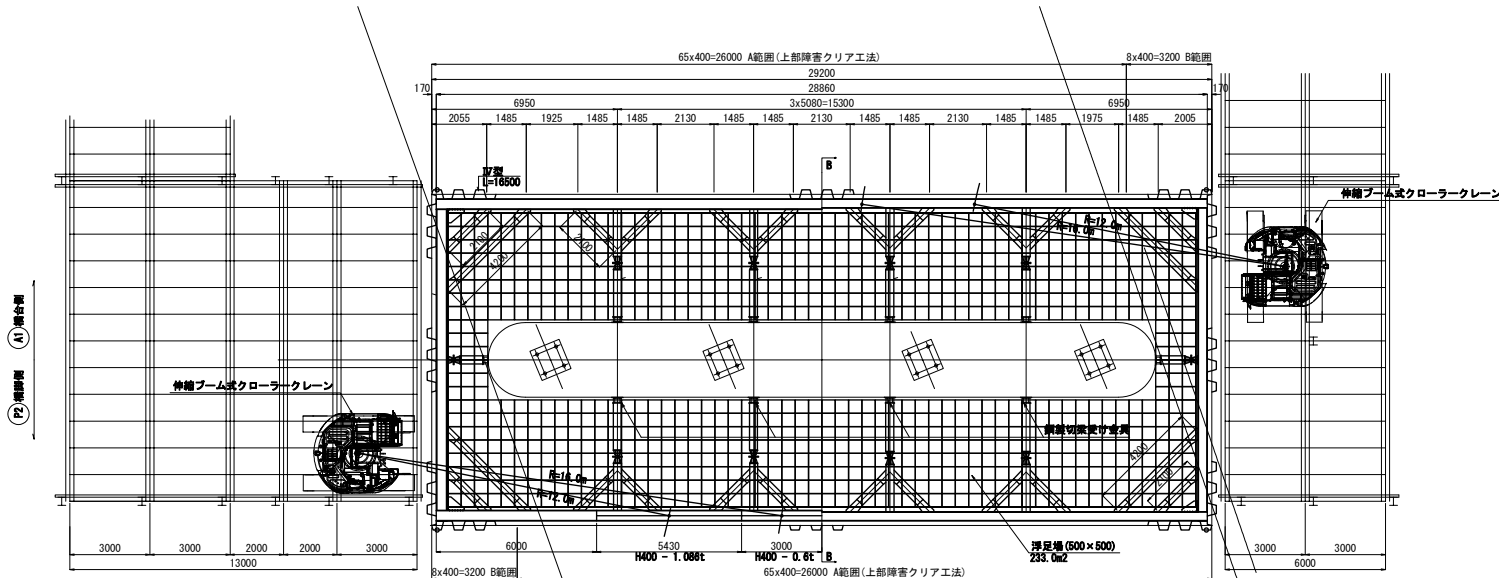
仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その12) 仮締切工図 浮足場設置<P1橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		
事務所名			

施工計画図(参考図)(その13)  
仮締切工図 切梁・腹起し設置<P1橋脚>

188/190



平面図

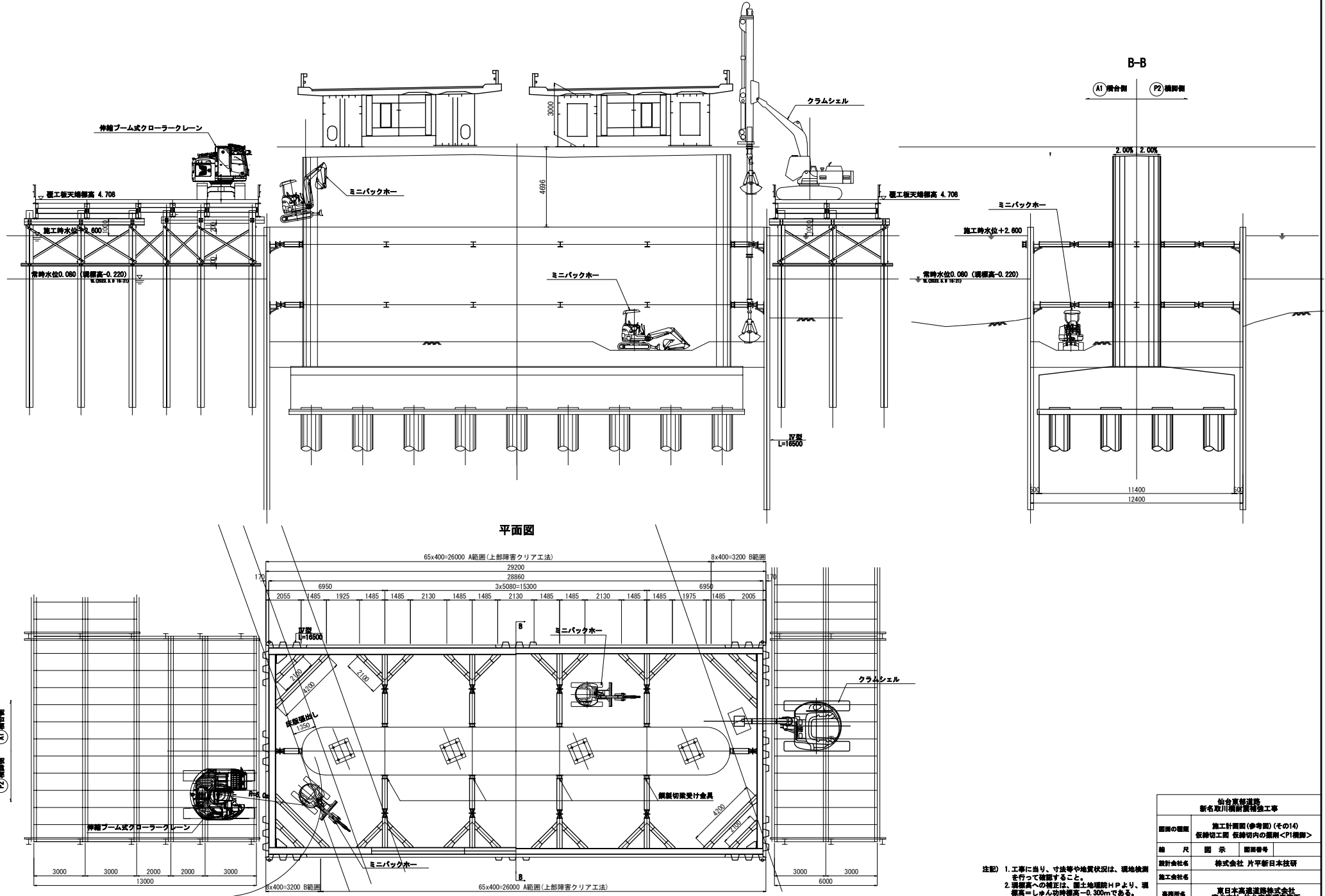


注記) 1. 工事に当たり、寸法等や地質状況は、現地検測を行って確認すること。  
2. 現標高への補正は、国土地理院HPより、現標高=しゅん功時標高-0.300mである。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その13) 仮締切工図 切梁・腹起し設置<P1橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		
承認者名			

施工計画図(参考図)(その14)  
仮締切工図 仮締切内の掘削<P1橋脚>

189/190



注記 1. 工事に当たり、寸法等や地質状況は、現地検測を行って確認すること。  
2. 掘削高への補正は、掘削地盤面HPより、掘削高=しゅん功時標高-0.300mである。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その14) 仮締切工図 仮締切内の掘削<P1橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		
承認者名			

施工計画図(その15)  
交通誘導警備員配置図 S=1:2500

190/190



仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(その15) 交通誘導警備員配置図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		